

平成21年1月29日

平成20年中の交通死亡事故の特徴及び
道路交通法違反取締り状況について



警 察 庁 交 通 局



目 次

1	交通事故の発生状況	1
2	近年死者が減少している理由	3
3	月別死者数の推移	6
4	死者の状況と特徴	
(1)	年齢層別死者の状況と特徴	7
(2)	状態別死者の状況と特徴	9
(3)	年齢層別・状態別死者の状況と特徴	
ア	全般	11
イ	高齢者	14
ウ	自動車乗車中	17
(4)	昼夜別死者の状況と特徴	18
5	死亡事故の状況と特徴	
(1)	第1当事者別の状況と特徴	
ア	全般	21
イ	原付以上運転者	22
(2)	法令違反別の状況と特徴	
ア	全般	24
イ	若者	26
ウ	高齢者	27
(3)	飲酒別の状況と特徴	28
(4)	危険認知速度別の状況と特徴	29
(5)	事故類型別の状況と特徴	30
(6)	道路形状別の状況と特徴	33
(7)	自転車関連死亡事故の状況と特徴	35
6	道路交通法違反の取締り状況	36
7	高速道路における死亡事故発生状況	
(1)	交通死亡事故発生状況	37
(2)	月別死者数の推移	38
(3)	路線別死亡事故発生状況	39
(4)	法令違反別(第1当事者)死亡事故発生状況	40
(5)	当事者種別(第1当事者)別死亡事故発生状況	41
(6)	事故類型別死亡事故発生状況	42
(7)	シートベルト着用有無別死者数	43
8	高速道路における道路交通法違反の取締り状況	44
9	車両及び運転免許に関する状況	
(1)	車両	
ア	自動車走行キロ	45
イ	燃料消費量	46
(2)	運転免許	47
10	都道府県別交通事故発生状況	48

注 数値は、単位未満で四捨五入してあるため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合や、四捨五入前の数字を用いて計算した結果と表中の数字が一致しない場合もある。

1 交通事故の発生状況

- 発生件数 76万6,147件（前年比－6万6,307件、－8.0%）
 うち死亡事故 5,025件（同－562件、－10.1%）
- 死者数 5,155人（同－589人、－10.3%）
- 負傷者数 94万5,504人（同－8万8,941人、－8.6%）

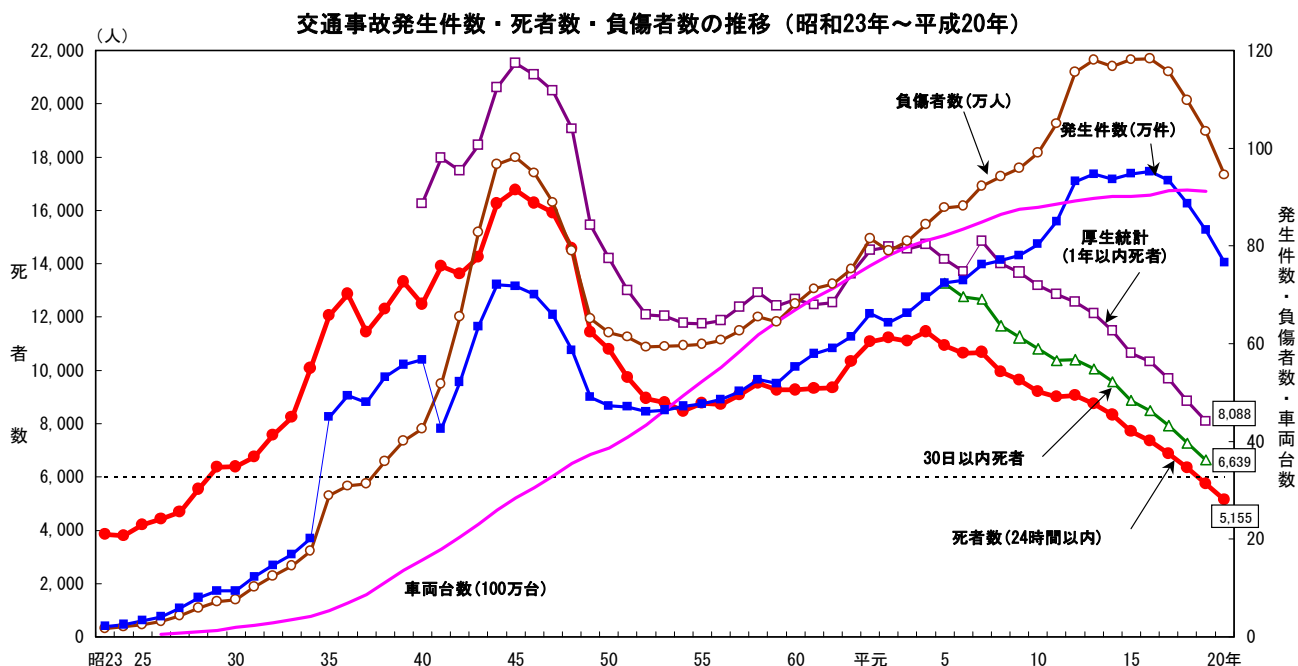
【参考：11月末現在】

30日以内死者数 5,374人（前年比－608人、－10.2% 比率1.17倍）

注 「死者数」とは、交通事故発生から24時間以内に死亡した人数をいい、「30日以内死者数」とは、交通事故発生から30日以内に死亡した人数をいう。また、「比率」は、死者数（24時間以内）に対する30日以内死者数の比率である。

平成20年中の交通事故による死者数は5,155人で、8年連続の減少となるとともに、昭和28年以来54年振りに5千人台となった前年を更に下回り、ピーク時（昭和45年＝16,765人）の3分の1以下となった。また、平成16年に過去最悪を記録した交通事故発生件数及び負傷者数も4年連続で減少し、負傷者数は10年振りに100万人を下回るなど、第8次交通安全基本計画の平成22年までに死者数5,500人以下及び死傷者数100万人以下にするという数値目標を2年前倒して達成するに至った。

しかしながら、飲酒運転による悲惨な事故が後を絶たず、多くの尊い命が交通事故の犠牲となっているなど、交通事故情勢は、依然として厳しいものがある。



注1 昭和34年までは、軽微な被害事故（8日未満の負傷、2万円以下の物的損害）は含まない。
 注2 昭和40年までの件数は、物損事故を含む。
 注3 昭和46年以前は、沖縄県を含まない。
 注4 厚生統計は、厚生労働省統計資料「人口動態統計」による当該年に死亡した者のうち原死因が交通事故の死者数である。なお、平成6年までは自動車事故とされた者の数を、平成7年からは交通事故とされた者から道路上の交通事故ではないと判断される者を除いた数を計上。

○ 交通事故発生状況の推移（昭和23年～平成20年）

	発生件数 (件)		死亡事故 (件)		負傷者数 (人)		死者数 (人)	
		指数		指数		指数		指数
昭和 23 年	21,341	17,609	...	3,848	23
24	25,113	20,242	...	3,790	23
25	33,212	25,450	...	4,202	25
26	41,423	31,274	...	4,429	26
27	58,487	43,321	...	4,696	28
28	80,019	59,280	...	5,544	33
29	93,869	72,390	...	6,374	38
30	93,981	76,501	...	6,379	38
31	122,691	102,072	...	6,751	40
32	146,833	124,530	...	7,575	45
33	168,799	145,432	...	8,248	49
34	201,292	175,951	...	10,079	60
35	449,917	289,156	29	12,055	72
36	493,693	308,697	31	12,865	77
37	479,825	313,813	32	11,445	68
38	531,966	...	11,830	75	359,089	37	12,301	73
39	557,183	...	12,767	81	401,117	41	13,318	79
40	567,286	...	11,922	75	425,666	43	12,484	74
41	425,944	59	13,257	84	517,775	53	13,904	83
42	521,481	73	12,885	82	655,377	67	13,618	81
43	635,056	88	13,556	86	828,071	84	14,256	85
44	720,880	100	15,396	97	967,000	99	16,257	97
45	718,080	100	15,801	100	981,096	100	16,765	100
46	700,290	98	15,340	97	949,689	97	16,278	97
47	659,283	92	15,009	95	889,198	91	15,918	95
48	586,713	82	13,791	87	789,948	81	14,574	87
49	490,452	68	10,845	69	651,420	66	11,432	68
50	472,938	66	10,165	64	622,467	63	10,792	64
51	471,041	66	9,196	58	613,957	63	9,734	58
52	460,649	64	8,487	54	593,211	60	8,945	53
53	464,037	65	8,311	53	594,116	61	8,783	52
54	471,573	66	8,048	51	596,282	61	8,466	50
55	476,677	66	8,329	53	598,719	61	8,760	52
56	485,578	68	8,278	52	607,346	62	8,719	52
57	502,261	70	8,606	54	626,192	64	9,073	54
58	526,362	73	9,045	57	654,822	67	9,520	57
59	518,642	72	8,829	56	644,321	66	9,262	55
60	552,788	77	8,826	56	681,346	69	9,261	55
61	579,190	81	8,877	56	712,330	73	9,317	56
62	590,723	82	8,981	57	722,179	74	9,347	56
63	614,481	86	9,865	62	752,845	77	10,344	62
平成 元 年	661,363	92	10,570	67	814,832	83	11,086	66
2	643,097	90	10,651	67	790,295	81	11,227	67
3	662,388	92	10,547	67	810,245	83	11,105	66
4	695,345	97	10,891	69	844,003	86	11,451	68
5	724,675	101	10,395	66	878,633	90	10,942	65
6	729,457	102	10,154	64	881,723	90	10,649	64
7	761,789	106	10,227	65	922,677	94	10,679	64
8	771,084	107	9,517	60	942,203	96	9,942	59
9	780,399	109	9,220	58	958,925	98	9,640	58
10	803,878	112	8,797	56	990,675	101	9,211	55
11	850,363	118	8,681	55	1,050,397	107	9,006	54
12	931,934	130	8,707	55	1,155,697	118	9,066	54
13	947,169	132	8,414	53	1,180,955	120	8,747	52
14	936,721	130	7,993	51	1,167,855	119	8,326	50
15	947,993	132	7,456	47	1,181,431	120	7,702	46
16	952,191	133	7,084	45	1,183,120	121	7,358	44
17	933,828	130	6,625	42	1,156,633	118	6,871	41
18	886,864	124	6,147	39	1,098,199	112	6,352	38
19	832,454	116	5,587	35	1,034,445	105	5,744	34
20	766,147	107	5,025	32	945,504	96	5,155	31

死者数が5千人台となった最後の年

死者数が過去最悪の年

昭和45年以降、初めて1万人を下回る

昭和50年以来、再び1万人を上回る

昭和62年以来、再び1万人を下回る

昭和56年以来20年ぶりの8千人台

ピーク時(昭和45年)の半減を達成

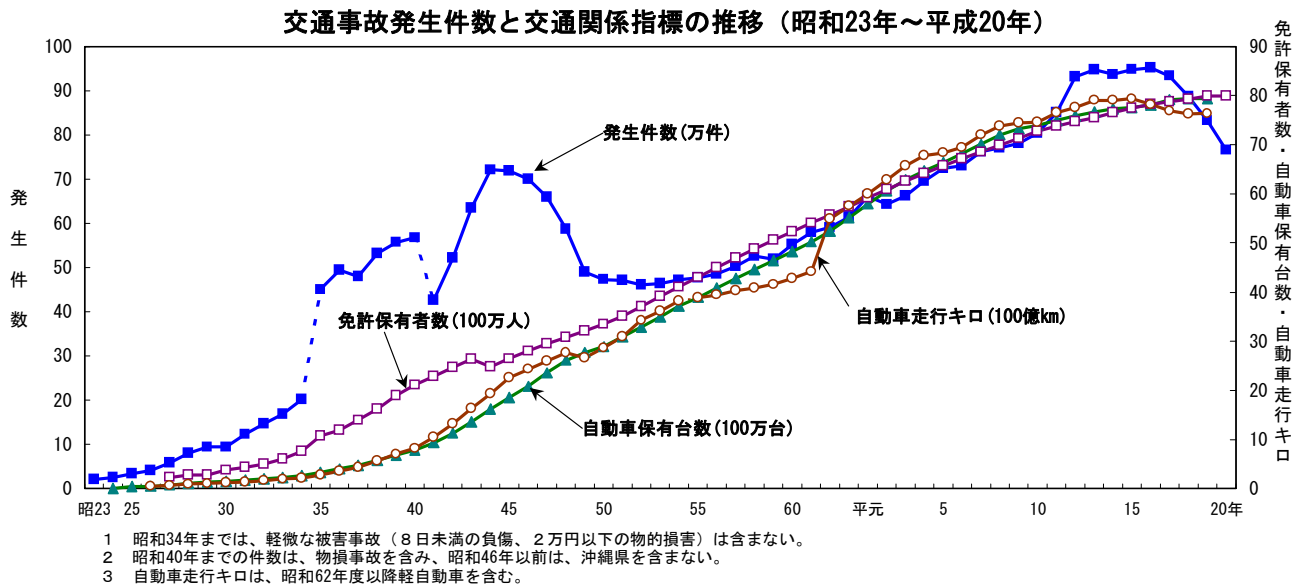
昭和32年以来46年振りの7千人台

昭和31年以来49年振りの6千人台

昭和28年以来54年振りの5千人台

注 1 昭和34年までは、軽微な被害事故（8日未満の負傷、2万円以下の物的損害）は含まない。
 2 昭和40年までの件数は、物損事故を含む。
 3 昭和46年以前は、沖縄県を含まない。
 4 指数は昭和45年を100とした値である。

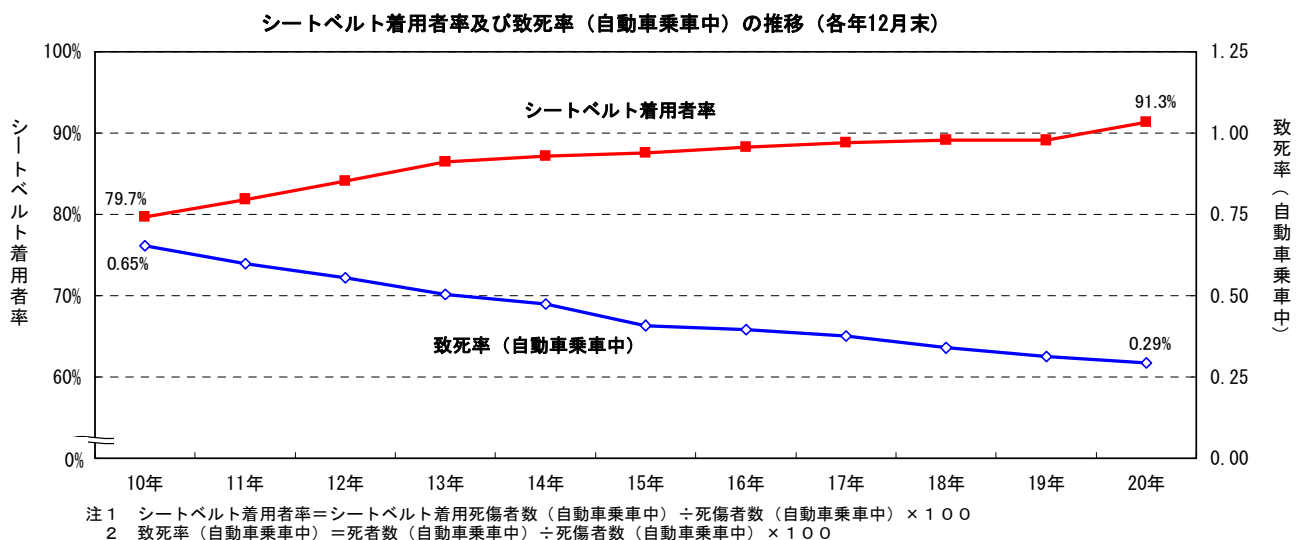
2 近年死者が減少している理由



死者数は、平成13年以降一貫して減少しており、減少要因としては、特に「シートベルト着用者率の向上」、「事故直前の車両速度の低下」、「悪質・危険性の高い事故の減少」、「歩行者の法令遵守」を挙げることができる。

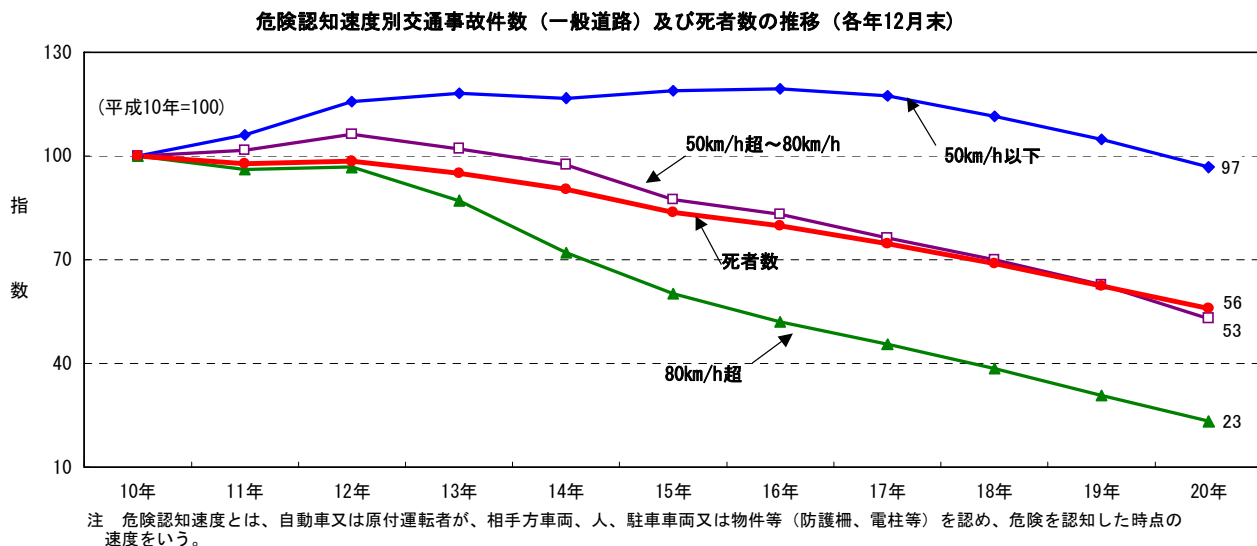
○ シートベルト着用者率の向上

シートベルト非着用者の致死率は、着用者の11倍以上であり、シートベルトの着用が交通事故の被害軽減に寄与していると認められる。シートベルト着用者率は、平成5年以降ほぼ毎年向上しており、このことが自動車乗車中の死者数減少の一因であると考えられる。



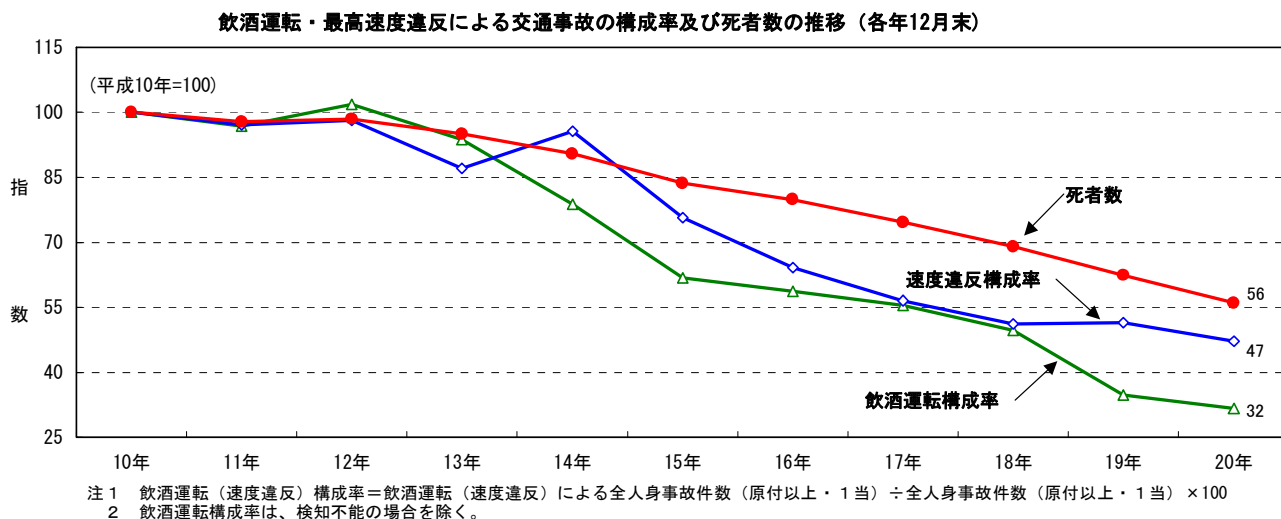
○ 事故直前の車両速度の低下

一般道路において、原付以上運転者（第1当事者）による危険認知速度（車両の事故直前速度）別の死亡事故率は、50km/h以下が0.4%、50km/h超～80km/hが4.9%、80km/h超が24.8%であり、速度が高くなるほど死亡事故率が高くなっている。特に80km/h超の高速の事故での死亡事故率は、80km/h以下の42.2倍に至っており、これら高速走行の事故が減少していることが、死者数減少の一因であると考えられる。



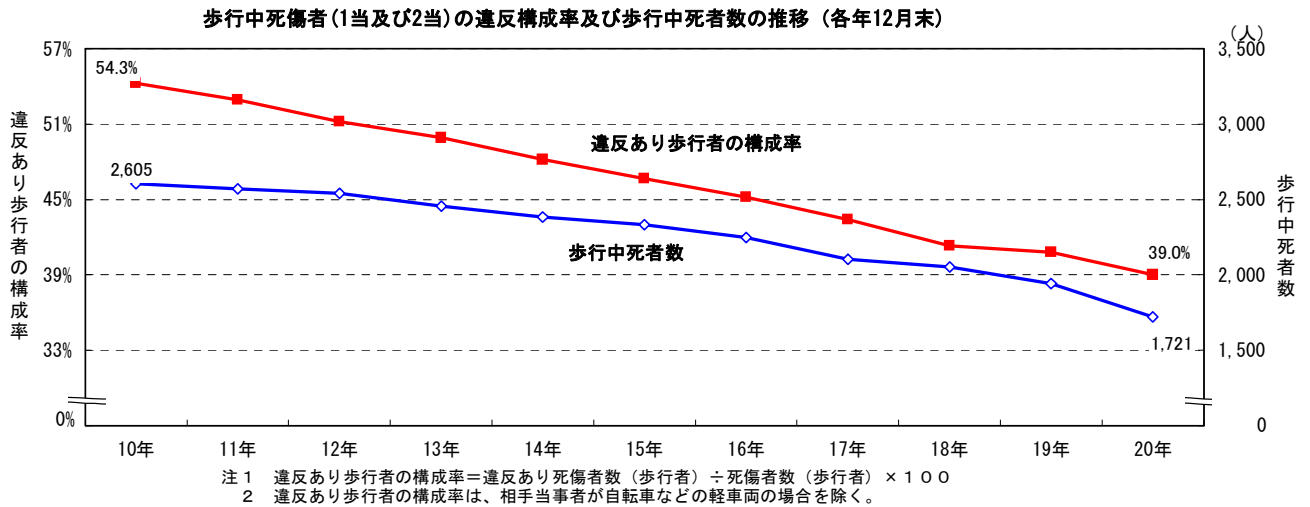
○ 悪質・危険性の高い事故の減少

原付以上運転者（第1当事者）の飲酒運転や最高速度違反による事故での死亡事故率は、全体と比べると、飲酒運転が7.2倍、最高速度違反では16.0倍と高くなっている。過去10年間で、これら、悪質・危険性の高い事故の割合が減少してきていることが、死者数減少の一因であると考えられる。



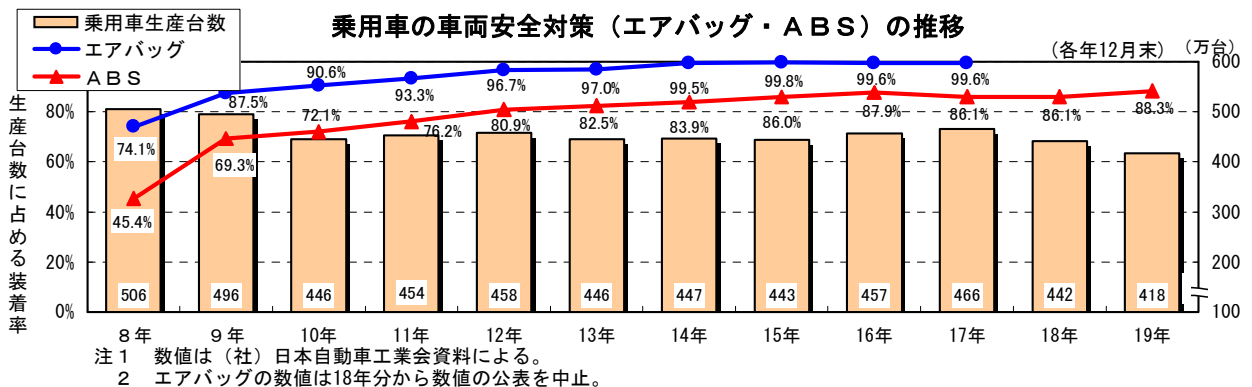
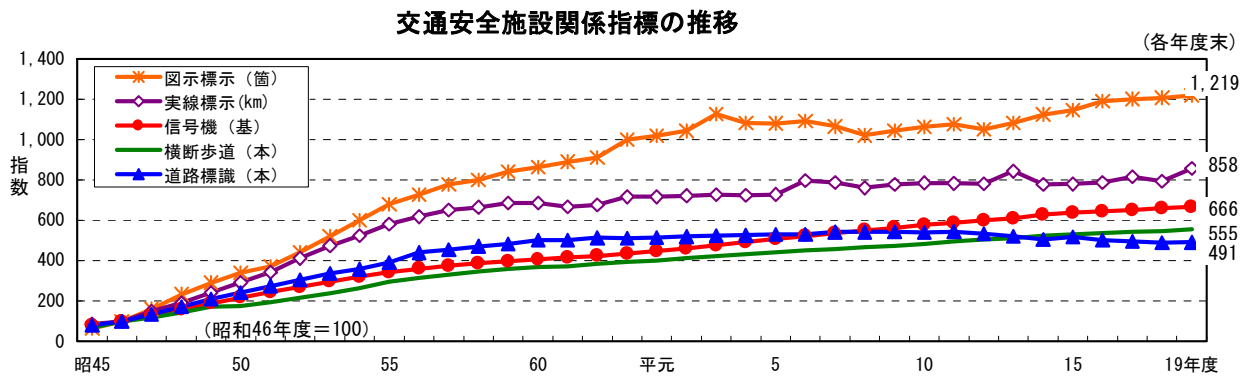
○ 歩行者の法令遵守

歩行者の違反有無別の致死率は、違反のある者が4.6%であるのに対して、違反のない者は1.3%であり、違反のある者の致死率は3倍以上高くなっている。過去10年間では歩行中の死傷者数は漸減傾向にあり、違反のある者の割合が減少傾向にあることが、歩行中の死者数減少の一因であると考えられる。



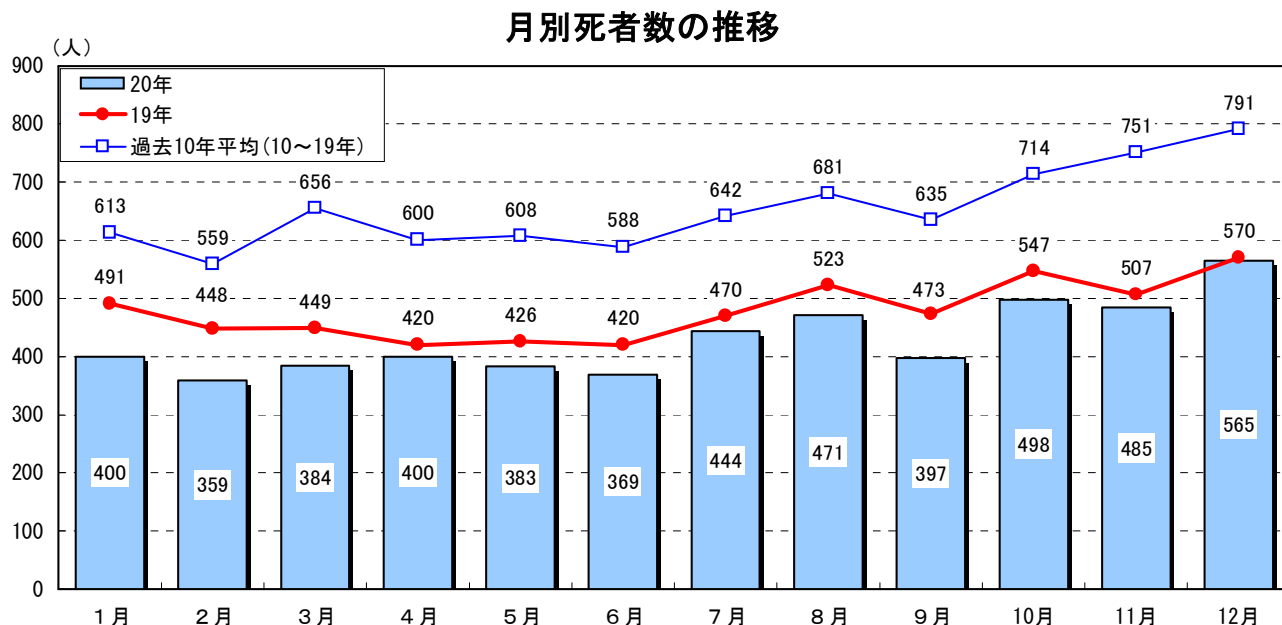
以上のような交通事故死者の減少要因が生じたのは、信号機等の交通安全施設の整備、交通指導取締りその他の街頭活動の実施、初心運転者期間制度の導入等運転者施策の推進、交通安全教育の充実強化など、警察がこれまで講じてきた諸対策が効果を上げているものと考えられる。

もとより、死者数の減少は警察による対策だけでなく、例えば、あんしん歩行エリアの整備や事故危険箇所対策の推進など、警察庁と国土交通省が連携して実施している対策のほか、道路管理者による道路の構造面の改善、エアバッグ装着車やABS装着車などの普及など車両の構造面からの安全性向上、緊急医療体制の整備や国民の救命手当に関する知識の普及などによるところも大きいと考えられる。



3 月別死者数の推移

死者数を月別に前年と比較すると、全ての月で減少しており、特に1月、2月及び9月の減少が顕著である。



○ 月別死者数の推移

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下半期計	年間合計
昭和27年	302	300	371	403	396	373	2,145	347	434	396	490	430	454	2,551	4,696
45年	1,237	1,140	1,379	1,271	1,419	1,289	7,735	1,480	1,545	1,467	1,476	1,515	1,547	9,030	16,765
平成5年	837	796	876	840	860	902	5,111	932	924	836	1,070	978	1,091	5,831	10,942
6年	853	722	859	858	814	831	4,937	926	937	873	952	979	1,045	5,712	10,649
7年	750	766	842	874	869	819	4,920	852	912	917	1,000	1,004	1,074	5,759	10,679
8年	792	688	785	787	787	760	4,599	829	859	814	942	900	999	5,343	9,942
9年	813	722	801	740	796	743	4,615	786	804	760	845	851	979	5,025	9,640
10年	704	621	783	679	764	676	4,227	734	772	749	838	931	960	4,984	9,211
11年	715	639	699	679	742	717	4,191	758	770	695	805	853	934	4,815	9,006
12年	728	666	780	694	695	697	4,260	747	806	685	835	866	867	4,806	9,066
13年	619	637	763	665	662	659	4,005	743	745	726	823	833	872	4,742	8,747
14年	643	626	729	684	638	617	3,937	650	692	667	759	793	828	4,389	8,326
15年	591	553	615	571	603	565	3,498	579	707	643	733	743	799	4,204	7,702
16年	556	509	617	604	582	559	3,427	631	622	580	645	689	764	3,931	7,358
17年	558	469	572	524	495	506	3,124	581	610	629	605	651	671	3,747	6,871
18年	529	424	548	484	471	466	2,922	524	563	504	547	644	648	3,430	6,352
19年	491	448	449	420	426	420	2,654	470	523	473	547	507	570	3,090	5,744
20年	400	359	384	400	383	369	2,295	444	471	397	498	485	565	2,860	5,155
増減数	-91	-89	-65	-20	-43	-51	-359	-26	-52	-76	-49	-22	-5	-230	-589
増減率	-18.5	-19.9	-14.5	-4.8	-10.1	-12.1	-13.5	-5.5	-9.9	-16.1	-9.0	-4.3	-0.9	-7.4	-10.3
1日当たり死者数	12.9	12.4	12.4	13.3	12.4	12.3	12.6	14.3	15.2	13.2	16.1	16.2	18.2	15.5	14.1
過去10年平均(10~19年)	613	559	656	600	608	588	3,625	642	681	635	714	751	791	4,214	7,838

注1 増減数(率)は、平成19年と比較した値である。

2 昭和27年は平成20年よりも死者数が少ない直近の年、昭和45年は死者数が最も多い年である。

4 死者の状況と特徴

(1) 年齢層別死者の状況と特徴

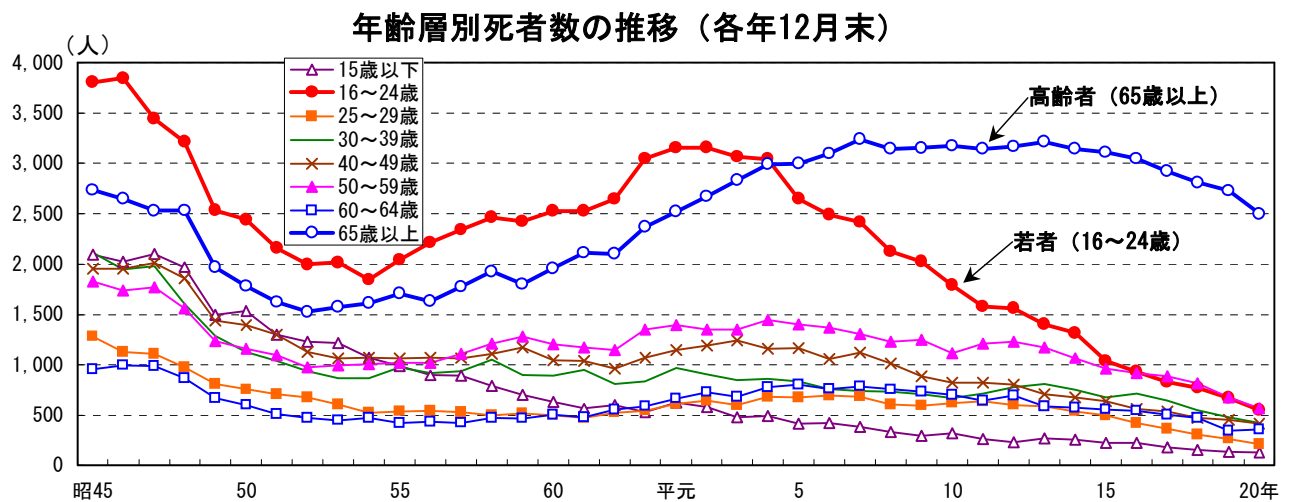
◎ 60～64歳を除く全ての年齢層で減少し、高齢者の占める割合はほぼ半数。

死者数を年齢層別にみると、高齢者（65歳以上）（構成率48.5%）が最も多く、次いで50歳代（同11.0%）、若者（16～24歳）（同10.7%）の順に多い。

前年と比較すると、60～64歳を除く全ての年齢層で減少しており、その中でも、高齢者（前年比-228人、-8.4%）、若者（同-119人、-17.8%）及び50歳代（同-105人、-15.6%）は100人を超える減少となった。

過去10年間の推移をみると、特に若者は、平成10年の0.31倍と3分の1以下になるなど減少傾向が顕著である。

一方、高齢者の死者数は、高齢者人口の増加などに伴って、昭和50年代前半から増加傾向を示し、平成5年には若者を上回り、年齢層別で最大の年齢層となった。その後、7年（3,240人）をピークに概ね横ばいで推移し、14年以降は毎年減少している。しかしながら、他の年齢層の減少率が大きいことから、全体に占める高齢者の割合は年々増加し、15年に初めて4割を超え、20年には人口構成率21.5%（平成19年10月1日現在推計人口値）の2倍を超える48.5%に至っており、他の年齢層と比べても高い水準にある。



○ 年齢層別死者数の推移（各年12月末）

年齢層別	年											増減数	増減率	構成率	指数
	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年				
15歳以下	321	265	231	270	258	225	221	182	158	133	127	-6	-4.5	2.5	40
16～19歳	784	696	668	607	604	483	421	321	363	304	261	-43	-14.1	5.1	33
20～24歳	1,006	882	895	795	712	556	510	508	409	366	290	-76	-20.8	5.6	29
16～24歳	1,790	1,578	1,563	1,402	1,316	1,039	931	829	772	670	551	-119	-17.8	10.7	31
25～29歳	621	637	602	590	539	497	420	364	306	266	210	-56	-21.1	4.1	34
30～39歳	670	711	780	810	751	678	716	643	547	478	425	-53	-11.1	8.2	63
40～49歳	823	822	804	704	678	637	563	539	472	454	417	-37	-8.1	8.1	51
50～59歳	1,113	1,209	1,228	1,172	1,066	960	916	887	816	673	568	-105	-15.6	11.0	51
60～64歳	699	641	692	583	574	557	545	503	472	343	358	15	4.4	6.9	51
65～74歳	1,522	1,497	1,468	1,460	1,409	1,383	1,308	1,240	1,152	1,092	979	-113	-10.3	19.0	64
75歳以上	1,652	1,646	1,698	1,756	1,735	1,726	1,738	1,684	1,657	1,635	1,520	-115	-7.0	29.5	92
65歳以上	3,174	3,143	3,166	3,216	3,144	3,109	3,046	2,924	2,809	2,727	2,499	-228	-8.4	48.5	79
合計	9,211	9,006	9,066	8,747	8,326	7,702	7,358	6,871	6,352	5,744	5,155	-589	-10.3	100.0	56
高齢者構成率	34.5	34.9	34.9	36.8	37.8	40.4	41.4	42.6	44.2	47.5	48.5	—	—	—	141
(再掲)															
20～29歳	1,627	1,519	1,497	1,385	1,251	1,053	930	872	715	632	500	-132	-20.9	9.7	31
70歳以上	2,431	2,455	2,468	2,538	2,494	2,442	2,474	2,362	2,295	2,239	2,055	-184	-8.2	39.9	85

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

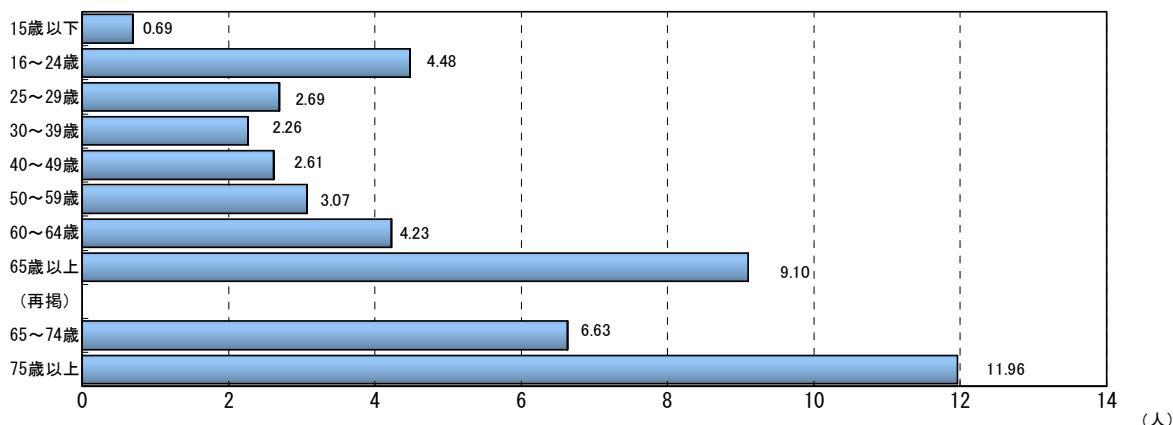
2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

◎ 人口10万人当たり死者数は10年間では全年齢層で減少傾向

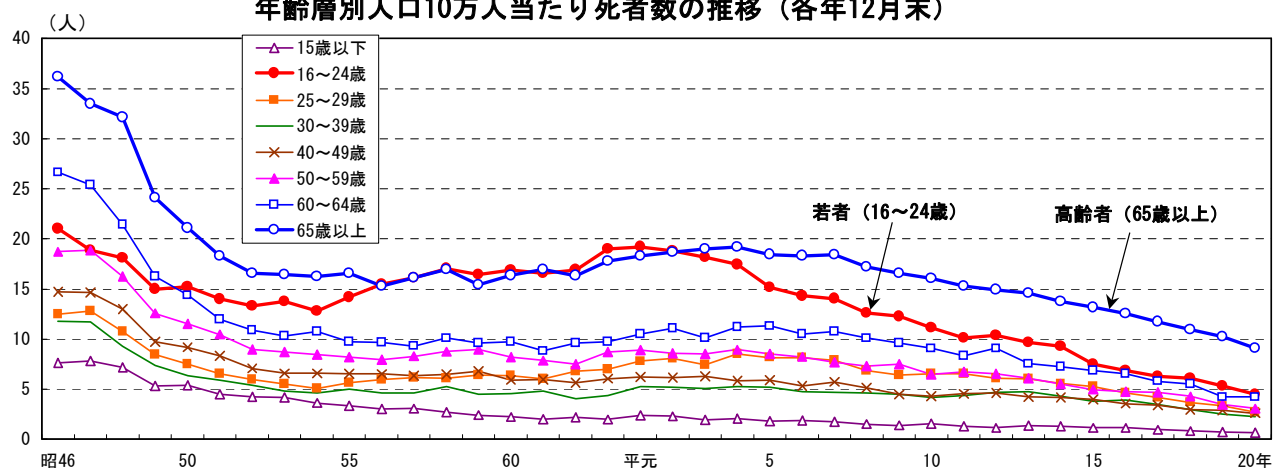
人口10万人当たり死者数を年齢層別にみると、高齢者（9.10人）が最も多く、次いで若者（4.48人）、60～64歳（4.23人）の順に多い。

過去10年間の推移をみると、全年齢層で減少傾向にあり、若者が最も減少（平成10年の0.40倍）しており、高齢者も平成10年の0.57倍と6割以下にまで減少している。

年齢層別人口10万人当たり死者数（平成20年中）



年齢層別人口10万人当たり死者数の推移（各年12月末）



○ 年齢層別人口10万人当たり死者数の推移（各年12月末）

年齢層別	年	年										増減数	増減率	指数	人口（19年推計人口）		
		10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年				20年	(千人)	構成率
15歳以下		1.54	1.29	1.14	1.36	1.31	1.16	1.15	0.96	0.84	0.71	0.69	-0.03	-3.8	45	18,506	14.5
16～19歳		12.08	11.05	10.85	10.04	10.12	8.27	7.41	5.84	6.81	5.83	5.15	-0.68	-11.7	43	5,068	4.0
20～24歳		10.50	9.53	10.07	9.44	8.68	6.94	6.49	6.58	5.56	5.01	4.01	-1.00	-20.0	38	7,238	5.7
16～24歳		11.14	10.14	10.39	9.69	9.29	7.50	6.88	6.27	6.09	5.35	4.48	-0.87	-16.3	40	12,306	9.6
25～29歳		6.54	6.55	6.08	6.03	5.55	5.27	4.61	4.16	3.70	3.32	2.69	-0.63	-18.8	41	7,795	6.1
30～39歳		4.17	4.35	4.70	4.80	4.33	3.82	3.94	3.48	2.96	2.53	2.26	-0.26	-10.5	54	18,790	14.7
40～49歳		4.33	4.52	4.64	4.21	4.16	3.99	3.57	3.42	2.99	2.90	2.61	-0.28	-9.8	60	15,954	12.5
50～59歳		6.48	6.75	6.55	6.11	5.51	4.98	4.77	4.68	4.28	3.50	3.07	-0.42	-12.1	47	18,485	14.5
60～64歳		9.08	8.31	9.07	7.54	7.25	6.87	6.56	5.81	5.52	4.21	4.23	0.01	0.3	47	8,472	6.6
65～74歳		12.71	12.10	11.57	11.22	10.57	10.18	9.50	8.98	8.19	7.56	6.63	-0.93	-12.3	52	14,761	11.6
75歳以上		21.22	20.23	19.98	19.51	18.20	17.19	16.48	15.22	14.28	13.44	11.96	-1.48	-11.0	56	12,704	9.9
65歳以上		16.06	15.33	14.94	14.61	13.75	13.16	12.53	11.75	10.94	10.25	9.10	-1.15	-11.2	57	27,465	21.5
合計		7.30	7.12	7.16	6.89	6.54	6.04	5.77	5.38	4.97	4.50	4.03	-0.46	-10.3	55	127,771	100.0
(再掲)																	
20～29歳		8.53	8.00	7.97	7.61	6.99	6.04	5.48	5.29	4.57	4.12	3.33	-0.80	-19.3	39	15,033	11.8
70歳以上		18.63	17.98	17.34	17.03	16.00	15.02	14.63	13.47	12.58	11.80	10.47	-1.33	-11.3	56	19,627	15.4

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

3 算出に用いた人口は、各前年の総務省統計資料「10月1日現在推計人口」または「国勢調査結果」による。

(2) 状態別死者の状況と特徴

◎ 歩行中死者が昭和49年以来34年振りに最多の状態となる。

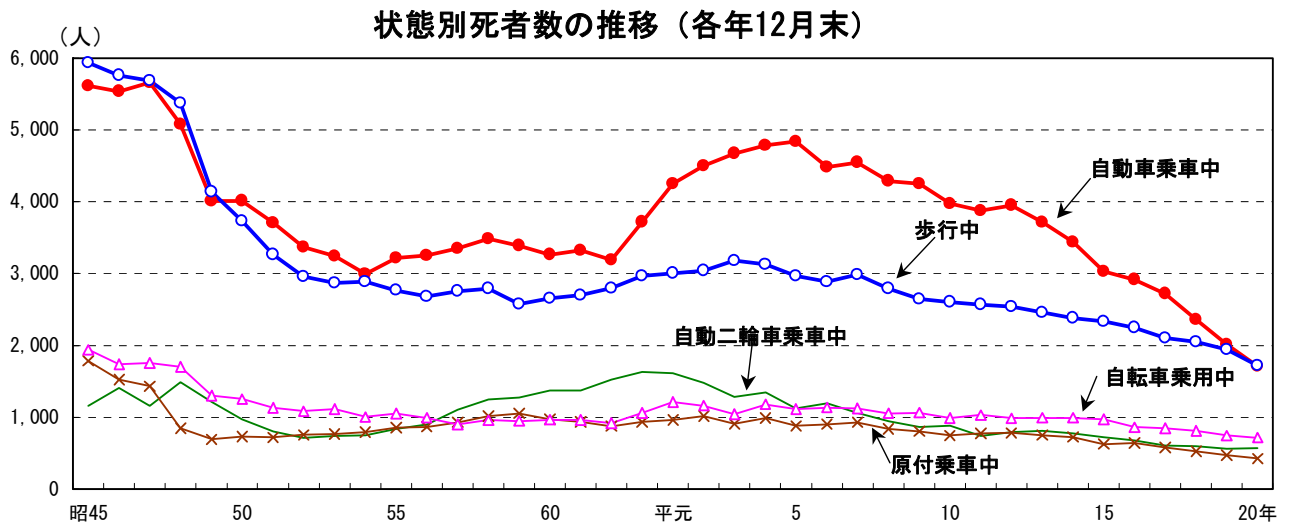
死者数を状態別にみると、歩行中（構成率33.4%）が最も多く、次いで自動車乗車中（同33.2%）となっており、両者で全体の3分の2以上を占めている。

前年と比較すると、全ての状態で減少しており、中でも自動車乗車中（前年比-303人、-15.1%）及び歩行中（同-222人、-11.4%）で減少数（589人）の約9割を占める顕著な減少となった。

過去10年間の推移をみても、全ての状態で減少傾向にあり、特に自動車乗車中（平成10年の0.43倍）の減少が顕著である。

昭和50年以降は、自動車乗車中の死者数が状態別で最多であったが、自動車乗車中死者はシートベルト着用率の向上などにより、平成5年（4,835人）をピークに減少に転じ、その後は、ほぼ一貫して減少しており、歩行中死者数との差は年々縮小し、20年には歩行者を下回るに至り、歩行中死者は昭和49年以来34年振りに最多の状態となった。

構成率の推移を見ると、自動車乗車中は平成10年の0.77倍に減少しているが、自転車乗用中は同1.30倍、歩行中は同1.18倍と漸増傾向となっている。



○ 状態別死者数の推移（各年12月末）

状態別	年											増減数	増減率	構成率	指数
	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年				
自動車乗車中	3,972	3,872	3,953	3,711	3,438	3,028	2,918	2,722	2,359	2,013	1,710	-303	-15.1	33.2	43
自動二輪車乗車中	886	743	795	813	773	725	673	603	594	559	567	8	1.4	11.0	64
原付乗車中	746	773	780	753	724	628	640	581	525	472	423	-49	-10.4	8.2	57
二輪車乗車中	1,632	1,516	1,575	1,566	1,497	1,353	1,313	1,184	1,119	1,031	990	-41	-4.0	19.2	61
自転車乗用中	988	1,032	984	992	991	973	859	846	812	745	717	-28	-3.8	13.9	73
歩行中	2,605	2,571	2,540	2,456	2,384	2,332	2,250	2,104	2,051	1,943	1,721	-222	-11.4	33.4	66
その他	14	15	14	22	16	16	18	15	11	12	17	5	41.7	0.3	121
合計	9,211	9,006	9,066	8,747	8,326	7,702	7,358	6,871	6,352	5,744	5,155	-589	-10.3	100.0	56
構成率															
自動車乗車中	43.1	43.0	43.6	42.4	41.3	39.3	39.7	39.6	37.1	35.0	33.2	-	-	-	77
自転車乗用中	10.7	11.5	10.9	11.3	11.9	12.6	11.7	12.3	12.8	13.0	13.9	-	-	-	130
歩行中	28.3	28.5	28.0	28.1	28.6	30.3	30.6	30.6	32.3	33.8	33.4	-	-	-	118

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

◎ シートベルト着用者率の向上と自動車乗車中の致死率の低下

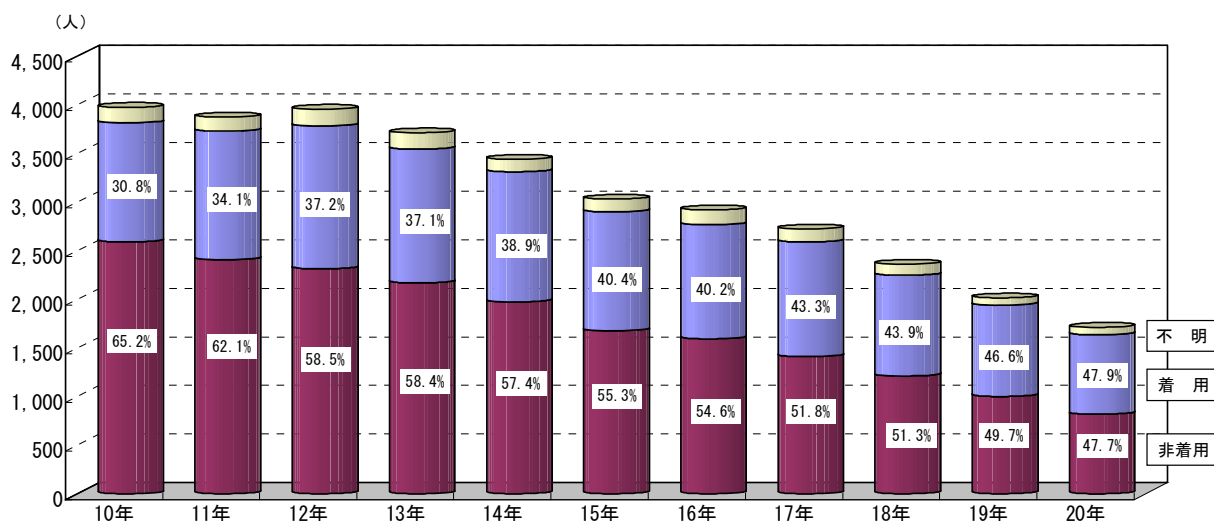
自動車乗車中の死者数をシートベルト（チャイルドシートを含む。以下同じ。）着用有無別に前年と比べると、いずれも大きく減少しているが、シートベルト着用率の向上などにより、非着用が着用と比べ大きく減少（前年比-185人、-18.5%）し、着用死者数を下回るに至った。

なお、非着用死者の構成率を座席位置別にみると、後部座席は71.7%と前年に比べ12.3P減少したものの、他の座席に比べ高くなっている。

自動車乗車中の致死率（死傷者に占める死者の割合）は、10年前の0.65%から0.29%に低下している。この致死率をシートベルト着用有無別にみると、平成20年の着用者の致死率は非着用者の11分の1以下であり、このことからシートベルトの着用が交通事故の被害軽減に寄与していることが認められる。

シートベルト着用者率（自動車乗車中の死傷者に占める着用の死傷者の割合）は、10年前の79.7%から91.3%へ上昇しており、中でも平成20年は6月に施行された後席シートベルトの着用義務化の効果もあって後部座席の着用者率は平成19年の30.0%から46.2%と顕著に増加した。

シートベルト着用有無別死者数の推移（各年12月末）



○ シートベルト着用有無別死者数の推移（各年12月末）

年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	増減数	増減率	構成率	指数
有無別															
シートベルト着用	1,225	1,321	1,470	1,377	1,337	1,224	1,174	1,178	1,035	938	819	-119	-12.7	47.9	67
シートベルト非着用	2,588	2,406	2,311	2,167	1,973	1,675	1,592	1,410	1,210	1,001	816	-185	-18.5	47.7	32
不明	159	145	172	167	128	129	152	134	114	74	75	1	1.4	4.4	47
合計	3,972	3,872	3,953	3,711	3,438	3,028	2,918	2,722	2,359	2,013	1,710	-303	-15.1	100.0	43
非着用死者の構成率	65.2	62.1	58.5	58.4	57.4	55.3	54.6	51.8	51.3	49.7	47.7	-	-	-	73
シートベルト着用者率	79.7	81.8	84.1	86.4	87.2	87.5	88.3	88.8	89.1	89.1	91.3	-	-	-	115
運転席	88.8	90.7	92.3	94.0	94.7	95.4	96.1	96.6	97.0	97.3	97.6	-	-	-	110
助手席	78.4	81.6	85.2	88.3	89.4	90.1	91.2	92.3	92.9	93.5	94.8	-	-	-	121
後部座席	19.3	21.0	27.0	33.3	34.2	31.5	30.6	30.5	30.6	30.0	46.2	-	-	-	239

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

注2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

注3 シートベルト着用の有無は、事故当事者からの聞き取り等により調査したものである。

注4 シートベルト着用者率=シートベルト着用死傷者数（自動車乗車中）÷死傷者数（自動車乗車中）×100

○ シートベルト着用有無別致死率の推移（各年12月末）

年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
有無別											
シートベルト着用	0.25	0.25	0.25	0.22	0.21	0.19	0.18	0.18	0.17	0.16	0.15
シートベルト非着用	2.18	2.15	2.17	2.36	2.35	1.99	2.01	1.90	1.75	1.53	1.75
不明	3.16	2.45	2.54	1.96	1.40	1.57	2.05	1.91	1.72	1.52	1.95
合計	0.65	0.60	0.55	0.50	0.47	0.41	0.39	0.38	0.34	0.31	0.29
非着用/着用	8.6	8.6	8.8	10.9	11.1	10.6	11.2	10.4	10.5	9.4	11.4

注 致死率=死者数（自動車乗車中）÷死傷者数（自動車乗車中）×100

○ シートベルト着用有無別・座席位置別死者数（平成20年中）

有無別	座席位置別		運転席		助手席		後部座席		その他	合計	増減数
	増減数	構成率	増減数	構成率	増減数	構成率	増減数	構成率			
シートベルト着用	631	-135	143	-3	44	18	1	819	-119		
シートベルト非着用	605	-119	75	-27	134	-34	2	816	-185		
不明	59	0	7	-2	9	3	0	75	1		
合計	1,295	-254	225	-32	187	-13	3	1,710	-303		
非着用死者の構成率	46.7	0.0P	33.3	-6.4P	71.7	-12.3P	66.7	47.7	-2.0P		

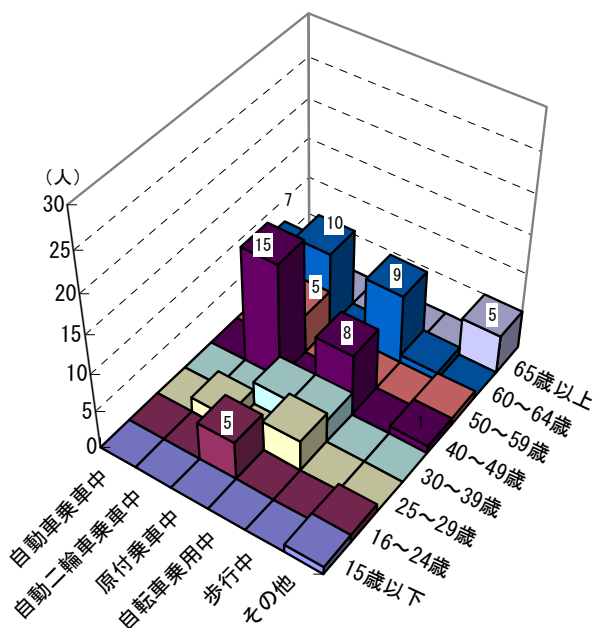
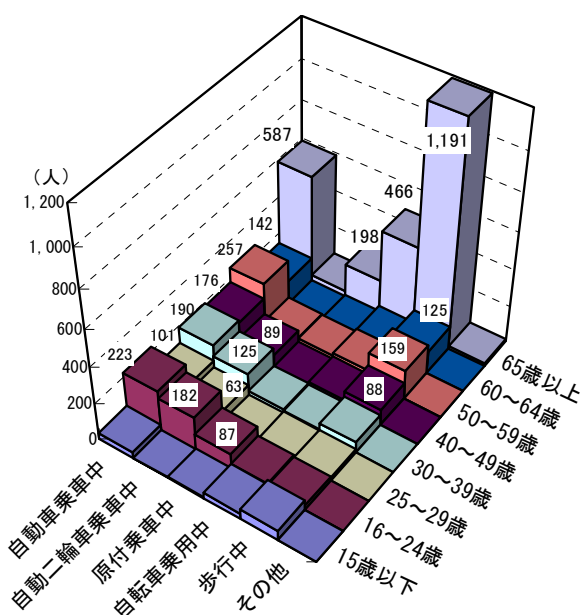
注1 増減数は、平成19年と比較した値である。

注2 「その他」とは、バスの後部座席にいる場合、バスの車内に立っている場合等をいう。

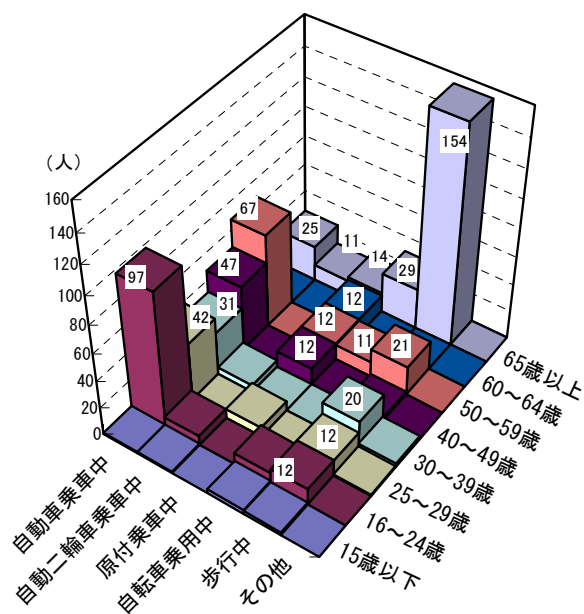
(3) 年齢層別・状態別死者の状況と特徴

ア 全般

死者数を状態別に各年齢層で見ると、自動二輪車乗車中以外の全ての状態で高齢者が最多となっている。



増加数



減少数

○ 年齢層別・状態別死者数（平成20年中）

年齢層別	状態別	自動車乗車中			二輪車乗車中					自転車乗用中	歩行中	その他	合計	構成率
		運転中	同乗中	計	自動二輪			原付	計					
					運転中	同乗中	小計							
15歳以下 (14.5)	死者数	0	34	34	1	0	1	6	7	30	55	1	127	2.5
	増減数	0	-1	-1	1	-2	-1	0	-1	-3	-2	1	-6	
16～19歳 (4.0)	死者数	41	45	86	70	11	81	61	142	22	11	0	261	5.1
	増減数	-17	-13	-30	-7	-3	-10	4	-6	-8	1	0	-43	
20～24歳 (5.7)	死者数	106	31	137	98	3	101	26	127	11	14	1	290	5.6
	増減数	-52	-15	-67	1	2	3	1	4	-1	-13	1	-76	
16～24歳 (9.6)	死者数	147	76	223	168	14	182	87	269	33	25	1	551	10.7
	増減数	-69	-28	-97	-6	-1	-7	5	-2	-9	-12	1	-119	
25～29歳 (6.1)	死者数	80	21	101	61	2	63	10	73	16	20	0	210	4.1
	増減数	-39	-3	-42	3	-1	2	-7	-5	4	-12	-1	-56	
30～39歳 (14.7)	死者数	158	32	190	123	2	125	29	154	23	58	0	425	8.2
	増減数	-27	-4	-31	-7	2	-5	3	-2	3	-20	-3	-53	
40～49歳 (12.5)	死者数	155	21	176	89	0	89	25	114	38	88	1	417	8.1
	増減数	-52	5	-47	15	0	15	-12	3	8	-2	1	-37	
50～59歳 (14.5)	死者数	224	33	257	46	1	47	44	91	59	159	2	568	11.0
	増減数	-58	-9	-67	4	1	5	-12	-7	-11	-21	1	-105	
60～64歳 (6.6)	死者数	114	28	142	15	0	15	24	39	52	125	0	358	6.9
	増減数	5	2	7	10	0	10	-12	-2	9	1	0	15	
65～74歳 (11.6)	死者数	211	69	280	15	0	15	99	114	203	377	5	979	19.0
	増減数	-10	-2	-12	-7	0	-7	3	-4	-6	-95	4	-113	
75歳以上 (9.9)	死者数	206	101	307	30	0	30	99	129	263	814	7	1,520	29.5
	増減数	-4	-9	-13	-4	0	-4	-17	-21	-23	-59	1	-115	
65歳以上 (21.5)	死者数	417	170	587	45	0	45	198	243	466	1,191	12	2,499	48.5
	増減数	-14	-11	-25	-11	0	-11	-14	-25	-29	-154	5	-228	
(再掲)														
70～79歳 (9.8)	死者数	218	80	298	18	0	18	105	123	193	489	7	1,110	21.5
	増減数	1	-1	0	-17	0	-17	-12	-29	-41	-84	4	-150	
80歳以上 (5.6)	死者数	96	62	158	21	0	21	52	73	171	540	3	945	18.3
	増減数	-9	-11	-20	9	0	9	-9	0	12	-25	-1	-34	
70歳以上 (15.4)	死者数	314	142	456	39	0	39	157	196	364	1,029	10	2,055	39.9
	増減数	-8	-12	-20	-8	0	-8	-21	-29	-29	-109	3	-184	

合計	死者数	1,295	415	1,710	548	19	567	423	990	717	1,721	17	5,155	100.0
	増減数	-254	-49	-303	9	-1	8	-49	-41	-28	-222	5	-589	
	増減率	-16.4	-10.6	-15.1	1.7	-5.0	1.4	-10.4	-4.0	-3.8	-11.4	41.7	-10.3	
	構成率	25.1	8.1	33.2	10.6	0.4	11.0	8.2	19.2	13.9	33.4	0.3	100.0	

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

2 年齢層の下段の（ ）の数値は、年齢層別の人口構成率（総務省統計資料「平成19年10月1日現在推計人口」）

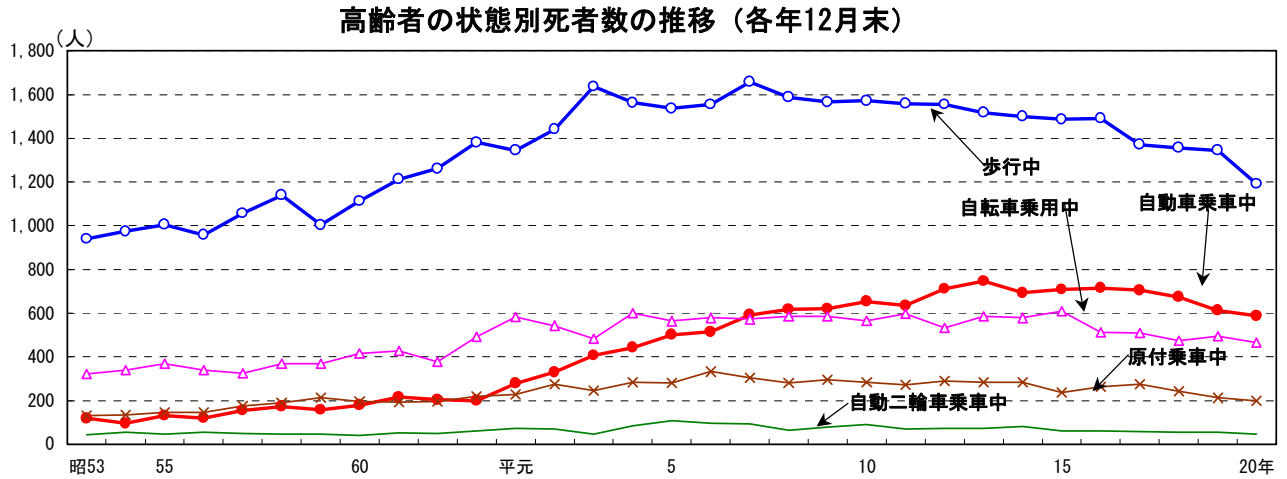
イ 高齢者

◎ 高齢者は歩行中の占める割合がほぼ半数

高齢者の死者数を状態別にみると、歩行中が半数近く（構成率47.7%）を占め、次いで自動車乗車中（同23.5%）、自転車乗車中（同18.6%）の順に多い。

前年と比較すると、歩行中（前年比-154人、-11.4%）は100人を超える顕著な減少となった。

高齢者の歩行中の死者数は、昭和50年代前半から増加傾向を示した後、平成7年（1,658人）をピークに漸減傾向にあり、平成10年の0.76倍となっている。



○ 高齢者の状態別死者数の推移（各年12月末）

年齢層別・状態別	年											増減数	増減率	構成率	指数
	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年				
自動車乗車中	653	634	711	746	692	708	715	704	674	612	587	-25	-4.1	23.5	90
自動二輪車乗車中	92	71	73	73	82	61	61	58	55	56	45	-11	-19.6	1.8	49
原付乗車中	284	273	289	284	284	237	262	275	241	212	198	-14	-6.6	7.9	70
自転車乗車中	564	597	533	585	578	609	511	508	475	495	466	-29	-5.9	18.6	83
歩行中	1,572	1,559	1,555	1,517	1,500	1,487	1,491	1,372	1,357	1,345	1,191	-154	-11.4	47.7	76
その他	9	9	5	11	8	7	6	7	7	7	12	5	71.4	0.5	133
計	3,174	3,143	3,166	3,216	3,144	3,109	3,046	2,924	2,809	2,727	2,499	-228	-8.4	100.0	79

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

注2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

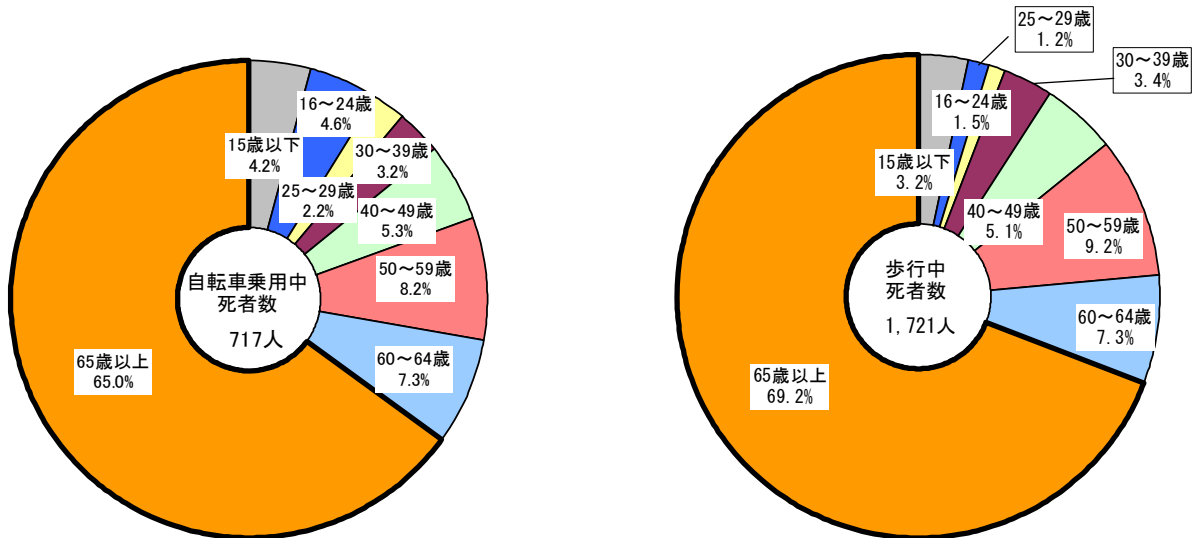
◎ 自転車乗用中及び歩行中死者に占める高齢者の割合が高い。

自転車乗用中及び歩行中の死者の構成率を年齢層別にみると、高齢者はいずれも約3分の2を占め（自転車乗用中：65.0%、歩行中：69.2%）ている。

自転車乗用中（第1・2当事者）の死者数を法令違反別にみると、高齢者は、本人側にも違反のある割合が8割以上（構成率81.0%）を占め、高齢者以外の者（同72.5%）と比べて高くなっている。

また、歩行中（第1・2当事者）の死者数を法令違反別にみると、高齢者は、高齢者以外の者と比べて、横断歩道外横断（同14.9%）、走行車両の直前・直後横断（同20.9%）等の道路横断時の違反の割合（高齢者：同42.7%、高齢者以外：同27.0%）が特に高くなっている。

自転車乗用中及び歩行中の年齢層別死者数（構成率）（平成20年中）



○ 自転車乗用中及び歩行中（第1・2当事者）の法令違反別死者数（平成20年中）

区分	高齢者		高齢者以外	
	人数	構成率	人数	構成率
法令違反別				
信号無視	41	8.8	29	11.7
通行区分	13	2.8	13	5.3
横断・転回等	14	3.0	2	0.8
優先通行妨害	20	4.3	5	2.0
交差点安全進行	40	8.6	9	3.6
一時不停止	53	11.4	18	7.3
自転車通行方法	4	0.9	5	2.0
安全				
ハンドル操作	18	3.9	13	5.3
ブレーキ操作	1	0.2	1	0.4
運				
前方不注意	7	1.5	5	2.0
転				
動静不注意	7	1.5	3	1.2
義務				
安全不確認	126	27.2	56	22.7
安全速度	0	0.0	2	0.8
その他	7	1.5	2	0.8
その他の違反	15	3.2	15	6.1
違反不明	10	2.2	1	0.4
違反なし	88	19.0	68	27.5
合計	464	100.0	247	100.0
(再掲)				
違反あり	376	81.0	179	72.5

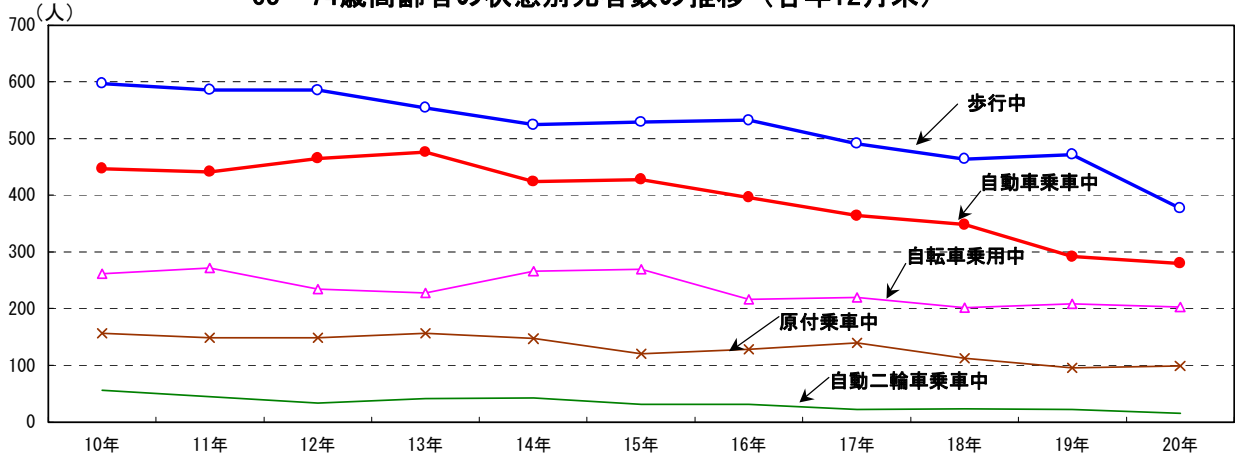
区分	高齢者		高齢者以外	
	人数	構成率	人数	構成率
法令違反別				
信号無視	82	6.9	42	8.3
通行区分	67	5.7	21	4.1
横断違反				
横断歩道外	176	14.9	45	8.9
斜め横断	35	3.0	4	0.8
駐停車両の直前後	17	1.4	4	0.8
走行車両の直前後	247	20.9	72	14.2
横断禁止場所	30	2.5	12	2.4
小計	505	42.7	137	27.0
幼児ひとり歩き	0	0.0	13	2.6
踏切不注意	5	0.4	2	0.4
酩酊等	59	5.0	79	15.6
路上遊戯	0	0.0	2	0.4
路上作業	2	0.2	7	1.4
飛び出し	11	0.9	15	3.0
その他の違反	38	3.2	28	5.5
違反不明	24	2.0	19	3.7
違反なし	389	32.9	143	28.1
合計	1,182	100.0	508	100.0
(再掲)				
違反あり	793	67.1	365	71.9

◎ 75歳以上の高齢者は過半数が歩行中

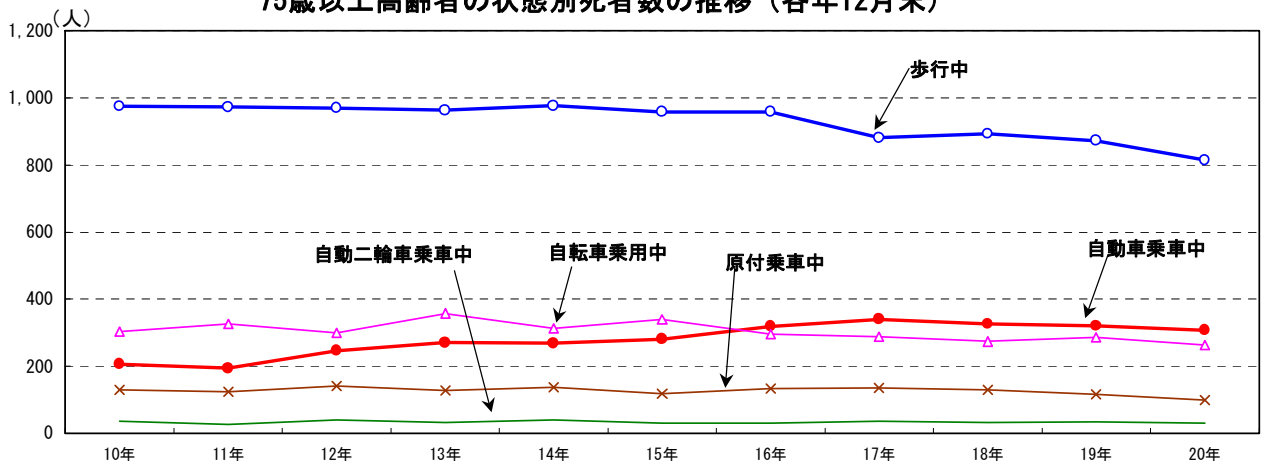
高齢者を65～74歳及び75歳以上の年齢層ごとに状態別で見ると、いずれの年齢層も歩行中が最も多いが、特に75歳以上は過半数(構成率53.6%)を占めている。

過去10年間の推移をみると、65～74歳の自動二輪車乗車中の減少(平成10年の0.27倍)が顕著である。一方75歳以上の自動車乗車中は、平成17年をピークに減少傾向にあるものの依然高い水準(同1.49倍)にある。

65～74歳高齢者の状態別死者数の推移(各年12月末)



75歳以上高齢者の状態別死者数の推移(各年12月末)



○ 高齢者の年齢層別状態別死者数の推移(各年12月末)

年齢層別・状態別	年											増減数	増減率	構成率	指数	
	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年					
65歳以上	自動車乗車中	447	441	465	476	424	428	396	364	348	292	280	-12	-4.1	28.6	63
	自動二輪車乗車中	56	45	34	41	42	32	32	22	23	22	15	-7	-31.8	1.5	27
	原付乗車中	156	149	149	157	147	120	129	140	113	96	99	3	3.1	10.1	63
	自転車乗用中	261	272	235	228	266	269	216	220	202	209	203	-6	-2.9	20.7	78
	歩行中	597	586	585	554	524	529	532	491	464	472	377	-95	-20.1	38.5	63
その他	5	4	0	4	6	5	3	3	2	1	5	4	400.0	0.5	100	
計	1,522	1,497	1,468	1,460	1,409	1,383	1,308	1,240	1,152	1,092	979	-113	-10.3	100.0	64	
75歳以上	自動車乗車中	206	193	246	270	268	280	319	340	326	320	307	-13	-4.1	20.2	149
	自動二輪車乗車中	36	26	39	32	40	29	29	36	32	34	30	-4	-11.8	2.0	83
	原付乗車中	128	124	140	127	137	117	133	135	128	116	99	-17	-14.7	6.5	77
	自転車乗用中	303	325	298	357	312	340	295	288	273	286	263	-23	-8.0	17.3	87
	歩行中	975	973	970	963	976	958	959	881	893	873	814	-59	-6.8	53.6	83
その他	4	5	5	7	2	2	3	4	5	6	7	1	16.7	0.5	175	
計	1,652	1,646	1,698	1,756	1,735	1,726	1,738	1,684	1,657	1,635	1,520	-115	-7.0	100.0	92	

注1 増減数(率)は、平成19年と比較した値である。

2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

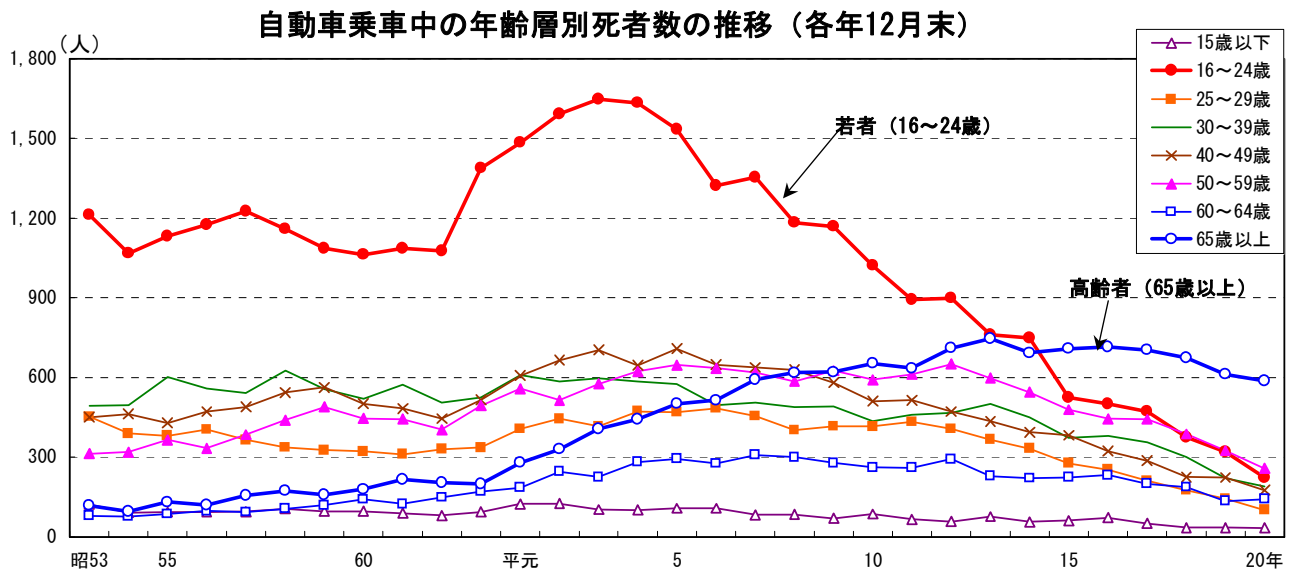
ウ 自動車乗車中

◎ 高齢者が3分の1以上を占める。

自動車乗車中の死者数を年齢層別にみると、高齢者が3分の1以上（構成率34.3%）を占め最も多く、次いで50歳代（同15.0%）、若者（同13.0%）の順に多い。

前年と比較すると、60～64歳がわずかに増加したほかは、全ての年齢層で減少している。

若者の自動車乗車中の死者数は、昭和63年以降激増したが、平成3年（1,647人）をピークに減少に転じ、その後はほぼ一貫して減少しており、10年間で死者数が4分の1以下（平成10年の0.22倍）となるなど減少傾向が顕著である。一方、高齢者の死者数は、運転免許保有者数の増加に伴って、昭和50年代前半から増加傾向を示し、平成13年（746人）をピークにその後は漸減傾向で推移しているが、他の年齢層の減少率が著しいことから、15年には若者を上回り自動車乗車中死者の最多の年齢層となっている。



○ 自動車乗車中の年齢層別死者数の推移（各年12月末）

年齢層別	年											増減数	増減率	構成率	指数
	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年				
15歳以下	86	66	58	76	56	61	72	51	35	35	34	-1	-2.9	2.0	40
16~19歳	349	282	299	245	268	181	190	159	138	116	86	-30	-25.9	5.0	25
20~24歳	672	611	599	516	480	344	310	313	237	204	137	-67	-32.8	8.0	20
16~24歳	1,021	893	898	761	748	525	500	472	375	320	223	-97	-30.3	13.0	22
25~29歳	415	433	406	366	332	277	253	211	176	143	101	-42	-29.4	5.9	24
30~39歳	435	460	467	501	451	372	379	355	300	221	190	-31	-14.0	11.1	44
40~49歳	510	514	471	435	394	382	323	287	225	223	176	-47	-21.1	10.3	35
50~59歳	591	612	650	598	544	479	444	442	387	324	257	-67	-20.7	15.0	43
60~64歳	261	260	292	228	221	224	232	200	187	135	142	7	5.2	8.3	54
65~74歳	447	441	465	476	424	428	396	364	348	292	280	-12	-4.1	16.4	63
75歳以上	206	193	246	270	268	280	319	340	326	320	307	-13	-4.1	18.0	149
65歳以上	653	634	711	746	692	708	715	704	674	612	587	-25	-4.1	34.3	90
合計	3,972	3,872	3,953	3,711	3,438	3,028	2,918	2,722	2,359	2,013	1,710	-303	-15.1	100.0	43
若者構成率	25.7	23.1	22.7	20.5	21.8	17.3	17.1	17.3	15.9	15.9	13.0	-	-	-	51
高齢者構成率	16.4	16.4	18.0	20.1	20.1	23.4	24.5	25.9	28.6	30.4	34.3	-	-	-	209
(再掲)															
20~29歳	1,087	1,044	1,005	882	812	621	563	524	413	347	238	-109	-31.4	13.9	22
70歳以上	409	423	473	491	491	479	519	522	498	476	456	-20	-4.2	26.7	111

注1 増減数(率)は、平成19年と比較した値である。

2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

(4) 昼夜別死者の状況と特徴

◎ 前年に引き続き夜間が昼間を下回る。

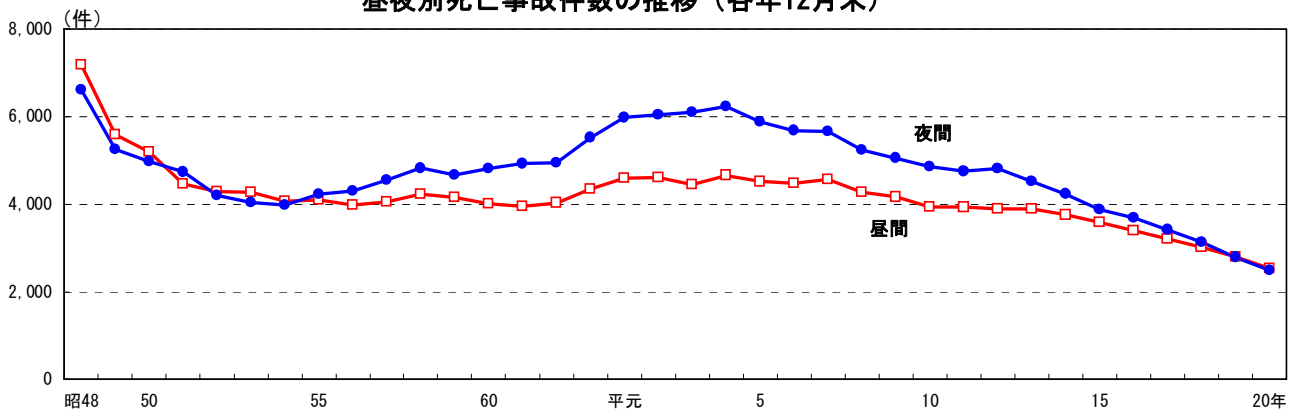
事故件数を昼夜別にみると、交通事故全体に占める夜間の割合は3割程度であるのに対して、死亡事故ではほぼ半数（構成率49.5%）を占めており、死亡事故率（交通事故全体に占める死亡事故の割合）は昼間の3倍近い値となっている。

死亡事故件数を前年と比較すると、昼夜間いずれも減少しており、特に夜間の減少が顕著である。

夜間の死亡事故は、昭和55年に昼間を上回り、その後激増したが、平成4年（6,232件）をピークに減少に転じ、その後はほぼ一貫して減少しており、10年間で、夜間が平成10年の0.51倍、昼間が同0.64倍と、昼夜間の差は年々縮小し、19年には昼間を下回った。

また、昼夜別・主な態様別に10年間の推移を比較すると、特に飲酒運転（昼：平成10年の0.44倍、夜：同0.21倍）及び車両単独（昼：同0.68倍、夜：同0.36倍）は、夜間の減少が昼間に比べて顕著であり、これら態様の減少が夜間の死亡事故の減少の一因と考えられる。

昼夜別死亡事故件数の推移（各年12月末）



○ 昼夜別死亡事故発生状況の推移（各年12月末）

年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	増減数	増減率	構成率	指数
昼夜別															
件数															
昼	3,936	3,933	3,889	3,892	3,757	3,583	3,391	3,206	3,013	2,800	2,538	-262	-9.4	50.5	64
夜	4,861	4,748	4,818	4,522	4,236	3,873	3,693	3,419	3,134	2,787	2,487	-300	-10.8	49.5	51
合計	8,797	8,681	8,707	8,414	7,993	7,456	7,084	6,625	6,147	5,587	5,025	-562	-10.1	100.0	57
夜の構成率	55.3	54.7	55.3	53.7	53.0	51.9	52.1	51.6	51.0	49.9	49.5	—	—	—	90
死者数															
昼	4,100	4,064	4,038	4,020	3,906	3,706	3,524	3,298	3,101	2,874	2,602	-272	-9.5	50.5	63
夜	5,111	4,942	5,028	4,727	4,420	3,996	3,834	3,573	3,251	2,870	2,553	-317	-11.0	49.5	50
合計	9,211	9,006	9,066	8,747	8,326	7,702	7,358	6,871	6,352	5,744	5,155	-589	-10.3	100.0	56
夜の構成率	55.5	54.9	55.5	54.0	53.1	51.9	52.1	52.0	51.2	50.0	49.5	—	—	—	89

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

○ 昼夜間別・主な態様別死亡事故件数の推移（各年12月末）

年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	増減数	増減率	構成率	指数
昼夜別・態様別															
昼															
最高速度違反	444	435	437	383	329	320	227	205	164	143	125	-18	-12.6	4.9	28
構成率	11.3	11.1	11.2	9.8	8.8	8.9	6.7	6.4	5.4	5.1	4.9	—	—	—	44
車両単独	757	761	758	818	734	756	678	633	635	582	518	-64	-11.0	20.4	68
構成率	19.2	19.3	19.5	21.0	19.5	21.1	20.0	19.7	21.1	20.8	20.4	—	—	—	106
飲酒運転	173	192	186	183	181	164	122	131	137	101	76	-25	-24.8	3.0	44
構成率	4.4	4.9	4.8	4.7	4.8	4.6	3.6	4.1	4.5	3.6	3.0	—	—	—	68
人対車両	811	792	745	784	752	690	664	635	623	602	486	-116	-19.3	19.1	60
構成率	20.6	20.1	19.2	20.1	20.0	19.3	19.6	19.8	20.7	21.5	19.1	—	—	—	93
夜															
最高速度違反	1,046	954	980	784	753	563	484	453	356	306	231	-75	-24.5	9.3	22
構成率	21.5	20.1	20.3	17.3	17.8	14.5	13.1	13.2	11.4	11.0	9.3	—	—	—	43
車両単独	1,309	1,249	1,334	1,155	1,098	888	815	815	675	579	467	-112	-19.3	18.8	36
構成率	26.9	26.3	27.7	25.5	25.9	22.9	22.1	23.8	21.5	20.8	18.8	—	—	—	70
飲酒運転	1,094	1,065	1,090	1,008	816	616	588	576	474	329	229	-100	-30.4	9.2	21
構成率	22.5	22.4	22.6	22.3	19.3	15.9	15.9	16.8	15.1	11.8	9.2	—	—	—	41
人対車両	1,733	1,709	1,723	1,599	1,560	1,578	1,521	1,372	1,367	1,282	1,206	-76	-5.9	48.5	70
構成率	35.7	36.0	35.8	35.4	36.8	40.7	41.2	40.1	43.6	46.0	48.5	—	—	—	136

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

3 「最高速度違反」及び「飲酒運転」は、原付以上運転者が第1当事者の死亡事故件数である。

◎ 歩行中死者は夜間が昼間の2倍以上

死者数を昼夜別・状態別にみると、歩行中は、昼間に比べて夜間の構成率が2倍以上（昼間：19.4%、夜間：47.7%）高くなっているのに対して、その他の状態は昼間の構成率が高くなっている。

前年と比較すると、昼間では、歩行中（前年比-124人、-19.7%）が、夜間では、自動車乗車中（同-210人、-23.3%）が最も減少している。

○ 昼夜別・状態別死者数の推移（各年12月末）

昼夜別・状態別	年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	増減数	増減率	構成率	指数
昼	自動車乗車中	1,723	1,745	1,755	1,712	1,659	1,563	1,509	1,374	1,255	1,112	1,019	-93	-8.4	39.2	59
	自動二輪車乗車中	436	387	435	416	388	400	379	336	344	336	343	7	2.1	13.2	79
	原付乗車中	489	472	464	446	475	391	409	379	348	334	276	-58	-17.4	10.6	56
	自転車乗用中	609	620	595	608	583	616	515	522	494	459	455	-4	-0.9	17.5	75
	歩行中	835	834	780	826	793	732	703	680	655	628	504	-124	-19.7	19.4	60
	その他	8	6	9	12	8	4	9	7	5	5	5	0	0.0	0.2	63
計	4,100	4,064	4,038	4,020	3,906	3,706	3,524	3,298	3,101	2,874	2,602	-272	-9.5	100.0	63	
夜	自動車乗車中	2,249	2,127	2,198	1,999	1,779	1,465	1,409	1,348	1,104	901	691	-210	-23.3	27.1	31
	自動二輪車乗車中	450	356	360	397	385	325	294	267	250	223	224	1	0.4	8.8	50
	原付乗車中	257	301	316	307	249	237	231	202	177	138	147	9	6.5	5.8	57
	自転車乗用中	379	412	389	384	408	357	344	324	318	286	262	-24	-8.4	10.3	69
	歩行中	1,770	1,737	1,760	1,630	1,591	1,600	1,547	1,424	1,396	1,315	1,217	-98	-7.5	47.7	69
	その他	6	9	5	10	8	12	9	8	6	7	12	5	71.4	0.5	200
計	5,111	4,942	5,028	4,727	4,420	3,996	3,834	3,573	3,251	2,870	2,553	-317	-11.0	100.0	50	

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

◎ 昼間の死者は過半数が高齢者

死者数を昼夜別・年齢層別にみると、昼夜間いずれも高齢者が最も多く（昼：構成率54.0%、夜：同42.9%）を占め、昼間は過半数となっている。また、高齢者及び子どもは、夜間に比べて昼間の構成率が高いのに対して、その他の年齢層では、夜間の構成率が高くなっている。

○ 昼夜別・年齢層別死者数の推移（各年12月末）

昼夜別・年齢層別	年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	増減数	増減率	構成率	指数
昼	15歳以下	236	196	152	190	179	166	147	130	108	100	93	-7	-7.0	3.6	39
	16～19歳	262	259	214	204	209	168	134	104	138	109	94	-15	-13.8	3.6	36
	20～24歳	314	258	272	242	246	191	174	184	150	139	125	-14	-10.1	4.8	40
	16～24歳	576	517	486	446	455	359	308	288	288	248	219	-29	-11.7	8.4	38
	25～29歳	194	208	182	185	176	188	155	120	130	92	97	5	5.4	3.7	50
	30～39歳	217	269	266	286	259	264	290	245	203	215	171	-44	-20.5	6.6	79
	40～49歳	299	293	286	264	283	254	220	192	171	205	182	-23	-11.2	7.0	61
	50～59歳	437	488	510	480	460	408	378	379	346	301	257	-44	-14.6	9.9	59
	60～64歳	329	290	325	267	278	272	270	230	222	143	178	35	24.5	6.8	54
	65～74歳	848	841	817	850	798	793	737	680	647	586	519	-67	-11.4	19.9	61
	75歳以上	964	962	1,014	1,052	1,018	1,002	1,019	1,034	986	984	886	-98	-10.0	34.1	92
	65歳以上	1,812	1,803	1,831	1,902	1,816	1,795	1,756	1,714	1,633	1,570	1,405	-165	-10.5	54.0	78
	計	4,100	4,064	4,038	4,020	3,906	3,706	3,524	3,298	3,101	2,874	2,602	-272	-9.5	100.0	63
夜	15歳以下	85	69	79	80	79	59	74	52	50	33	34	1	3.0	1.3	40
	16～19歳	522	437	454	403	395	315	287	217	225	195	167	-28	-14.4	6.5	32
	20～24歳	692	624	623	553	466	365	336	324	259	227	165	-62	-27.3	6.5	24
	16～24歳	1,214	1,061	1,077	956	861	680	623	541	484	422	332	-90	-21.3	13.0	27
	25～29歳	427	429	420	405	363	309	265	244	176	174	113	-61	-35.1	4.4	26
	30～39歳	453	442	514	524	492	414	426	398	344	263	254	-9	-3.4	9.9	56
	40～49歳	524	529	518	440	395	383	343	347	301	249	235	-14	-5.6	9.2	45
	50～59歳	676	721	718	692	606	552	538	508	470	372	311	-61	-16.4	12.2	46
	60～64歳	370	351	367	316	296	285	275	273	250	200	180	-20	-10.0	7.1	49
	65～74歳	674	656	651	610	611	590	571	560	505	506	460	-46	-9.1	18.0	68
	75歳以上	688	684	684	704	717	724	719	650	671	651	634	-17	-2.6	24.8	92
	65歳以上	1,362	1,340	1,335	1,314	1,328	1,314	1,290	1,210	1,176	1,157	1,094	-63	-5.4	42.9	80
	計	5,111	4,942	5,028	4,727	4,420	3,996	3,834	3,573	3,251	2,870	2,553	-317	-11.0	100.0	50

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

◎ 昼間の高齢者は歩行中の減少が顕著

死者数を昼夜別・年齢層別・状態別にみると、高齢者の昼間は、自動車乗車中が3分の1以上（構成率34.1%）を占め最も多いのに対して、夜間では歩行中が約4分の3（同74.2%）を占めている。

若者及び高齢者について前年と比較すると、昼間では、高齢者の歩行中（前年比-113人、-23.0%）の減少数。夜間では、若者の自動車乗車中（同-75人、-34.2%）の減少数がそれぞれ最も大きくなっている。

○ 昼夜別・年齢層別・状態別死者数の推移（各年12月末）

昼夜別・年齢層別・状態別	年											増減数	増減率	構成率	指数		
	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年						
昼	15歳以下	自動車乗車中	61	43	33	44	32	42	45	30	19	24	27	3	12.5	29.0	44
		自動二輪車乗車中	1	1	2	1	0	0	1	0	1	0	0	0	-	0.0	0
		原付乗車中	5	5	2	4	3	3	1	2	3	4	2	-2	-50.0	2.2	40
		自転車乗用中	59	50	44	46	45	45	43	42	35	28	22	-6	-21.4	23.7	37
		歩行中	110	97	71	95	99	76	57	56	50	44	41	-3	-6.8	44.1	37
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	-	1.1	-
	計	236	196	152	190	179	166	147	130	108	100	93	-7	-7.0	100.0	39	
	16～24歳	自動車乗車中	271	246	241	216	235	155	160	146	118	101	79	-22	-21.8	36.1	29
		自動二輪車乗車中	185	142	143	125	105	117	74	84	99	82	83	1	1.2	37.9	45
		原付乗車中	84	99	75	65	79	63	55	39	37	38	37	-1	-2.6	16.9	44
		自転車乗用中	28	21	21	28	24	21	14	14	29	19	16	-3	-15.8	7.3	57
		歩行中	8	9	6	11	12	3	5	5	5	8	4	-4	-50.0	1.8	50
		その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0.0	-
	計	576	517	486	446	455	359	308	288	288	248	219	-29	-11.7	100.0	38	
	25～64歳	自動車乗車中	890	957	930	879	835	792	725	640	571	494	434	-60	-12.1	49.0	49
		自動二輪車乗車中	171	183	226	228	218	226	248	200	199	209	222	13	6.2	25.1	130
		原付乗車中	147	128	137	122	143	116	121	102	100	94	61	-33	-35.1	6.9	41
		自転車乗用中	128	139	146	107	119	115	100	106	87	74	86	12	16.2	9.7	67
歩行中		138	139	123	141	138	135	114	113	114	84	80	-4	-4.8	9.0	58	
その他		2	2	7	5	3	2	5	5	1	1	2	1	100.0	0.2	100	
計	1,476	1,548	1,569	1,482	1,456	1,386	1,313	1,166	1,072	956	885	-71	-7.4	100.0	60		
65歳以上	自動車乗車中	501	499	551	573	557	574	579	558	547	493	479	-14	-2.8	34.1	96	
	自動二輪車乗車中	79	61	64	62	65	57	56	52	45	45	38	-7	-15.6	2.7	48	
	原付乗車中	253	240	250	255	250	209	232	236	208	198	176	-22	-11.1	12.5	70	
	自転車乗用中	394	410	384	427	395	435	358	360	343	338	331	-7	-2.1	23.6	84	
	歩行中	579	589	580	579	544	518	527	506	486	492	379	-113	-23.0	27.0	65	
	その他	6	4	2	6	5	2	4	2	4	4	2	-2	-50.0	0.1	33	
計	1,812	1,803	1,831	1,902	1,816	1,795	1,756	1,714	1,633	1,570	1,405	-165	-10.5	100.0	78		
夜	15歳以下	自動車乗車中	25	23	25	32	24	19	27	21	16	11	7	-4	-36.4	20.6	28
		自動二輪車乗車中	7	9	5	5	4	6	3	0	3	2	1	-1	-50.0	2.9	14
		原付乗車中	10	14	17	17	10	9	8	9	6	2	4	2	100.0	11.8	40
		自転車乗用中	16	10	8	14	16	5	15	4	10	5	8	3	60.0	23.5	50
		歩行中	27	13	24	12	25	20	20	18	14	13	14	1	7.7	41.2	52
		その他	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	-	0.0	-
	計	85	69	79	80	79	59	74	52	50	33	34	1	3.0	100.0	40	
	16～24歳	自動車乗車中	750	647	657	545	513	370	340	326	257	219	144	-75	-34.2	43.4	19
		自動二輪車乗車中	271	213	202	209	181	155	140	104	103	107	99	-8	-7.5	29.8	37
		原付乗車中	115	132	138	126	99	96	85	53	52	44	50	6	13.6	15.1	43
		自転車乗用中	19	25	33	28	29	28	19	26	31	23	17	-6	-26.1	5.1	89
		歩行中	59	44	46	48	38	30	38	32	41	29	21	-8	-27.6	6.3	36
		その他	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	1	-	0.3	-
	計	1,214	1,061	1,077	956	861	680	623	541	484	422	332	-90	-21.3	100.0	27	
	25～64歳	自動車乗車中	1,322	1,322	1,356	1,249	1,107	942	906	855	704	552	432	-120	-21.7	39.5	33
		自動二輪車乗車中	159	124	144	172	183	160	146	157	134	103	117	14	13.6	10.7	74
		原付乗車中	101	122	122	135	106	104	108	101	86	78	71	-7	-9.0	6.5	70
		自転車乗用中	174	190	199	184	180	150	157	146	145	101	102	1	1.0	9.3	59
歩行中		691	710	715	632	572	581	525	508	470	420	370	-50	-11.9	33.9	54	
その他		3	4	1	5	4	6	5	3	2	4	1	-3	-75.0	0.1	33	
計	2,450	2,472	2,537	2,377	2,152	1,943	1,847	1,770	1,541	1,258	1,093	-165	-13.1	100.0	45		
65歳以上	自動車乗車中	152	135	160	173	135	134	136	146	127	119	108	-11	-9.2	9.9	71	
	自動二輪車乗車中	13	10	9	11	17	4	5	6	10	11	7	-4	-36.4	0.6	54	
	原付乗車中	31	33	39	29	34	28	30	39	33	14	22	8	57.1	2.0	71	
	自転車乗用中	170	187	149	158	183	174	153	148	132	157	135	-22	-14.0	12.3	79	
	歩行中	993	970	975	938	956	969	964	866	871	853	812	-41	-4.8	74.2	82	
	その他	3	5	3	5	3	5	2	5	3	3	10	7	233.3	0.9	333	
計	1,362	1,340	1,335	1,314	1,328	1,314	1,290	1,210	1,176	1,157	1,094	-63	-5.4	100.0	80		

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

5 死亡事故の状況と特徴

(1) 第1当事者別の状況と特徴

ア 全般

◎ 自家用普通乗用車及び軽乗用車で全体の約半数。自家用普通乗用車の減少が顕著。

死亡事故件数を当事者種別（第1当事者）別にみると、自家用普通乗用車及び軽乗用車で全体の約半数（構成率49.0%）を占めている。

前年との比較では、自家用普通乗用車（前年比-213件、-11.3%）と、自家用普通貨物（同-75件、-19.9%）で減少数（562件）の半分以上を占めている。

過去10年間の推移をみると、全般的に減少傾向にあるものの自家用軽乗用車は依然高い水準（平成10年の1.32倍）にある。

○ 当事者種別（第1当事者）別死亡事故件数の推移（各年12月末）

当事者種別	年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	増減数	増減率	構成率	指数		
自家用	乗用	バス	2	1	2	3	1	0	2	1	1	0	3	3	-	0.1	150	
		マイクロ	8	10	14	8	8	9	12	5	8	12	6	-6	-50.0	0.1	75	
		普通乗用	3,669	3,618	3,585	3,381	3,244	2,886	2,697	2,481	2,255	1,891	1,678	-213	-11.3	33.4	46	
		軽乗用	596	566	728	733	739	785	788	832	800	847	785	-62	-7.3	15.6	132	
	小計	4,275	4,195	4,329	4,125	3,992	3,680	3,499	3,319	3,064	2,750	2,472	-278	-10.1	49.2	58		
	貨物	大型貨物	86	83	76	75	56	58	34	47	31	38	43	5	13.2	0.9	50	
		中型貨物										74	74	0	0.0	1.5		
		普通貨物	787	789	700	724	660	602	566	505	468		376	301	-75	-19.9	6.0	48
		軽貨物	1,001	1,019	978	903	807	814	807	738	674	635	565	-70	-11.0	11.2	56	
		小計	1,874	1,891	1,754	1,702	1,523	1,474	1,407	1,290	1,173	1,123	983	-140	-12.5	19.6	52	
	トレーラー	8	7	8	3	7	7	2	3	5	3	6	3	100.0	0.1	75		
	小計	6,149	6,086	6,083	5,827	5,515	5,154	4,906	4,609	4,237	3,873	3,455	-418	-10.8	68.8	56		
	自動車	乗用	バス	24	22	20	21	18	18	22	18	18	23	11	-12	-52.2	0.2	46
			マイクロ	3	1	0	1	1	5	7	4	8	0	2	2	-	0.0	67
			普通乗用	56	57	43	57	55	69	45	52	49	33	49	16	48.5	1.0	88
			軽乗用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	-2	-66.7	0.0	-
		小計	83	80	63	79	74	92	74	74	75	59	63	4	6.8	1.3	76	
貨物		大型貨物	315	315	321	296	316	283	260	270	255	245	234	-11	-4.5	4.7	74	
		中型貨物										166	133	-33	-19.9	2.6		
		普通貨物	369	376	406	360	335	341	346	317	273		99	40	-59	-59.6	0.8	47
		軽貨物	22	24	32	24	20	30	20	37	31	17	24	7	41.2	0.5	109	
		小計	706	715	759	680	671	654	626	624	559	527	431	-96	-18.2	8.6	61	
トレーラー		63	74	80	69	66	55	54	62	58	61	37	-24	-39.3	0.7	59		
小計		789	795	822	759	745	746	700	698	634	586	494	-92	-15.7	9.8	63		
ミニカー		1	1	0	1	2	1	1	0	1	1	4	3	300.0	0.1	400		
特殊車		農耕作業用	22	15	15	27	28	25	22	23	22	13	24	11	84.6	0.5	109	
		大型	4	11	12	19	13	12	6	9	10	16	3	-13	-81.3	0.1	75	
		小型	5	2	3	3	1	1	5	2	2	4	6	2	50.0	0.1	120	
小計		31	28	30	49	42	38	33	34	34	33	33	0	0.0	0.7	106		
小計	6,970	6,910	6,935	6,636	6,304	5,939	5,640	5,341	4,906	4,493	3,986	-507	-11.3	79.3	57			
二輪車	小型二輪	315	290	281	290	245	230	242	190	193	183	177	-6	-3.3	3.5	56		
	軽二輪	178	128	175	149	146	140	104	120	117	113	113	0	0.0	2.2	63		
	原付二種	128	106	98	103	108	88	87	79	92	84	78	-6	-7.1	1.6	61		
	小計	621	524	554	542	499	458	433	389	402	380	368	-12	-3.2	7.3	59		
原付一種	511	526	535	536	521	442	430	380	360	316	300	-16	-5.1	6.0	59			
小計	1,132	1,050	1,089	1,078	1,020	900	863	769	762	696	668	-28	-4.0	13.3	59			
小計	8,102	7,960	8,024	7,714	7,324	6,839	6,503	6,110	5,668	5,189	4,654	-535	-10.3	92.6	57			
自転車	298	323	308	329	326	311	265	254	260	214	218	4	1.9	4.3	73			
その他の車両	3	0	1	1	0	1	3	1	2	1	1	0	0.0	0.0	33			
歩行者	322	339	319	315	286	260	252	221	185	155	127	-28	-18.1	2.5	39			
不明	72	59	55	55	57	45	61	39	32	28	25	-3	-10.7	0.5	35			
合計	8,797	8,681	8,707	8,414	7,993	7,456	7,084	6,625	6,147	5,587	5,025	-562	-10.1	100.0	57			

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。
 2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。
 3 トレーラーは、大型貨物、中型貨物及び普通貨物の内数。

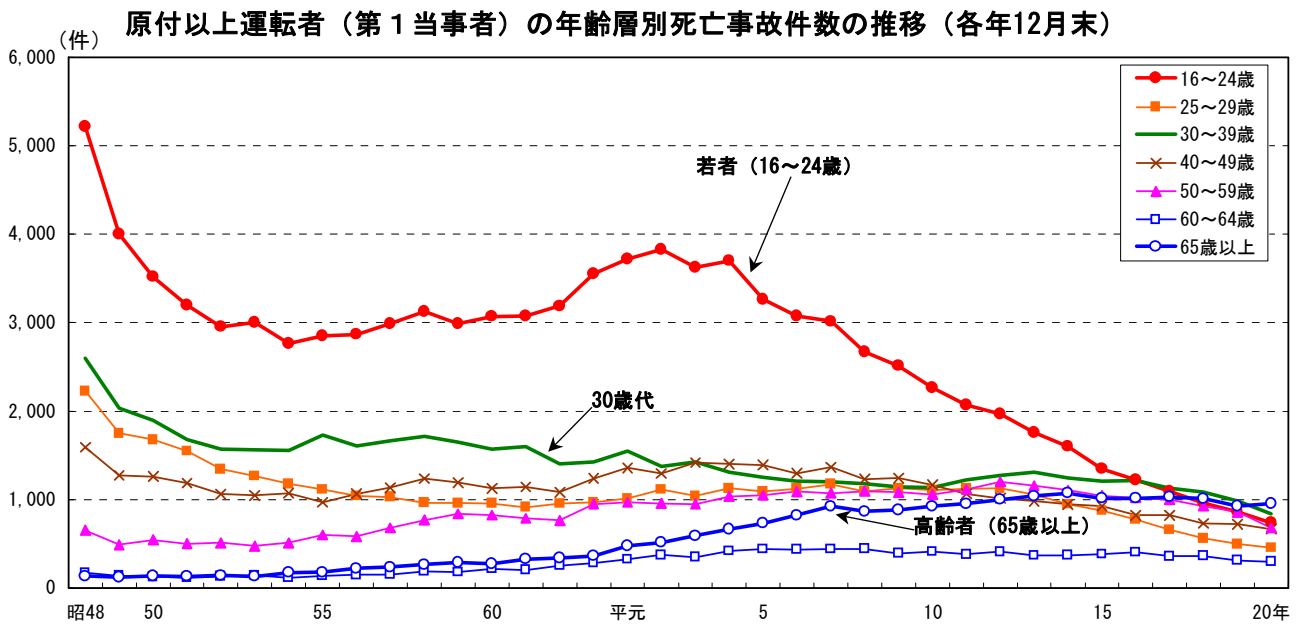
イ 原付以上運転者

◎ 若者の運転による死亡事故は10年間で約3分の1に減少

原付以上運転者（第1当事者）による死亡事故件数を年齢層別にみると、高齢者（構成率20.6%）が最も多く、次いで30歳代（同18.0%）、若者（同16.0%）の順に多い。

前年と比較すると、特に50歳代（前年比-179件、-20.8%）、30歳代（同-152件、-15.3%）及び若者（同-121件、-14.0%）が100件以上の減少となった。一方、高齢者は増加（同+27件、+2.9%）となった。

若者の運転による死亡事故は、昭和50年代半ばから増加傾向にあったが、平成2年（3,828件）をピークに減少に転じ、その後はほぼ一貫して減少し、10年間で約3分の1（平成10年の0.33倍）となり、17年には30歳代を下回った。一方、高齢運転者による死亡事故は、運転免許保有者数が10年間で約2倍に増加していることなどを背景に、依然高い水準（同1.03倍）にあり、20年は30歳代を上回り、最多の年齢層となった。中でも75歳以上は、より高い水準（同1.36倍）にある。



○ 原付以上運転者（第1当事者）の年齢層別死亡事故件数の推移（各年12月末）

年齢層別	年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	増減数	増減率	構成率	指数
15歳以下		16	21	20	23	11	14	9	11	6	4	6	2	50.0	0.1	38
16～19歳		719	658	618	562	537	463	397	328	281	266	241	-25	-9.4	5.2	34
20～24歳		1,548	1,413	1,352	1,197	1,067	889	826	765	685	598	502	-96	-16.1	10.8	32
16～24歳		2,267	2,071	1,970	1,759	1,604	1,352	1,223	1,093	966	864	743	-121	-14.0	16.0	33
25～29歳		1,110	1,124	1,128	1,062	949	879	779	661	566	500	458	-42	-8.4	9.8	41
30～39歳		1,138	1,221	1,272	1,313	1,250	1,212	1,218	1,127	1,089	991	839	-152	-15.3	18.0	74
40～49歳		1,170	1,068	1,017	985	950	930	825	825	734	723	670	-53	-7.3	14.4	57
50～59歳		1,060	1,117	1,203	1,161	1,108	1,047	1,024	999	929	861	682	-179	-20.8	14.7	64
60～64歳		414	383	411	371	375	388	406	361	366	316	299	-17	-5.4	6.4	72
65～69歳		342	371	361	356	350	366	329	275	315	246	283	37	15.0	6.1	83
70～74歳		286	313	319	329	331	273	287	308	283	262	268	6	2.3	5.8	94
75歳以上		299	271	323	355	396	378	403	450	414	422	406	-16	-3.8	8.7	136
65歳以上		927	955	1,003	1,040	1,077	1,017	1,019	1,033	1,012	930	957	27	2.9	20.6	103
合計		8,102	7,960	8,024	7,714	7,324	6,839	6,503	6,110	5,668	5,189	4,654	-535	-10.3	100.0	57
高齢者構成率 (再掲)		11.4	12.0	12.5	13.5	14.7	14.9	15.7	16.9	17.9	17.9	20.6	—	—	—	180
20～29歳		2,658	2,537	2,480	2,259	2,016	1,768	1,605	1,426	1,251	1,098	960	-138	-12.6	20.6	36
70歳以上		585	584	642	684	727	651	690	758	697	684	674	-10	-1.5	14.5	115

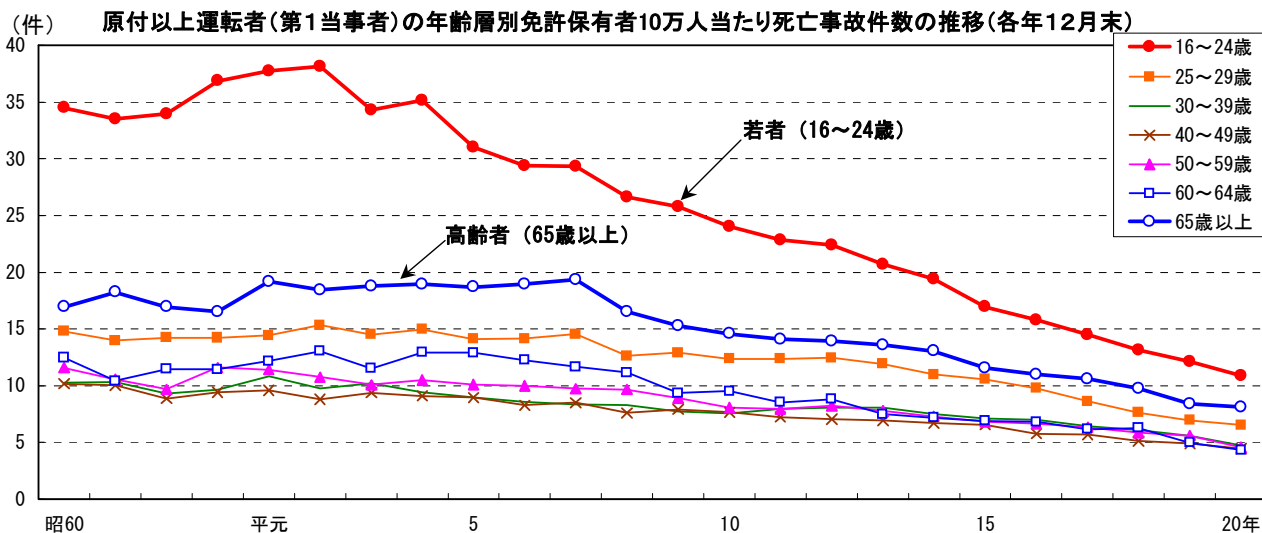
注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

◎ 免許保有者10万人当たりでは全年齢層で減少傾向

原付以上運転者（第1当事者）による免許保有者10万人当たり死亡事故件数を年齢層別にみると、若者（10.8件）が最も多く、次いで高齢者（8.09件）、25～29歳（6.51件）の順に多い。

前年と比較すると、全ての年齢層で減少しており、過去10年間の推移でも、全年齢層で減少傾向にある。最大の年齢層である若者は平成10年の0.45倍と2分の1以下にまで減少し、他の年齢層のとの差は縮小傾向にある。



○ 原付以上運転者（第1当事者）の年齢層別免許保有者10万人当たり死亡事故件数の推移（各年12月末）

年齢層別	年											増減数	増減率	指数	
	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年				
15歳以下	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16～19歳	38.87	36.66	35.00	32.53	32.09	29.40	26.73	23.26	21.01	20.84	20.39	-0.45	-2.2	52	
20～24歳	20.41	19.43	19.24	17.65	16.20	13.87	13.16	12.45	11.40	10.22	8.89	-1.34	-13.1	44	
16～24歳	24.03	22.84	22.41	20.67	19.42	16.93	15.76	14.47	13.15	12.13	10.88	-1.25	-10.3	45	
25～29歳	12.36	12.34	12.43	11.91	10.96	10.56	9.76	8.59	7.62	6.93	6.51	-0.42	-6.0	53	
30～39歳	7.53	7.91	8.04	8.08	7.48	7.07	6.98	6.42	6.05	5.55	4.74	-0.81	-14.6	63	
40～49歳	7.64	7.22	7.02	6.90	6.70	6.55	5.76	5.67	5.10	4.87	4.42	-0.45	-9.2	58	
50～59歳	8.05	7.92	8.21	7.76	7.28	6.80	6.61	6.32	5.83	5.58	4.55	-1.03	-18.4	57	
60～64歳	9.49	8.52	8.80	7.45	7.15	6.88	6.79	6.13	6.27	4.96	4.32	-0.64	-12.9	45	
65～69歳	10.62	11.01	10.19	9.62	8.96	9.02	7.84	6.30	6.75	5.01	5.34	0.34	6.7	50	
70～74歳	14.15	14.25	13.83	13.63	12.73	9.79	9.84	10.15	8.99	7.87	7.68	-0.19	-2.5	54	
75歳以上	26.77	22.20	23.90	23.04	22.61	19.43	18.67	19.02	16.06	14.91	13.35	-1.56	-10.5	50	
65歳以上	14.58	14.08	13.93	13.59	13.04	11.57	10.99	10.58	9.74	8.40	8.09	-0.31	-3.7	56	
合計	11.14	10.79	10.74	10.21	9.57	8.83	8.31	7.75	7.14	6.49	5.79	-0.71	-10.9	52	
(再掲)															
20～29歳	16.04	15.49	15.40	14.39	13.22	12.00	11.26	10.30	9.31	8.40	7.57	-0.83	-9.9	47	
70歳以上	18.64	17.09	17.55	17.29	16.70	13.75	13.60	14.04	12.17	11.11	10.32	-0.79	-7.1	55	

注1 増減数(率)は、平成19年と比較した値である。

2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

3 算出に用いた免許保有者数は、各年12月末現在の値である。

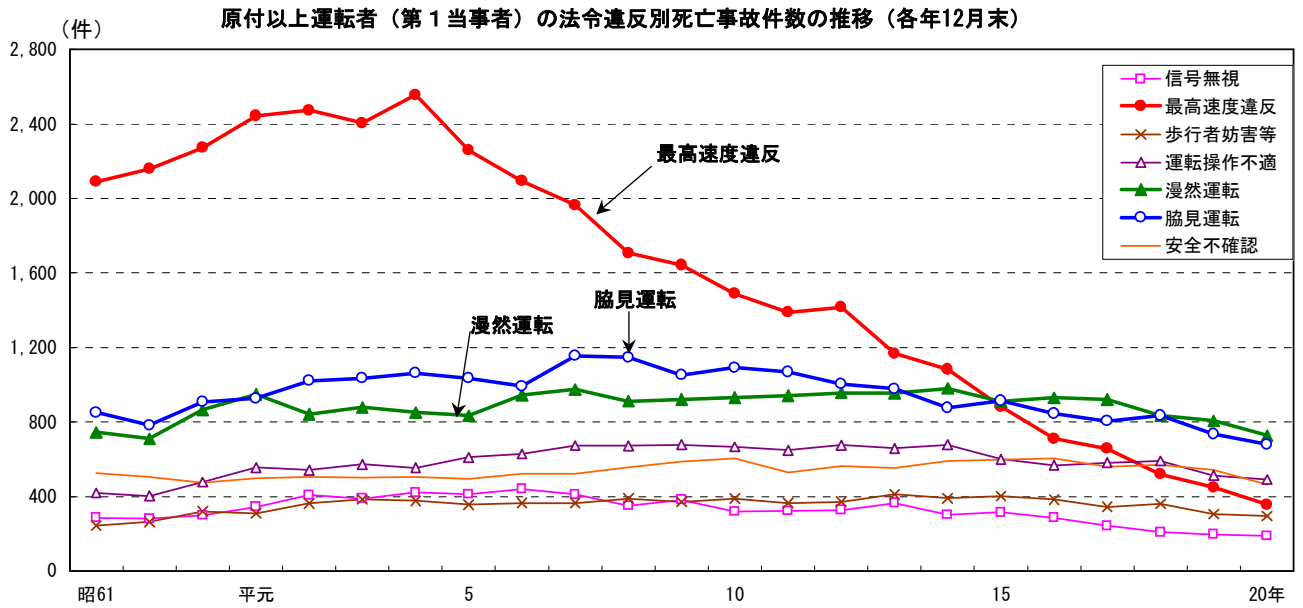
(2) 法令違反別の状況と特徴

ア 全般

◎ 最高速度違反による死亡事故は10年間で4分の1以下に減少

原付以上運転者（第1当事者）による死亡事故件数を法令違反別にみると、漫然運転（構成率15.6%）が最も多く、次いで脇見運転（同14.6%）、運転操作不適（同10.6%）の順に多い。

最高速度違反による死亡事故は、平成4年（2,555件）をピークに減少に転じ、その後は、ほぼ一貫して減少して平成15年には漫然運転を下回るに至った。また、最高速度違反は10年間で4分の1以下（平成10年の0.24倍）にまで減少しており、近年では脇見運転及び漫然運転等安全運転義務違反による死亡事故が構成率では上位を占めている。



○ 原付以上運転者（第1当事者）の法令違反別死亡事故件数の推移（各年12月末）

法令違反別	年											増減数	増減率	構成率	指数
	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年				
信号無視	320	323	329	366	303	315	287	243	209	198	189	-9	-4.5	4.1	59
通行区分	323	359	378	391	338	342	334	344	266	274	231	-43	-15.7	5.0	72
最高速度	1,490	1,389	1,417	1,167	1,082	883	711	658	520	449	356	-93	-20.7	7.6	24
優先通行妨害	244	277	252	241	265	211	219	200	172	166	157	-9	-5.4	3.4	64
歩行者妨害等	389	365	373	411	391	403	383	345	361	306	296	-10	-3.3	6.4	76
一時不停止	376	378	339	356	317	284	264	250	233	217	194	-23	-10.6	4.2	52
酒酔い運転	323	327	340	279	215	165	144	135	115	82	54	-28	-34.1	1.2	17
過労運転	103	81	81	68	99	69	59	43	38	29	21	-8	-27.6	0.5	20
安全運転義務															
運転操作	667	648	676	659	679	600	568	583	591	513	491	-22	-4.3	10.6	74
漫然運転	931	942	956	955	980	910	930	920	835	807	727	-80	-9.9	15.6	78
脇見運転	1,092	1,069	1,004	978	876	915	845	805	835	736	680	-56	-7.6	14.6	62
動静不注視	231	229	223	222	187	207	209	183	193	167	147	-20	-12.0	3.2	64
安全不確認	604	530	563	553	591	597	606	561	569	544	463	-81	-14.9	9.9	77
安全速度	292	330	276	298	271	267	281	238	217	147	150	3	2.0	3.2	51
その他	36	34	52	68	44	66	74	47	37	43	27	-16	-37.2	0.6	75
その他の違反	621	651	733	661	629	545	547	520	455	478	440	-38	-7.9	9.5	71
違反不明	60	28	32	41	57	60	42	35	22	33	31	-2	-6.1	0.7	52
合計	8,102	7,960	8,024	7,714	7,324	6,839	6,503	6,110	5,668	5,189	4,654	-535	-10.3	100.0	57
最高速度構成率	18.4	17.4	17.7	15.1	14.8	12.9	10.9	10.8	9.2	8.7	7.6	-	-	-	42

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

○ 原付以上運転者（第1当事者）の法令違反別・年齢層別死亡事故件数（平成20年中）

年齢層別 法令違反別	15歳	16～			25～	30～	40～	50～	60～	65歳			合計	構成率	70歳 以上	
	以下	16～19歳	20～24歳	24歳	29歳	39歳	49歳	59歳	64歳	65～74歳	75歳以上	以上				
信号無視 (増減数)	2 1	15 -5	29 10	44 5	18 9	33 -1	20 -7	21 -3	7 -17	24 -1	20 5	44 4	189 -9	4.1	33 9	
通行区分 (増減数)	0 -1	13 -4	21 -7	34 -11	23 -3	37 3	21 -16	23 -21	19 -3	43 10	31 -1	74 9	231 -43	5.0	57 11	
最高速度 (増減数)	0 -1	41 -29	84 -28	125 -57	44 -12	70 -21	62 7	41 2	6 -4	6 -3	2 -4	8 -7	356 -93	7.6	6 -2	
横断・転回等 (増減数)	0 0	0 -4	5 2	5 -2	0 -3	7 -2	5 -2	10 5	0 -6	6 1	3 -2	9 -1	36 -11	0.8	7 0	
追越し (増減数)	0 0	3 2	4 1	7 3	6 4	9 1	4 -7	8 4	4 4	3 1	2 1	5 2	43 11	0.9	3 2	
踏切不停止 (増減数)	0 0	2 1	1 0	3 1	2 2	0 -3	3 3	2 -2	2 1	6 1	3 0	9 1	21 3	0.5	6 -1	
右折違反 (増減数)	0 0	2 1	2 -1	4 0	1 1	5 0	2 1	2 -3	1 1	4 1	0 -2	4 -1	19 -1	0.4	2 0	
左折違反 (増減数)	0 0	0 0	0 -1	0 -1	2 2	4 0	4 0	4 1	2 1	3 2	0 -1	3 1	19 4	0.4	0 -1	
優先通行妨害 (増減数)	0 0	11 2	13 -1	24 1	6 -3	25 -1	20 5	23 -2	13 -3	23 -9	23 3	46 -6	157 -9	3.4	33 -8	
交差点安全進行 (増減数)	1 1	6 -2	21 -4	27 -6	23 12	36 -8	28 -10	37 -7	13 2	23 1	13 1	36 2	201 -14	4.3	24 -1	
歩行者妨害等 (増減数)	0 0	6 -1	37 7	43 6	30 4	62 -12	48 -6	47 -12	24 7	30 9	12 -6	42 3	296 -10	6.4	21 -4	
徐行 (増減数)	0 -1	2 0	3 -1	5 -1	4 -1	3 -6	7 1	9 3	6 4	1 -2	3 1	4 -1	38 -2	0.8	3 0	
一時不停止 (増減数)	0 0	11 3	13 -2	24 1	13 0	16 -5	11 -2	24 -9	17 5	46 0	43 -13	89 -13	194 -23	4.2	71 -16	
酒酔い運転 (増減数)	0 0	2 2	5 -10	7 -8	5 -6	10 -9	7 -5	14 -1	3 0	4 0	4 1	8 1	54 -28	1.2	5 1	
過労運転 (増減数)	0 0	1 1	3 1	4 2	1 -3	3 -4	2 -3	4 -1	1 0	4 0	2 1	6 1	21 -8	0.5	4 2	
安全 運 転 義 務	運転操作 (増減数)	2 2	35 -2	49 -13	84 -15	49 0	47 -14	59 -1	67 -11	34 5	73 20	76 -8	149 12	491 -22	10.6	121 3
	漫然運転 (増減数)	0 0	28 -7	70 -1	98 -8	67 -15	128 -21	125 16	123 -41	38 -16	92 -4	56 9	148 5	727 -80	15.6	91 -1
	脇見運転 (増減数)	1 1	29 7	69 -23	98 -16	77 0	152 -28	111 7	91 -25	49 10	69 12	32 -17	101 -5	680 -56	14.6	62 -15
	動静不注視 (増減数)	0 0	2 0	13 -2	15 -2	18 -2	36 1	16 -13	21 -9	12 0	17 4	12 1	29 5	147 -20	3.2	19 1
	安全不確認 (増減数)	0 0	14 6	34 -13	48 -7	37 -23	106 -14	81 -1	77 -34	30 -9	54 10	30 -3	84 7	463 -81	9.9	56 -3
	安全速度 (増減数)	0 0	13 4	22 1	35 5	21 0	30 6	20 -7	19 -3	5 -2	8 -2	12 6	20 4	150 3	3.2	15 3
	その他 (増減数)	0 0	2 0	1 -5	3 -5	1 -2	0 -8	2 -2	4 0	4 2	4 -4	9 3	13 -1	27 -16	0.6	12 1
その他の違反 (増減数)	0 0	3 1	2 -4	5 -3	6 -5	18 -3	6 -11	11 -6	5 0	4 -4	8 4	12 0	63 -28	1.4	9 2	
違反不明 (増減数)	0 0	0 -1	1 -2	1 -3	4 2	2 -3	6 0	0 -4	4 1	4 0	10 5	14 5	31 -2	0.7	14 7	
合計	6	241	502	743	458	839	670	682	299	551	406	957	4,654	100.0	674	
構成率	0.1	5.2	10.8	16.0	9.8	18.0	14.4	14.7	6.4	11.8	8.7	20.6	100.0		14.5	
増減数	2	-25	-96	-121	-42	-152	-53	-179	-17	43	-16	27	-535		-10	
増減率	50.0	-9.4	-16.1	-14.0	-8.4	-15.3	-7.3	-20.8	-5.4	8.5	-3.8	2.9	-10.3		-1.5	

注1 増減数(率)は、平成19年と比較した値である。

2 70歳以上は、再掲である。

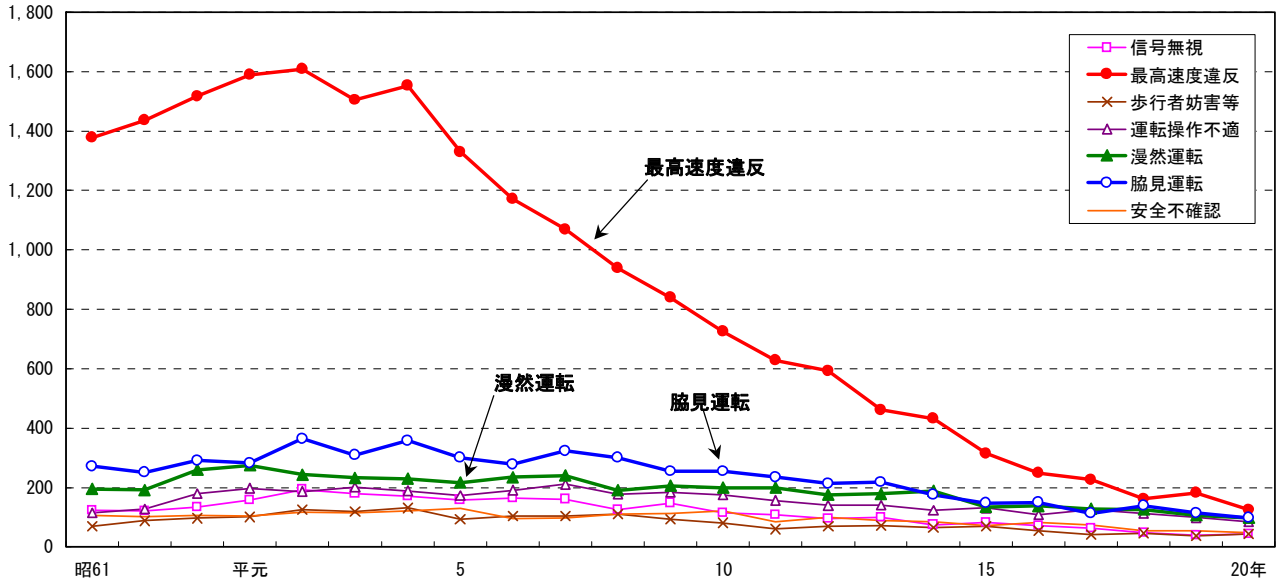
イ 若者

◎ 最高速度違反による死亡事故は10年前の5分の1以下に減少

原付以上運転中の若者（第1当事者）による死亡事故件数を法令違反別にみると、最高速度違反（構成率16.8%）が最も多く、次いで漫然運転及び脇見運転（いずれも同13.2%）の順に多い。

特に最高速度違反の構成率は、全年齢層では7.6%であるのに対して、若者の運転による死亡事故ではその約2.2倍の16.8%と著しく高いが、件数で見ると、平成2年（1,609件）をピークに激減しており、10年間で5分の1近以下にまで減少（平成10年の0.17倍）した。

(件) 原付以上運転中の若者（第1当事者）の法令違反別死亡事故件数の推移（各年12月末）



○ 原付以上運転中の若者（第1当事者）の法令違反別死亡事故件数の推移（各年12月末）

年齢層別・法令違反別	年											増減数	増減率	構成率	指数
	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年				
16歳	115	108	95	100	75	83	72	64	48	39	44	5	12.8	5.9	38
17歳	76	105	85	102	72	76	63	70	49	45	34	-11	-24.4	4.6	45
18歳	726	628	593	461	432	315	249	226	162	182	125	-57	-31.3	16.8	17
24歳	41	52	45	43	40	32	33	34	15	23	24	1	4.3	3.2	59
歩行者妨害等	81	60	70	71	65	70	55	41	47	37	43	6	16.2	5.8	53
一時不停止	73	59	55	48	60	36	48	29	33	23	24	1	4.3	3.2	33
酒酔い運転	76	55	77	48	36	27	20	13	15	15	7	-8	-53.3	0.9	9
過労運転	30	18	18	16	26	16	17	10	9	2	4	2	100.0	0.5	13
安全運転義務	175	157	140	141	124	131	109	125	112	99	84	-15	-15.2	11.3	48
漫然運転	200	200	176	179	188	135	138	128	126	106	98	-8	-7.5	13.2	49
脇見運転	255	235	213	218	176	148	150	113	139	114	98	-16	-14.0	13.2	38
動静不注視	46	47	58	37	30	35	27	26	31	17	15	-2	-11.8	2.0	33
安全不確認	122	86	100	89	85	71	83	74	54	55	48	-7	-12.7	6.5	39
安全速度	94	102	85	68	58	75	73	53	51	30	35	5	16.7	4.7	37
その他	8	6	8	9	10	6	13	5	9	8	3	-5	-62.5	0.4	38
その他の違反	138	148	148	126	118	88	68	76	65	65	56	-9	-13.8	7.5	41
違反不明	11	5	4	3	9	8	5	6	1	4	1	-3	-75.0	0.1	9
合計	2,267	2,071	1,970	1,759	1,604	1,352	1,223	1,093	966	864	743	-121	-14.0	100.0	33
最高速度構成率	32.0	30.3	30.1	26.2	26.9	23.3	20.4	20.7	16.8	21.1	16.8	-	-	-	53

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

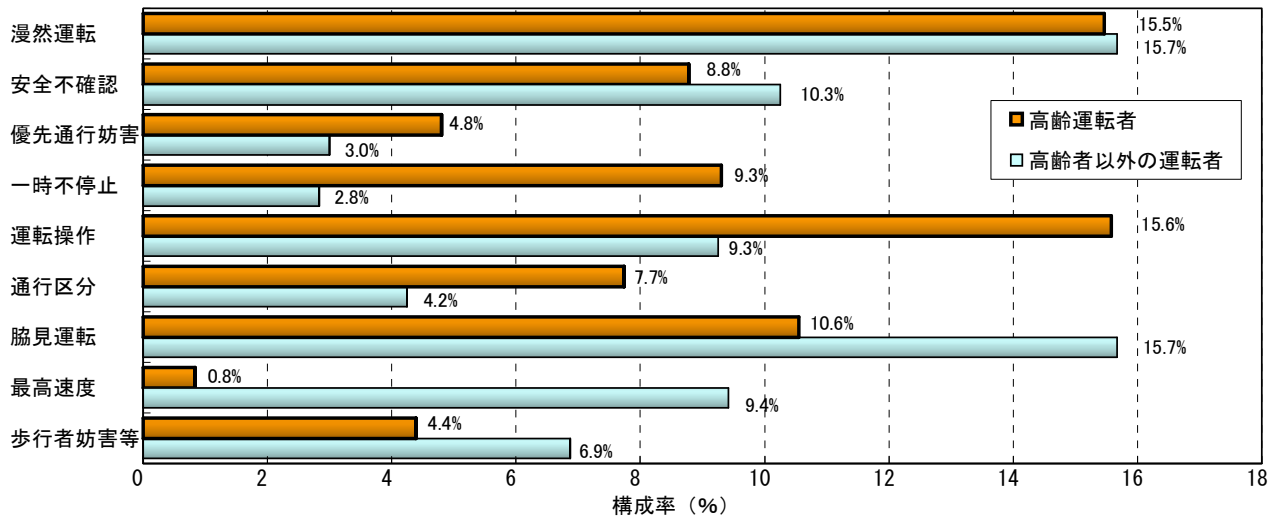
ウ 高齢者

◎ 高齢運転者は優先通行妨害、一時不停止、運転操作不適、通行区分による死亡事故の割合が高い。

原付以上運転中の高齢者（第1当事者）による死亡事故件数を法令違反別にみると、運転操作不適（構成率15.6%）が最も多く、次いで漫然運転（同15.5%）、脇見運転（同10.6%）の順に多い。

高齢運転者の主な法令違反の構成率を高齢者以外の運転者と比較すると、高齢者以外の運転者では、最高速度違反による死亡事故が9.4%であるのに対して、高齢運転者では0.8%と著しく低く、逆に、優先通行妨害、一時不停止、運転操作不適、通行区分といった法令違反による死亡事故の割合は、高齢運転者の方が特に高くなっている。

原付以上運転者（第1当事者）の主な法令違反別死亡事故件数（構成率）（平成20年中）



○ 原付以上運転中の高齢者（第1当事者）の法令違反別死亡事故件数の推移（各年12月末）

年齢層別・法令違反別	年											増減数	増減率	構成率	指数	
	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年					
65歳以上	信号無視	33	31	47	40	52	35	48	34	38	40	44	4	10.0	4.6	133
	通行区分	44	48	69	62	76	79	85	77	61	65	74	9	13.8	7.7	168
	最高速度	31	26	26	26	14	17	15	19	12	15	8	-7	-46.7	0.8	26
	優先通行妨害	68	73	60	68	77	58	62	51	53	52	46	-6	-11.5	4.8	68
	歩行者妨害等	28	25	36	37	49	42	40	46	52	39	42	3	7.7	4.4	150
	一時不停止	136	142	123	157	129	104	104	110	102	102	89	-13	-12.7	9.3	65
	酒酔い運転	24	27	27	18	8	11	18	10	18	7	8	1	14.3	0.8	33
	過労運転	14	13	18	12	17	11	8	6	8	5	6	1	20.0	0.6	43
	運転操作	117	138	155	147	173	148	126	149	173	137	149	12	8.8	15.6	127
	漫然運転	116	133	120	138	140	139	148	161	154	143	148	5	3.5	15.5	128
安全運転義務	脇見運転	107	107	105	93	80	129	116	108	98	106	101	-5	-4.7	10.6	94
	動静不注視	17	22	22	24	18	25	23	16	31	24	29	5	20.8	3.0	171
	安全不確認	69	66	76	76	114	80	97	105	90	77	84	7	9.1	8.8	122
	安全速度	29	24	20	25	24	24	13	30	25	16	20	4	25.0	2.1	69
	その他	6	5	4	15	11	20	8	10	8	14	13	-1	-7.1	1.4	217
その他の違反	74	72	91	94	81	80	99	93	80	79	82	3	3.8	8.6	111	
違反不明	14	3	4	8	14	15	9	8	9	9	9	14	5	55.6	1.5	100
合計	927	955	1,003	1,040	1,077	1,017	1,019	1,033	1,012	930	957	27	2.9	100.0	103	

注1 増減数(率)は、平成19年と比較した値である。

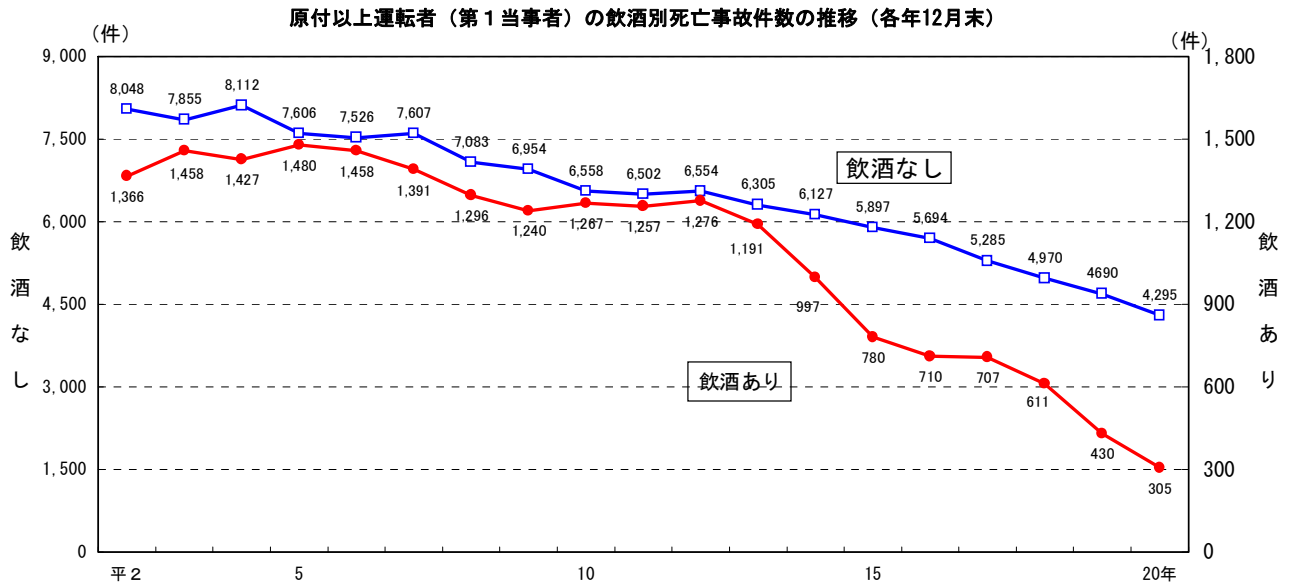
2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

(3) 飲酒別の状況と特徴

◎ 飲酒運転による死亡事故は、10年前の4分の1以下に減少

原付以上運転者（第1当事者）の飲酒運転による死亡事故は305件（構成率6.6%）で、前年と比べて顕著な減少（前年比-125件、-29.1%）となった。

平成14年6月に施行された改正道路交通法により罰則等が強化されたことで、飲酒運転による死亡事故は、14年及び15年は2年連続で激減したが、16年、17年はそれぞれ70件、3件の減少にとどまり、減少傾向が小幅となっていた。しかし、18年9月以降の取締りの強化及び飲酒運転根絶に対する社会的気運の高まり並びに19年9月の飲酒運転の厳罰化等により18年以降は再び顕著な減少となり、10年前の4分の1以下（平成10年の0.24倍）となっている。



○ 原付以上運転者（第1当事者）の飲酒別死亡事故件数の推移（各年12月末）

飲酒別	年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	増減数	増減率	構成率	指数	
飲酒あり	酒酔い	337	338	359	298	238	173	155	146	129	82	54	-28	-34.1	1.2	16	
	酒気帯び(0.25以上)	538	545	513	445	383	310	308	301	275	229	167	-62	-27.1	3.6	31	
	酒気帯び(0.25未満)	—	—	—	—	50	68	56	77	54	40	30	-10	-25.0	0.6	—	
	基準以下	192	217	238	249	161	85	82	76	76	82	38	23	-15	-39.5	0.5	12
	検知不能	200	157	166	199	165	144	109	107	107	71	41	31	-10	-24.4	0.7	16
小計	1,267	1,257	1,276	1,191	997	780	710	707	611	430	305	-125	-29.1	6.6	24		
飲酒あり構成率	15.6	15.8	15.9	15.4	13.6	11.4	10.9	11.6	10.8	8.3	6.6	—	—	—	—	42	
飲酒なし	6,558	6,502	6,554	6,305	6,127	5,897	5,694	5,285	4,970	4,690	4,295	-395	-8.4	92.3	65		
調査不能	277	201	194	218	200	162	99	118	87	69	54	-15	-21.7	1.2	19		
合計	8,102	7,960	8,024	7,714	7,324	6,839	6,503	6,110	5,668	5,189	4,654	-535	-10.3	100.0	57		

注1 増減数(率)は、平成19年と比較した値である。

注2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

注3 平成14年の「酒気帯び(0.25未満)」の件数は、6月以降の件数である。

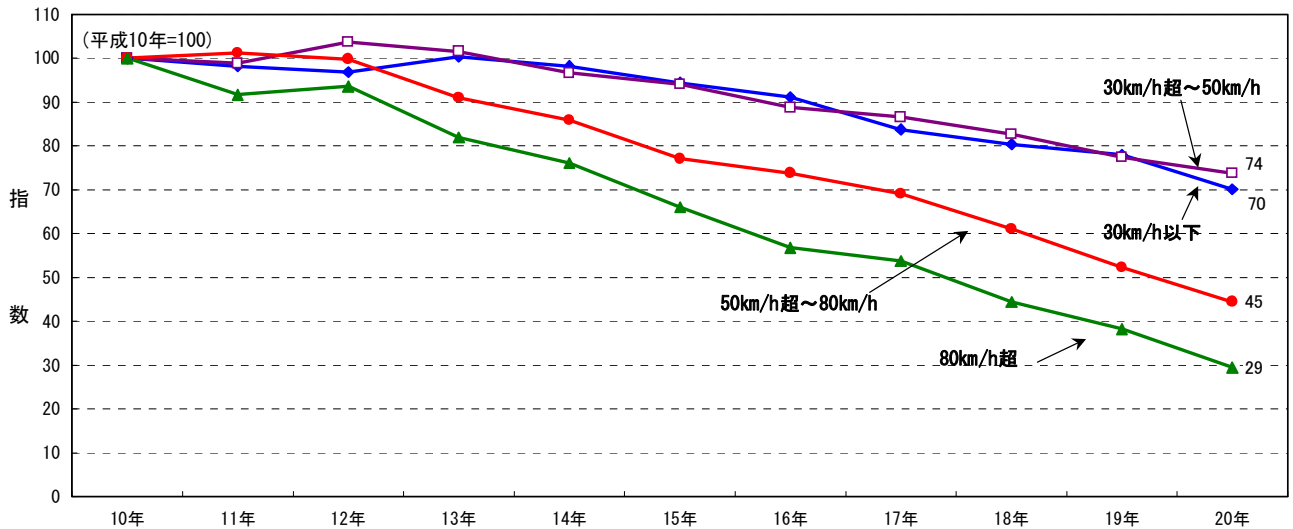
注4 「酒酔い」の件数は、交通事故に最も影響を与えている法令違反別の分類による件数とは一致しない。

(4) 危険認知速度別の状況と特徴

◎ 若者の高速走行時の死亡事故の減少が顕著

原付以上運転者（第1当事者）による死亡事故件数を危険認知速度別に、過去10年間の推移を見ると、速度が高い事故の減少幅が大きく、特に80km/h超の高速走行時の死亡事故は、3分の1以下（平成10年の0.29倍）にまで減少している。これらの傾向は、若者に顕著であり、50km/h超～80km/h、80km/h超が10年間でそれぞれ約4分の1（同0.27倍）、約5分の1（同0.21倍）となっている。

原付以上運転者（第1当事者）の危険認知速度別死亡事故件数の推移（指数）（各年12月末）



○ 原付以上運転者（第1当事者）の年齢層別・危険認知速度別死亡事故件数の推移（各年12月末）

年齢層別・速度別	年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	増減数	増減率	構成率	指数
15歳以下	30km/h以下	5	8	6	7	6	4	6	3	5	1	2	1	100.0	33.3	40
	30km/h超～50km/h	6	5	9	9	2	7	1	6	0	1	4	3	300.0	66.7	67
	50km/h超～80km/h	3	7	3	6	2	3	1	2	1	1	0	-1	-100.0	0.0	0
	80km/h超	2	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	-	0.0	0
	調査不能	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	-1	-100.0	0.0	-
小計	16	21	20	23	11	14	9	11	6	4	6	2	50.0	100.0	38	
16歳	30km/h以下	288	241	229	238	214	197	170	152	137	143	121	-22	-15.4	16.3	42
	30km/h超～50km/h	520	492	518	462	420	388	347	314	293	264	251	-13	-4.9	33.8	48
	50km/h超～80km/h	948	928	818	737	674	542	506	433	392	317	255	-62	-19.6	34.3	27
	80km/h超	439	351	348	269	250	186	159	163	120	108	94	-14	-13.0	12.7	21
	調査不能	72	59	57	53	46	39	41	31	24	32	22	-10	-31.3	3.0	31
小計	2,267	2,071	1,970	1,759	1,604	1,352	1,223	1,093	966	864	743	-121	-14.0	100.0	33	
24歳	30km/h以下	1,083	1,094	1,062	1,065	1,042	1,059	1,001	901	885	852	734	-118	-13.8	24.9	68
	30km/h超～50km/h	1,538	1,508	1,559	1,604	1,492	1,445	1,388	1,349	1,265	1,219	1,112	-107	-8.8	37.7	72
	50km/h超～80km/h	1,681	1,720	1,819	1,638	1,571	1,456	1,411	1,330	1,168	1,015	864	-151	-14.9	29.3	51
	80km/h超	437	457	466	448	409	386	331	305	266	220	158	-62	-28.2	5.4	36
	調査不能	153	134	125	137	118	110	121	88	100	85	80	-5	-5.9	2.7	52
小計	4,892	4,913	5,031	4,892	4,632	4,456	4,252	3,973	3,684	3,391	2,948	-443	-13.1	100.0	60	
65歳以上	30km/h以下	414	415	437	486	496	430	455	443	412	400	398	-2	-0.5	41.6	96
	30km/h超～50km/h	328	359	394	355	397	410	387	401	420	367	397	30	8.2	41.5	121
	50km/h超～80km/h	138	149	124	140	131	134	127	148	131	116	114	-2	-1.7	11.9	83
	80km/h超	8	4	14	9	14	13	12	8	8	11	9	-2	-18.2	0.9	113
	調査不能	39	28	34	50	39	30	38	33	41	36	39	3	8.3	4.1	100
小計	927	955	1,003	1,040	1,077	1,017	1,019	1,033	1,012	930	957	27	2.9	100.0	103	
全年齢層	30km/h以下	1,790	1,758	1,734	1,796	1,758	1,690	1,632	1,499	1,439	1,396	1,255	-141	-10.1	27.0	70
	30km/h超～50km/h	2,392	2,364	2,480	2,430	2,311	2,250	2,123	2,070	1,978	1,851	1,764	-87	-4.7	37.9	74
	50km/h超～80km/h	2,770	2,804	2,764	2,521	2,378	2,135	2,045	1,913	1,692	1,449	1,233	-216	-14.9	26.5	45
	80km/h超	886	812	829	726	674	585	503	476	394	339	261	-78	-23.0	5.6	29
	調査不能	264	222	217	241	203	179	200	152	165	154	141	-13	-8.4	3.0	53
小計	8,102	7,960	8,024	7,714	7,324	6,839	6,503	6,110	5,668	5,189	4,654	-535	-10.3	100.0	57	

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

注2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

(5) 事故類型別の状況と特徴

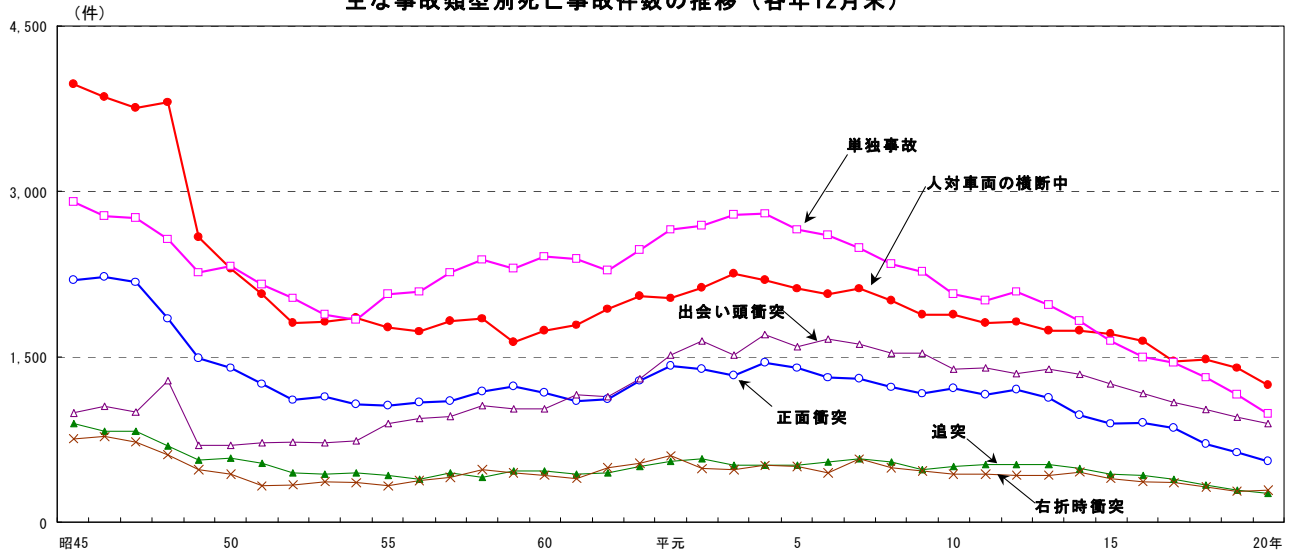
◎ 工作物衝突及び正面衝突は10年前の半数以下に減少

死亡事故件数を事故類型別にみると、人对車両の横断中（構成率24.7%）が最も多く、次いで車両相互の出会い頭衝突（同17.8%）、車両単独の工作物衝突（同12.7%）の順に多い。

前年と比較すると、特に工作物衝突（前年比-160件、-20.1%）及び人对車両の横断中（同-156件、-11.2%）は100件を超える減少となった。

過去10年間の推移をみると、工作物衝突（平成10年の0.44倍）及び正面衝突（同0.45倍）、人对車両（同0.67倍）など、死亡事故率の高い事故類型は着実に減少してきている。

主な事故類型別死亡事故件数の推移（各年12月末）



○ 事故類型別死亡事故件数の推移（各年12月末）

事故類型別	年	10年										増減数	増減率	構成率	指数		
		10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年					20年	
人对車両	対面通行中	86	99	100	96	84	74	61	69	52	58	51	-7	-12.1	1.0	59	
	背面通行中	190	207	188	192	169	163	159	165	150	140	118	-22	-15.7	2.3	62	
	横断中	横断歩道	490	489	485	473	480	477	427	396	453	406	365	-41	-10.1	7.3	74
		横断歩道付近	281	225	218	251	239	252	205	179	153	156	135	-21	-13.5	2.7	48
		横断歩道橋付近	32	28	35	30	33	29	27	12	14	19	15	-4	-21.1	0.3	47
		その他	1,085	1,068	1,079	987	983	950	981	873	858	817	727	-90	-11.0	14.5	67
	小計	1,888	1,810	1,817	1,741	1,735	1,708	1,640	1,460	1,478	1,398	1,242	-156	-11.2	24.7	66	
	路上遊戯中	15	14	9	11	10	2	6	8	4	9	3	-6	-66.7	0.1	20	
	路上作業中	40	54	51	54	40	42	45	60	38	33	25	-8	-24.2	0.5	63	
	路上停止中	82	67	79	61	64	63	59	57	62	45	54	9	20.0	1.1	66	
その他	243	250	224	228	210	216	215	188	206	201	199	-2	-1.0	4.0	82		
計	2,544	2,501	2,468	2,383	2,312	2,268	2,185	2,007	1,990	1,884	1,692	-192	-10.2	33.7	67		
車両相互	正面衝突	1,214	1,158	1,203	1,129	974	892	908	854	713	627	551	-76	-12.1	11.0	45	
	追突	進行中	242	267	246	240	224	209	204	179	148	123	132	9	7.3	2.6	55
		その他	267	259	279	281	266	226	223	206	197	171	134	-37	-21.6	2.7	50
		小計	509	526	525	521	490	435	427	385	345	294	266	-28	-9.5	5.3	52
	出会い頭衝突	1,392	1,403	1,350	1,390	1,346	1,252	1,169	1,092	1,024	951	892	-59	-6.2	17.8	64	
	追越・追抜時衝突	110	92	109	104	90	93	79	86	76	64	65	1	1.6	1.3	59	
	すれ違い時衝突	39	38	45	35	27	31	25	27	21	14	16	2	14.3	0.3	41	
	左折時衝突	66	89	71	80	85	68	85	77	78	76	64	-12	-15.8	1.3	97	
	右折時衝突	433	436	432	426	458	395	374	356	319	283	288	5	1.8	5.7	67	
	その他	361	376	358	314	325	327	292	239	232	199	167	-32	-16.1	3.3	46	
計	4,124	4,118	4,093	3,999	3,795	3,493	3,359	3,116	2,808	2,508	2,309	-199	-7.9	46.0	56		
車両単独	工作物衝突	電柱	362	323	364	328	303	283	257	261	229	171	144	-27	-15.8	2.9	40
		標識	92	70	61	65	78	67	57	47	63	50	35	-15	-30.0	0.7	38
		分離帯等	134	110	144	122	113	95	81	84	64	58	57	-1	-1.7	1.1	43
		防護柵等	419	435	411	425	358	303	298	297	261	257	187	-70	-27.2	3.7	45
		家屋・塀	133	123	142	155	118	110	100	121	83	71	62	-9	-12.7	1.2	47
		橋梁・橋脚	60	69	78	59	58	58	38	44	39	36	39	3	8.3	0.8	65
		その他	250	253	267	221	244	203	177	191	177	154	113	-41	-26.6	2.2	45
	小計	1,450	1,383	1,467	1,375	1,272	1,119	1,008	1,045	916	797	637	-160	-20.1	12.7	44	
	駐車車両衝突	131	124	139	104	98	92	97	82	66	63	56	-7	-11.1	1.1	43	
	路外転落	259	254	241	252	218	199	196	163	169	145	154	9	6.2	3.1	59	
逸脱	93	96	92	98	92	68	53	43	40	36	28	-8	-22.2	0.6	30		
小計	352	350	333	350	310	267	249	206	209	181	182	1	0.6	3.6	52		
転倒	115	113	114	107	119	126	103	76	83	90	86	-4	-4.4	1.7	75		
その他	18	40	39	37	33	40	36	39	36	30	24	-6	-20.0	0.5	133		
計	2,066	2,010	2,092	1,973	1,832	1,644	1,493	1,448	1,310	1,161	985	-176	-15.2	19.6	48		
列車	63	52	54	59	54	51	47	54	39	34	39	5	14.7	0.8	62		
合計	8,797	8,681	8,707	8,414	7,993	7,456	7,084	6,625	6,147	5,587	5,025	-562	-10.1	100.0	57		

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

◎ 事故類型別・年齢層別では、高齢者の車両相互が最多

原付以上運転者（第1当事者）の死亡事故件数を事故類型別・年齢層別にみると、高齢者の車両相互（506件、構成率10.9%）が最も多く、次いで30歳代の車両相互（375件、同8.1%）、30歳代の人対車両（335件、同7.2%）の順に多い。

○ 原付以上運転者（第1当事者）の事故類型別・年齢層別死亡事故件数（平成20年中）

事故類型別	年齢層別		16～							65歳			合計	構成率	70歳以上		
	15歳以下	16～19歳	20～24歳	24歳	29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上	以上					
人対車両	横断中	0	31	142	173	126	250	176	176	79	105	41	146	15.3	1,126	24.2	83
	(増減数)	0	8	-8	0	-15	-45	-27	-70	5	19	-8	11		-141		-4
	その他	0	19	44	63	57	85	72	53	24	47	19	66	6.9	420	9.0	35
計		0	50	186	236	183	335	248	229	103	152	60	212	22.2	1,546	33.2	118
	(増減数)	0	10	-14	-4	-4	-73	-15	-87	4	33	-12	21		-158		-14
	正面衝突	0	39	69	108	56	76	50	70	39	87	63	150	15.7	549	11.8	109
車両相互	(増減数)	0	-11	-8	-19	-10	-1	-26	-26	-9	16	3	19		-72		16
	追突	0	7	18	25	27	69	50	41	10	22	20	42	4.4	264	5.7	28
	(増減数)	0	-6	-5	-11	-6	3	10	-22	-5	8	-5	3		-28		-2
出会い頭	3	37	73	110	58	110	95	114	51	116	107	223	23.3	764	16.4	176	
追越時等	(増減数)	0	1	-4	-3	0	-30	-2	-6	-9	-10	4	-6		-56		2
	左折時	0	3	6	9	7	14	8	9	6	4	6	10	1.0	63	1.4	8
	(増減数)	0	1	0	1	-1	-9	0	4	2	1	6	7		4		7
右折時	0	1	3	4	7	14	16	8	7	5	3	8	0.8	64	1.4	3	
その他	(増減数)	0	1	0	1	-2	-7	-5	-7	5	2	1	3		-12		1
	右折時	0	19	29	48	22	50	43	43	20	37	18	55	5.7	281	6.0	32
	(増減数)	0	4	-5	-1	3	-2	9	-8	-4	5	-2	3		0		-7
その他	0	8	17	25	18	42	24	25	8	12	6	18	1.9	160	3.4	11	
計	(増減数)	0	-8	-7	-15	-2	-2	-6	-5	-3	1	-1	0		-33		-3
	計	3	114	215	329	195	375	286	310	141	283	223	506	52.9	2,145	46.1	367
	(増減数)	0	-18	-29	-47	-18	-48	-20	-70	-23	23	6	29		-197		14
車両単独	工作物衝突	2	53	74	127	52	95	91	96	31	65	67	132	13.8	626	13.5	105
	(増減数)	2	-22	-45	-67	-25	-7	-18	-8	-10	-20	-9	-29		-162		-10
	駐車車両衝突	0	3	6	9	4	10	10	4	5	6	7	13	1.4	55	1.2	11
路外逸脱	(増減数)	0	1	0	1	-1	-7	1	-8	5	3	0	3		-6		2
	路外逸脱	0	9	9	18	9	10	11	25	17	31	37	68	7.1	158	3.4	54
	(増減数)	0	2	0	2	2	-3	-6	-6	8	0	2	2		-1		2
転倒	1	8	11	19	10	13	17	10	0	2	6	8	0.8	78	1.7	7	
その他	(増減数)	1	1	-6	-5	3	-9	3	6	-2	0	-2	-2		-5		-3
	その他	0	2	0	2	3	1	4	6	0	5	2	7	0.7	23	0.5	5
	(増減数)	-1	0	-2	-2	0	-2	-1	-3	0	3	-1	2		-7		1
計	3	75	100	175	78	129	133	141	53	109	119	228	23.8	940	20.2	182	
(増減数)	2	-18	-53	-71	-21	-28	-21	-19	1	-14	-10	-24		-181		-8	
列車	0	2	1	3	2	0	3	2	2	2	7	4	11	1.1	23	0.5	7
(増減数)	0	1	0	1	1	-3	3	-3	1	1	0	1		1		-2	
合計	6	241	502	743	458	839	670	682	299	551	406	957	100.0	4,654	100.0	674	
構成率	0.1	5.2	10.8	16.0	9.8	18.0	14.4	14.7	6.4	11.8	8.7	20.6		100.0		14.5	
増減数	2	-25	-96	-121	-42	-152	-53	-179	-17	43	-16	27		-535		-10	
増減率	50.0	-9.4	-16.1	-14.0	-8.4	-15.3	-7.3	-20.8	-5.4	8.5	-3.8	2.9		-10.3		-1.5	

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

2 「列車」とは、列車が当事者となった踏切上の事故をいう。

3 70歳以上は、再掲である。

◎ 事故類型別・法令違反別では、脇見運転による人対車両が最多

原付以上運転者（第1当事者）の死亡事故件数を事故類型別・法令違反別にみると、脇見運転による人対車両（420件、構成率9.0%）が最も多く、次いで運転操作不適による車両単独（367件、同7.9%）、漫然運転による人対車両（343件、同7.4%）の順に多い。

○ 原付以上運転者（第1当事者）の事故類型別・法令違反別死亡事故件数（平成20年中）

事故類型別	法令違反別	信号無視	通行区分	最高速度	追越し	歩行者妨害等	一時不停止	運転操作不適	漫然運転	脇見運転	動静不注視	安全不確認	安全速度	その他	合計	構成率
人対車両	横断中	16	0	47	0	280	1	3	219	296	35	126	27	76	1,126	24.2
	(増減数)	-14	0	-18	-1	-19	0	1	-24	-7	-23	-28	0	-8	-141	
	その他	0	2	18	1	15	0	18	124	124	14	66	14	24	420	9.0
(増減数)	0	-2	-3	1	9	0	-1	8	-4	2	-27	2	-2	-17		
計	16	2	65	1	295	1	21	343	420	49	192	41	100	1,546	33.2	
(増減数)	-14	-2	-21	0	-10	0	0	-16	-11	-21	-55	2	-10	-158		
車両相互	正面衝突	1	209	40	16	0	0	81	89	27	8	7	31	40	549	11.8
	(増減数)	0	-44	-1	6	0	-1	-12	-4	-16	4	-4	1	-1	-72	
	追突	0	0	17	1	0	0	3	103	86	21	17	0	16	264	5.7
	(増減数)	0	0	-3	0	0	0	0	-24	-11	5	8	-1	-2	-28	
	出会い頭	150	0	20	0	0	193	3	29	38	25	106	9	191	764	16.4
	(増減数)	4	-1	-1	-1	0	-15	3	-8	-11	3	-1	4	-32	-56	
	追越時等	0	1	3	20	0	0	4	1	5	14	8	2	5	63	1.4
	(増減数)	0	-2	-1	9	0	0	2	-4	4	-5	-1	1	1	4	
	左折時	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	27	0	34	64	1.4
(増減数)	1	0	0	0	-1	0	-1	0	-1	-2	-6	0	-2	-12		
右折時	18	2	6	1	1	0	0	5	6	13	62	0	167	281	6.0	
(増減数)	-1	1	2	0	1	-3	0	5	1	-1	1	0	-6	0		
その他	3	9	10	1	0	0	12	20	28	16	30	4	27	160	3.4	
(増減数)	1	2	-9	-3	0	-1	0	-1	9	-2	-15	0	-14	-33		
計	173	221	96	39	1	193	103	247	191	98	257	46	480	2,145	46.1	
(増減数)	5	-44	-13	11	0	-20	-8	-36	-25	2	-18	5	-56	-197		
車両単独	工作物衝突	0	7	152	1	0	0	230	97	39	0	3	42	55	626	13.5
	(増減数)	0	4	-55	-1	0	-2	-16	-27	-13	-1	-3	-5	-43	-162	
	駐車車両衝突	0	0	7	1	0	0	5	22	16	0	0	2	2	55	1.2
	(増減数)	0	-1	1	1	0	0	-2	3	-6	0	-4	1	1	-6	
	路外逸脱	0	0	13	0	0	0	85	14	11	0	8	12	15	158	3.4
	(増減数)	0	0	-3	0	0	-1	13	-6	-2	0	1	0	-3	-1	
転倒	0	1	20	1	0	0	39	2	0	0	1	6	8	78	1.7	
(増減数)	0	0	-1	0	0	0	-13	1	0	0	1	2	5	-5		
その他	0	0	3	0	0	0	8	2	3	0	1	1	5	23	0.5	
(増減数)	0	0	-1	0	0	0	4	1	1	0	-3	-2	-7	-7		
計	0	8	195	3	0	0	367	137	69	0	13	63	85	940	20.2	
(増減数)	0	3	-59	0	0	-3	-14	-28	-20	-1	-8	-4	-47	-181		
列車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	22	23	0.5
(増減数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
合計	189	231	356	43	296	194	491	727	680	147	463	150	687	4,654	100.0	
	構成率	4.1	5.0	7.6	0.9	6.4	4.2	10.6	15.6	14.6	3.2	9.9	3.2	14.8	100.0	
	増減数	-9	-43	-93	11	-10	-23	-22	-80	-56	-20	-81	3	-112	-535	
	増減率	-4.5	-15.7	-20.7	34.4	-3.3	-10.6	-4.3	-9.9	-7.6	-12.0	-14.9	2.0	-14.0	-10.3	

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

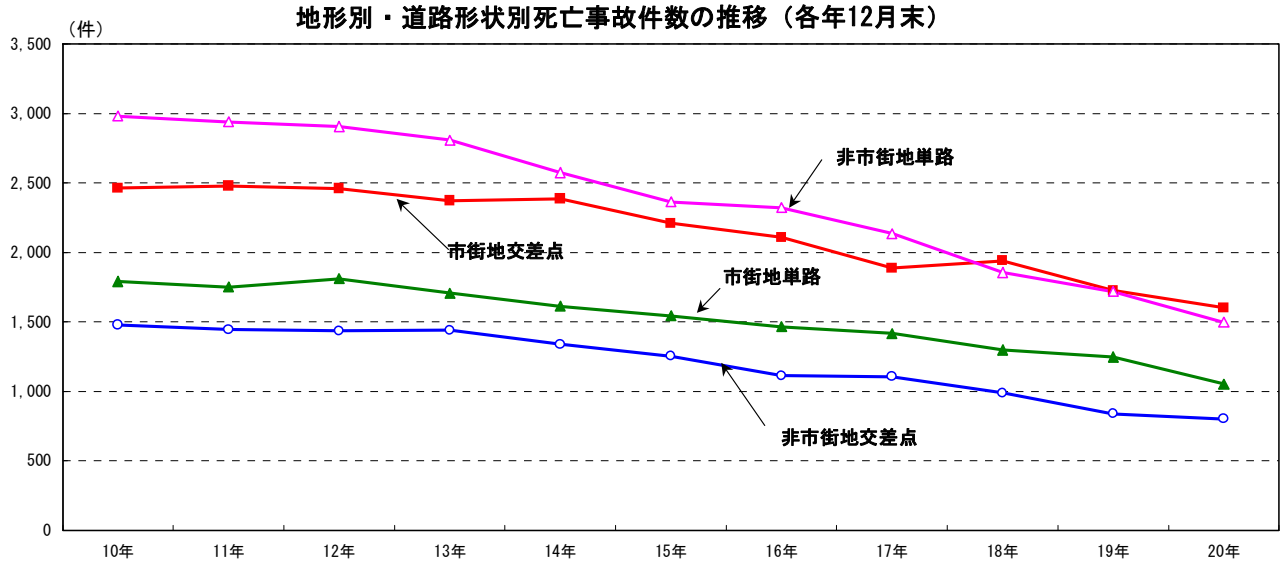
2 「列車」とは、列車が当事者となった踏切上の事故をいう。

(6) 道路形状別の状況と特徴

◎ 単路での減少が顕著

死亡事故件数を道路形状別にみると、市街地の交差点（構成率31.9%）が最も多く、次いで非市街地の単路（同29.8%）、市街地の単路（同21.0%）の順に多い。

過去10年間の推移を見ると平成17年まで最多であった非市街地の単路での減少が最も大きく（平成10年の0.50倍）18年以降は市街地交差点が最多となっている。



○ 地形別・道路形状別死亡事故件数の推移（各年12月末）

地形別・道路形状別		年											増減数	増減率	構成率	指数
		10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年				
市街地	交差点	1,084	1,046	1,039	1,060	1,083	969	915	842	856	738	695	-43	-5.8	13.8	64
	信号機有	890	913	901	821	817	793	774	685	738	641	586	-55	-8.6	11.7	66
	信号機無	194	133	138	239	266	176	141	157	118	97	109	12	10.1	1.1	1.1
	小計	1,974	1,959	1,940	1,881	1,900	1,762	1,689	1,527	1,594	1,379	1,281	-98	-7.1	25.5	65
	交差点付近	489	520	521	492	487	448	420	359	347	346	320	-26	-7.5	6.4	65
	計	2,463	2,479	2,461	2,373	2,387	2,210	2,109	1,886	1,941	1,725	1,601	-124	-7.2	31.9	65
	単路	409	353	402	346	361	284	256	264	248	221	157	-64	-29.0	3.1	38
	カーブ・屈折	1,338	1,347	1,356	1,321	1,210	1,219	1,168	1,110	1,017	998	865	-133	-13.3	17.2	65
	一般単路	7	11	10	7	8	8	12	6	10	5	5	0	0.0	0.1	71
	トンネル	38	41	45	33	34	34	29	37	23	24	26	2	8.3	0.5	68
橋	1,792	1,752	1,813	1,707	1,613	1,545	1,465	1,417	1,298	1,248	1,053	-195	-15.6	21.0	59	
踏切	32	24	26	36	25	23	20	29	24	14	18	4	28.6	0.4	56	
その他の場所	5	5	14	13	13	14	10	12	16	12	21	9	75.0	0.4	420	
計	4,292	4,260	4,314	4,129	4,038	3,792	3,604	3,344	3,279	2,999	2,693	-306	-10.2	53.6	63	
非市街地	交差点	340	341	358	333	319	318	276	250	230	203	160	-43	-21.2	3.2	47
	信号機有	895	862	837	872	809	750	685	676	593	492	481	-11	-2.2	9.6	54
	信号機無	1,235	1,203	1,195	1,205	1,128	1,068	961	926	823	695	641	-54	-7.8	12.8	52
	小計	244	241	240	235	209	186	153	180	165	144	162	18	12.5	3.2	66
	交差点付近	1,479	1,444	1,435	1,440	1,337	1,254	1,114	1,106	988	839	803	-36	-4.3	16.0	54
	計	1,251	1,187	1,163	1,152	976	946	901	829	705	715	579	-136	-19.0	11.5	46
	単路	1,638	1,647	1,645	1,555	1,500	1,316	1,330	1,210	1,073	929	839	-90	-9.7	16.7	51
	カーブ・屈折	35	60	44	46	50	49	48	43	40	42	41	-1	-2.4	0.8	117
	一般単路	58	47	55	56	49	55	44	54	38	34	38	4	11.8	0.8	66
	トンネル	2,982	2,941	2,907	2,809	2,575	2,366	2,323	2,136	1,856	1,720	1,497	-223	-13.0	29.8	50
橋	32	28	31	24	32	28	28	25	16	21	22	1	4.8	0.4	69	
踏切	12	8	20	12	11	16	15	14	8	8	10	2	25.0	0.2	83	
その他の場所	4,505	4,421	4,393	4,285	3,955	3,664	3,480	3,281	2,868	2,588	2,332	-256	-9.9	46.4	52	
計	1,424	1,387	1,397	1,393	1,402	1,287	1,191	1,092	1,086	941	855	-86	-9.1	17.0	60	
合計	交差点	1,785	1,775	1,738	1,693	1,626	1,543	1,459	1,361	1,331	1,133	1,067	-66	-5.8	21.2	60
	信号機有	3,209	3,162	3,135	3,086	3,028	2,830	2,650	2,453	2,417	2,074	1,922	-152	-7.3	38.2	60
	信号機無	733	761	761	727	696	634	573	539	512	490	482	-8	-1.6	9.6	66
	小計	3,942	3,923	3,896	3,813	3,724	3,464	3,223	2,992	2,929	2,564	2,404	-160	-6.2	47.8	61
	交差点付近	1,660	1,540	1,565	1,498	1,337	1,230	1,157	1,093	953	936	736	-200	-21.4	14.6	44
	計	2,976	2,994	3,001	2,876	2,710	2,535	2,498	2,320	2,090	1,927	1,704	-223	-11.6	33.9	57
	単路	42	71	54	53	58	57	60	49	50	47	46	-1	-2.1	0.9	110
	カーブ・屈折	96	88	100	89	83	89	73	91	61	58	64	6	10.3	1.3	67
	一般単路	4,774	4,693	4,720	4,516	4,188	3,911	3,788	3,553	3,154	2,968	2,550	-418	-14.1	50.7	53
	トンネル	64	52	57	60	57	51	48	54	40	35	40	5	14.3	0.8	63
橋	17	13	34	25	24	30	25	26	24	20	31	11	55.0	0.6	182	
踏切	8,797	8,681	8,707	8,414	7,993	7,456	7,084	6,625	6,147	5,587	5,025	-562	-10.1	100.0	57	
その他の場所																
計																

注1 増減数(率)は、平成19年と比較した値である。

注2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

◎ 事故類型別・道路形状別では、一般単路での人対車両が最多

原付以上運転者（第1当事者）の死亡事故件数を事故類型別・道路形状別にみると、一般単路での人対車両（634件、構成率13.6%）が最も多く、次いで一般単路での車両相互（614件、同13.2%）、信号機無し交差点での車両相互（562件、同12.1%）の順に多い。

○ 原付以上運転者（第1当事者）の事故類型別・道路形状別死亡事故件数（平成20年中）

道路形状別		交差点					道路形状					踏切	その他の場所	計	
		信号機有	信号機無	内	付近		カーブ 屈折	一般 単路	トンネル	橋	単路			構成率	
人対車両	横断中	201	315	516	166	682	50	391	0	1	442	0	2	1,126	24.2
	(増減数)	-54	4	-50	-5	-55	2	-82	-1	-5	-86	-1	1	-141	
	その他	12	38	50	69	119	33	243	6	6	288	1	12	420	9.0
	(増減数)	6	4	10	16	26	-1	-46	1	3	-43	1	-1	-17	
計	213	353	566	235	801	83	634	6	7	730	1	14	1,546	33.2	
(増減数)	-48	8	-40	11	-29	1	-128	0	-2	-129	0	0	-158		
車両相互	正面衝突	9	7	16	27	43	238	231	16	21	506	0	0	549	11.8
	(増減数)	4	-2	2	-3	-1	-71	-13	2	11	-71	0	0	-72	
	追突	16	10	26	46	72	21	155	8	7	191	0	1	264	5.7
	(増減数)	5	2	7	-8	-1	0	-25	1	-4	-28	0	1	-28	
	出合い頭	205	452	657	19	676	8	79	0	0	87	0	1	764	16.4
	(増減数)	-6	-61	-67	-4	-71	4	10	0	0	14	0	1	-56	
	追越時等	3	10	13	13	26	3	33	0	1	37	0	0	63	1.4
	(増減数)	0	5	5	7	12	-7	-2	0	1	-8	0	0	4	
左折時	38	15	53	2	55	0	9	0	0	9	0	0	64	1.4	
(増減数)	-15	4	-11	-2	-13	-1	2	0	0	1	0	0	-12		
右折時	177	59	236	13	249	2	29	0	0	31	0	1	281	6.0	
(増減数)	-12	-5	-17	5	-12	1	10	0	0	11	0	1	0		
その他	20	9	29	22	51	25	78	2	3	108	0	1	160	3.4	
(増減数)	8	-9	-1	-5	-6	-5	-25	2	0	-28	0	1	-33		
計	468	562	1,030	142	1,172	297	614	26	32	969	0	4	2,145	46.1	
(増減数)	-16	-66	-82	-10	-92	-79	-43	5	8	-109	0	4	-197		
車両単独	工作物衝突	34	49	83	45	128	229	234	11	19	493	0	5	626	13.5
	(増減数)	-14	-5	-19	-9	-28	-103	-31	-7	5	-136	0	2	-162	
	駐車車両衝突	0	1	1	8	9	7	36	0	0	43	0	3	55	1.2
	(増減数)	0	1	1	1	2	-3	-3	-1	-3	-10	0	2	-6	
	路外逸脱	1	11	12	10	22	62	67	0	2	131	0	5	158	3.4
	(増減数)	1	3	4	3	7	-16	4	0	0	-12	0	4	-1	
転倒	5	4	9	12	21	36	18	2	1	57	0	0	78	1.7	
(増減数)	2	-2	0	2	2	2	-7	1	-2	-6	0	-1	-5		
その他	2	4	6	1	7	9	6	0	1	16	0	0	23	0.5	
(増減数)	-2	-3	-5	1	-4	0	-3	0	0	-3	0	0	-7		
計	42	69	111	76	187	343	361	13	23	740	0	13	940	20.2	
(増減数)	-13	-6	-19	-2	-21	-120	-40	-7	0	-167	0	7	-181		
列車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	23	0.5	
(増減数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
合計	723	984	1,707	453	2,160	723	1,609	45	62	2,439	24	31	4,654	100.0	
構成率	15.5	21.1	36.7	9.7	46.4	15.5	34.6	1.0	1.3	52.4	0.5	0.7	100.0		
増減数	-77	-64	-141	-1	-142	-198	-211	-2	6	-405	1	11	-535		
増減率	-9.6	-6.1	-7.6	-0.2	-6.2	-21.5	-11.6	-4.3	10.7	-14.2	4.3	55.0	-10.3		

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

2 「列車」とは、列車が当事者となった踏切上の事故をいう。

3 「信号機無」には、信号機不作動の場合を含む。

4 「踏切」とは、踏切上の事故で当事者が列車でない場合を含む。

5 「その他の場所」とは、広場等車道幅員が容易に測定できない道路であって、高速道路等に設けられたサービスエリア等を含む。

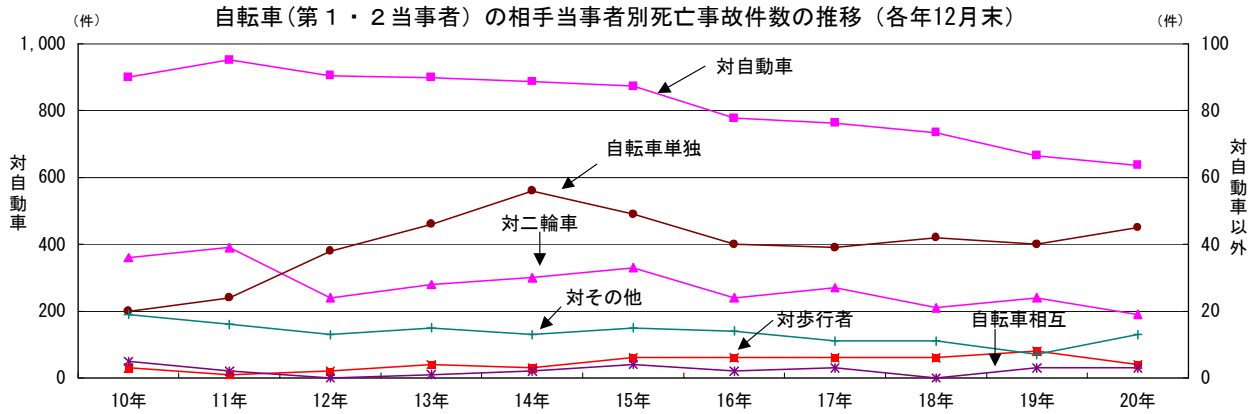
(7) 自転車関連死亡事故の状況と特徴

◎ 相手別では9割近くが対自動車。事故類型別では出会い頭衝突が過半数。

自転車が第1当事者又は、第2当事者となった死亡事故(自転車関連死亡事故)件数は、10年前の0.73倍と漸減傾向にはあるが、死亡事故全体に占める割合は、10年前の1.28倍と高い水準にある。

自転車関連死亡事故件数を相手当事者別に見ると、対自動車が9割近く(637件、構成率88.3%)を占めるものの、10年前の0.71倍と減少傾向にある。一方自転車単独事故は同2.25倍と10年前の2倍以上の高水準となっている。

また、自転車関連死亡事故を事故類型別に見ると、出会い頭衝突が過半数(382件、構成率53.0%)を占めている。



○ 自転車(第1・2当事者)の相手当事者別死亡事故件数の推移(各年12月末)

相手	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	増減数	増減率	構成率 ^{注5}	指数
自動車	900	952	905	899	887	873	777	763	734	665	637	-28	-4.2	88.3	71
二輪車	36	39	24	28	30	33	24	27	21	24	19	-5	-20.8	2.6	53
歩行者	3	1	2	4	3	6	6	6	6	8	4	-4	-50.0	0.6	133
自転車相互	5	2	0	1	2	4	2	3	0	3	3	0	0.0	0.4	60
自転車単独	20	24	38	46	56	49	40	39	42	40	45	5	12.5	6.2	225
その他	19	16	13	15	13	15	14	11	11	7	13	6	85.7	1.8	68
合計	983	1,034	982	993	991	980	863	849	814	747	721	-26	-3.5	100.0	73
構成率 ^{注4}	11.2	11.9	11.3	11.8	12.4	13.1	12.2	12.8	13.2	13.4	14.3	-	-	-	128

- 注1 増減数(率)は、平成19年と比較した値である。
 注2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。
 注3 自転車が第1当事者又は第2当事者となった事故を計上。ただし、自転車相互は1件とした。
 注4 死亡事故全体に占める自転車関連死亡事故の占める割合である。
 注5 自転車関連死亡事故件数に占める割合である。

○ 自転車(第1・2当事者)の事故類型別死亡事故件数(各年12月末)

事故類型別	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	増減数	増減率	構成率	指数
対自動車	0	1	0	2	2	1	3	5	3	4	0	-4	-100.0	0.0	-
対歩行者	0	0	0	0	0	2	0	0	1	2	0	-2	-100.0	0.0	-
対二輪車	1	0	1	0	1	2	1	0	1	2	3	1	50.0	0.4	300
対その他	2	0	1	2	0	1	2	1	1	0	1	1	-	0.1	50
計	3	1	2	4	3	6	6	6	6	8	4	-4	-50.0	0.6	133
車両相互	46	44	47	40	31	34	30	34	28	20	22	2	10.0	3.1	48
正面衝突	95	103	103	92	89	73	89	80	52	66	68	2	3.0	9.4	72
追突	479	515	486	490	511	504	424	423	437	395	382	-13	-3.3	53.0	80
出会い頭衝突	38	31	24	37	26	31	23	38	21	24	20	-4	-16.7	2.8	53
追越・追抜時衝突	11	14	14	14	7	8	9	8	9	6	8	2	33.3	1.1	73
進路変更時衝突	10	6	16	12	7	9	10	10	5	5	6	1	20.0	0.8	60
すれ違い時衝突	44	56	42	58	59	53	58	58	55	54	38	-16	-29.6	5.3	86
左折時衝突	73	75	75	73	64	70	48	60	48	51	50	-1	-2.0	6.9	68
右折時衝突	103	105	78	70	84	90	69	52	58	46	38	-8	-17.4	5.3	37
横断時衝突	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	-1	-100.0	0.0	-
転回時衝突	6	5	2	7	4	4	9	5	8	3	3	0	0.0	0.4	50
後退時衝突	44	46	48	40	42	43	41	31	40	23	28	5	21.7	3.9	64
その他	949	1,000	935	933	925	919	810	799	761	694	663	-31	-4.5	92.0	70
計	5	2	4	8	7	4	8	8	9	9	11	2	22.2	1.5	220
車両単独	7	9	12	8	14	18	11	11	14	7	8	1	14.3	1.1	114
転倒	8	13	22	30	35	27	21	20	19	24	26	2	8.3	3.6	325
その他	20	24	38	46	56	49	40	39	42	40	45	5	12.5	6.2	225
計	11	9	7	10	7	6	7	5	5	5	9	4	80.0	1.2	82
列車	983	1,034	982	993	991	980	863	849	814	747	721	-26	-3.5	100.0	73
合計															

- 注1 増減数(率)は、平成19年と比較した値である。
 注2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。
 注3 自転車が第1当事者又は第2当事者となった事故を計上。ただし、自転車相互は1件とした。

6 道路交通法違反の取締り状況

平成20年中の道路交通法違反の取締り総件数は、1,291万4,946件（点数告知件数及び放置違反金納付命令件数を含む。）で、前年に比べ81万8,436件（6.0%）減少した。

重点違反（無免許運転、飲酒運転、最高速度違反、信号無視、歩行者妨害、一時不停止）については、447万8,438件で、前年に比べ18万9,566件（4.1%）減少した。

点数告知については、248万8,001件で、前年に比べ41万1,495件（14.2%）減少した。

駐車違反については、280万9,657件（告知・送致件数と放置違反金納付命令の合計）で、前年に比べ19万4,726件（6.5%）減少した。

1 違反別・態様別取締り件数

違反種別	年 別	平成20年 12月末		総計に 対する 構成率	平成19年 12月末		総計に 対する 構成率	前年比較		
		構成率	構成率		構成率	構成率		増減数	増減率	
飲 酒	無 免 許	40,087	0.5	0.3	48,607	0.6	0.4	-8,520	-17.5	
	酒 酔 い	969	0.0	0.0	1,196	0.0	0.0	-227	-19.0	
	酒 気	0.25以上	26,531	0.3	0.2	37,721	0.4	0.3	-11,190	-29.7
		0.25未満	22,736	0.3	0.2	35,414	0.4	0.3	-12,678	-35.8
	帯 び	49,267	0.6	0.4	73,135	0.9	0.5	-23,868	-32.6	
	小 計	50,236	0.6	0.4	74,331	0.9	0.5	-24,095	-32.4	
	最 高 速 度 違 反	速度50以上	31,334	0.4	0.2	36,883	0.4	0.3	-5,549	-15.0
		速度50未満	369,891	4.5	2.9	419,626	4.9	3.1	-49,735	-11.9
		速度30未満	445,408	5.4	3.4	486,079	5.7	3.5	-40,671	-8.4
		速度25未満	942,886	11.5	7.3	1,009,165	11.9	7.3	-66,279	-6.6
速度20未満		711,589	8.7	5.5	748,048	8.8	5.4	-36,459	-4.9	
速度15未満		57	0.0	0.0	78	0.0	0.0	-21	-26.9	
小 計		2,501,165	30.6	19.4	2,699,879	31.8	19.7	-198,714	-7.4	
的 違 反	信号無視	700,470	8.6	5.4	710,070	8.4	5.2	-9,600	-1.4	
	歩行者妨害	60,934	0.7	0.5	56,516	0.7	0.4	+4,418	+7.8	
	一時不停止	1,125,546	13.8	8.7	1,078,601	12.7	7.9	+46,945	+4.4	
	過 労 運 転 等	37	0.0	0.0	73	0.0	0.0	-36	-49.3	
	積 載 違 反	積載10割以上	1,234	0.0	0.0	1,498	0.0	0.0	-264	-17.6
		積載10割未満	3,412	0.0	0.0	4,345	0.1	0.0	-933	-21.5
		積載5割未満	2,639	0.0	0.0	3,545	0.0	0.0	-906	-25.6
		（過積載の小計）	7,285	0.1	0.1	9,388	0.1	0.1	-2,103	-22.4
	積載方法等	5,229	0.1	0.0	5,122	0.1	0.0	+107	+2.1	
	小 計	12,514	0.2	0.1	14,510	0.2	0.1	-1,996	-13.8	
通行禁止	741,144	9.1	5.7	754,626	8.9	5.5	-13,482	-1.8		
追越し・通行区分	301,758	3.7	2.3	298,431	3.5	2.2	+3,327	+1.1		
徐 行	3,554	0.0	0.0	4,213	0.0	0.0	-659	-15.6		
整備不良車運転	86,291	1.1	0.7	97,213	1.1	0.7	-10,922	-11.2		
消音器不備	3,833	0.0	0.0	4,030	0.0	0.0	-197	-4.9		
踏切不停止等	122,563	1.5	0.9	133,897	1.6	1.0	-11,334	-8.5		
携 帯 電 話 使 用 等	危険違反	180	0.0	0.0	201	0.0	0.0	-21	-10.4	
	使用違反	1,193,811	14.6	9.2	1,130,395	13.3	8.2	+63,416	+5.6	
右左折方法	85,968	1.1	0.7	97,076	1.1	0.7	-11,108	-11.4		
騒音運転等	302	0.0	0.0	287	0.0	0.0	+15	+5.2		
そ の 他	494,534	6.0	3.8	522,318	6.2	3.8	-27,784	-5.3		
計	7,524,927	92.0	58.3	7,725,274	91.1	56.3	-200,347	-2.6		
そ の 他	駐車禁止場所等違反	58,831	0.7	0.5	63,156	0.7	0.5	-4,325	-6.8	
	うち放置駐車違反	53,679	0.7	0.4	58,703	0.7	0.4	-5,024	-8.6	
	駐車禁止場所等違反	499,572	6.1	3.9	587,397	6.9	4.3	-87,825	-15.0	
	うち放置駐車違反	466,217	5.7	3.6	551,259	6.5	4.0	-85,042	-15.4	
	小 計	558,403	6.8	4.3	650,553	7.7	4.7	-92,150	-14.2	
免許証不携帯違反	92,361	1.1	0.7	104,229	1.2	0.8	-11,868	-11.4		
計	650,764	8.0	5.0	754,782	8.9	5.5	-104,018	-13.8		
合 計	8,175,691	100.0	63.3	8,480,056	100.0	61.7	-304,365	-3.6		

2 行政処分の基礎点数告知件数

ベルト装着義務	2,373,401	95.4	18.4	2,782,977	96.0	20.3	-409,576	-14.7	
ヘル 着用 義務	自動二輪車	5,343	0.2	0.0	5,960	0.2	0.0	-617	-10.4
	原付車	36,307	1.5	0.3	43,056	1.5	0.3	-6,749	-15.7
	小 計	41,650	1.7	0.3	49,016	1.7	0.4	-7,366	-15.0
幼児補助装置使用義務	72,950	2.9	0.6	67,503	2.3	0.5	+5,447	+8.1	
合 計	2,488,001	100.0	19.3	2,899,496	100.0	21.1	-411,495	-14.2	

3 放置違反金納付命令件数

放置違反金納付命令件数	2,251,254		17.4	2,353,830		17.1	-102,576	-4.4
-------------	-----------	--	------	-----------	--	------	----------	------

4 総計（1+2+3）

総 計	12,914,946		100.0	13,733,382		100.0	-818,436	-6.0
-----	------------	--	-------	------------	--	-------	----------	------

注：1 この統計は、電算資料による。（なお、無車検、無保険等は除く）

2 構成率は、違反種別欄ごとに小数点以下第2位を四捨五入したものであり、小計、計及び合計の構成率は、違反種別の構成率の和と一致しない場合がある。

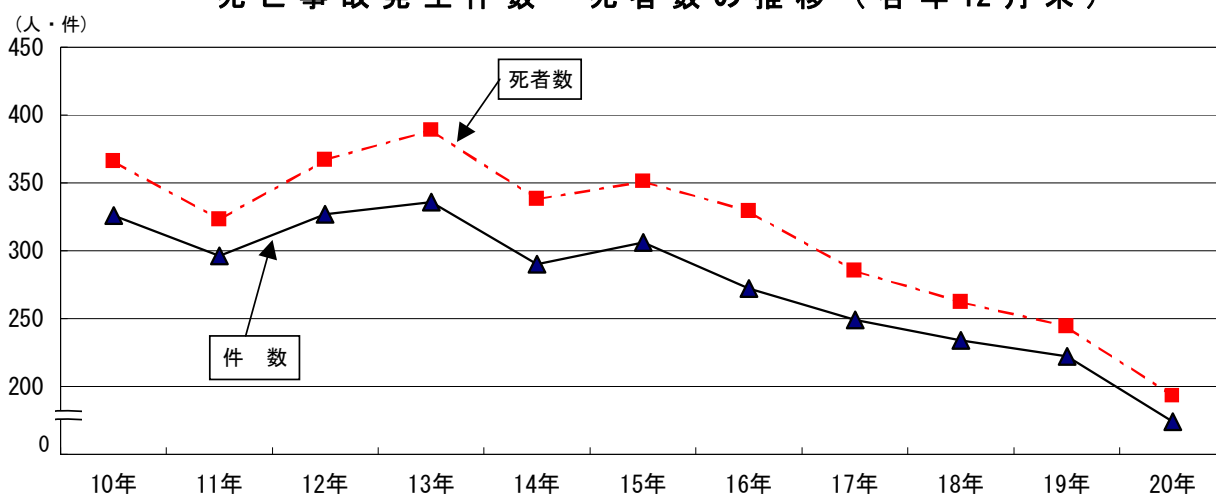
7 高速道路における死亡事故発生状況

(1) 交通死亡事故の発生状況

高速道路における死亡事故は、前年と比較すると件数（前年比－48件、－21.6%）、死者数（同－51人、－20.9%）いずれも減少し、昭和56年以来27年ぶりの100人台まで減少した。

道路別でみると、高速自動車国道は件数（前年比－25件、－16.6%）、死者数（同－33人、－19.9%）いずれも減少した。また、指定自動車専用道路も件数（同－23件、－32.4%）、死者数（同－18人、－23.1%）いずれも減少した。

死亡事故発生件数・死者数の推移（各年12月末）



○死亡事故件数・死者数の推移（各年12月末）

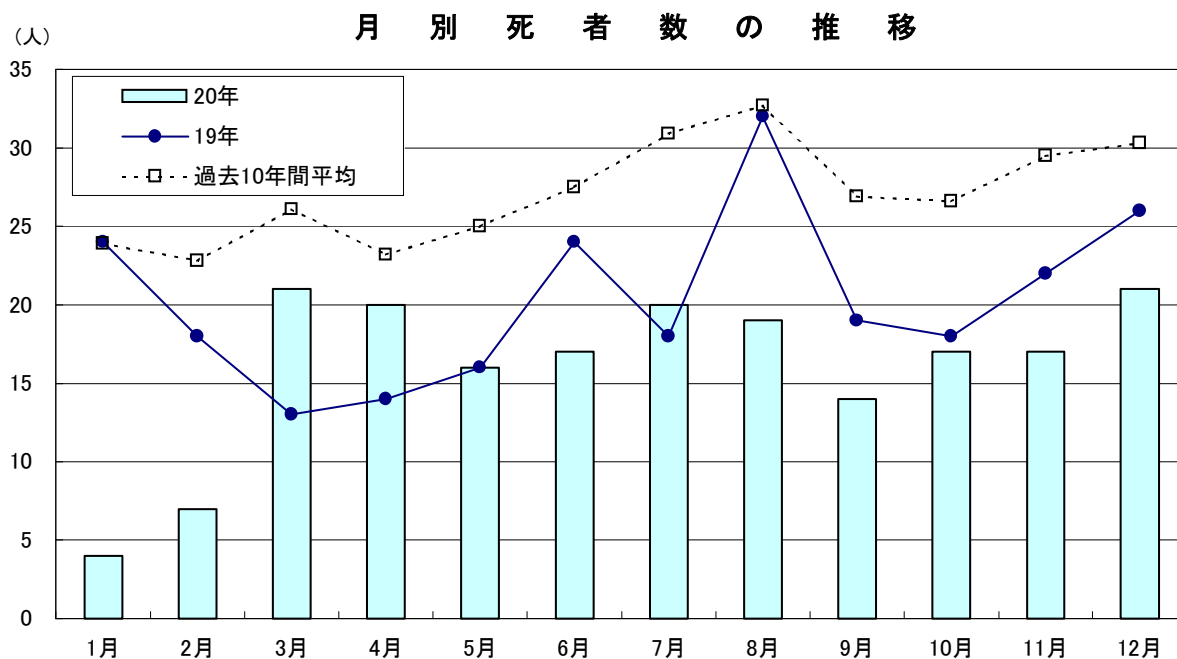
		10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	増減数	増減率	指数
高 速 国 道	件 数	245	221	241	251	216	216	204	190	167	151	126	-25	-16.6	51
	死者数	272	241	265	297	259	255	256	218	186	166	133	-33	-19.9	49
指 定 自 専 道	件 数	81	75	86	85	74	90	68	59	67	71	48	-23	-32.4	59
	死者数	94	82	102	92	79	96	73	67	76	78	60	-18	-23.1	64
合 計	件 数	326	296	327	336	290	306	272	249	234	222	174	-48	-21.6	53
	死者数	366	323	367	389	338	351	329	285	262	244	193	-51	-20.9	53

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

注2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

(2) 月別死者数の推移

月別死者数は、前年同月比で、3月、4月、7月は増加、5月は同数、その他の月は減少した。



○ 月別死者数の推移

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下半期計	年間合計
平成10年	36	28	29	18	38	21	170	30	33	35	30	35	33	196	366
11年	23	26	19	19	25	30	142	32	33	30	28	27	31	181	323
12年	27	23	29	25	34	31	169	40	32	32	24	34	36	198	367
13年	32	39	36	28	22	39	196	36	34	30	41	28	24	193	389
14年	33	15	20	30	24	35	157	31	34	18	25	34	39	181	338
15年	17	32	34	25	14	32	154	35	39	22	33	37	31	197	351
16年	24	22	33	19	34	24	156	31	32	27	29	31	23	173	329
17年	13	8	25	29	22	19	116	26	29	35	17	23	39	169	285
18年	10	17	23	25	21	20	116	30	29	21	21	24	21	146	262
19年	24	18	13	14	16	24	109	18	32	19	18	22	26	135	244
20年	4	7	21	20	16	17	85	20	19	14	17	17	21	108	193
増減数	-20	-11	8	6	0	-7	-24	2	-13	-5	-1	-5	-5	-27	-51
増減率	-83.3	-61.1	61.5	42.9	0.0	-29.2	-22.0	11.1	-40.6	-26.3	-5.6	-22.7	-19.2	-20.0	-20.9
過去10年平均 (10~19年)	23.9	22.8	26.1	23.2	25.0	27.5	148.5	30.9	32.7	26.9	26.6	29.5	30.3	176.9	325.4

注 増減数(率)は、平成19年と比較した値である。

(3) 路線別死亡事故発生状況

○ 死亡事故が多い路線（括弧内は前年比の増減数及び増減率）（平成20年中）

首都高速道路	15件（－8件、－34.8%）
北陸道	14件（＋8件、＋133.3%）
中国縦貫道	12件（＋2件、＋20.0%）
名神高速道路	11件（＋3件、＋37.5%）
東名高速道路	10件（－16件、－61.5%）
九州縦貫道	10件（＋1件、＋11.1%）
東北縦貫道	8件（－4件、－33.3%）
中央道	8件（－6件、－42.9%）
常磐道	7件（＋4件、＋133.3%）
山陽道	7件（－2件、－22.2%）
関越道（上越）	6件（＋4件、＋200.0%）
名阪国道	5件（－2件、－28.6%）

○ 供用距離10km当たりの死亡事故件数が高い主要な路線（平成20年中）

路線名	件数	供用距離	10km当たり死亡事故件数
名阪国道	5	73.3	0.6821
名古屋都市高速	4	63.1	0.6339
名神高速道路	11	192.3	0.5720
首都高速道路	15	286.8	0.5230
近畿道（第2名神）	3	66.9	0.4484
常磐道	7	233.8	0.2994
関越道（上越）	6	202.9	0.2957
東名高速道路	10	346.7	0.2884
北陸道	14	487.1	0.2874
九州縦貫道	10	427.8	0.2338
中国縦貫道	12	543.1	0.2210
東北横断道（いわき）	4	212.7	0.1881
中央道	8	442.6	0.1808
関越道（新潟）	4	246.3	0.1624

注1 「主要な路線」とは、供用距離が50km以上の路線をいう。

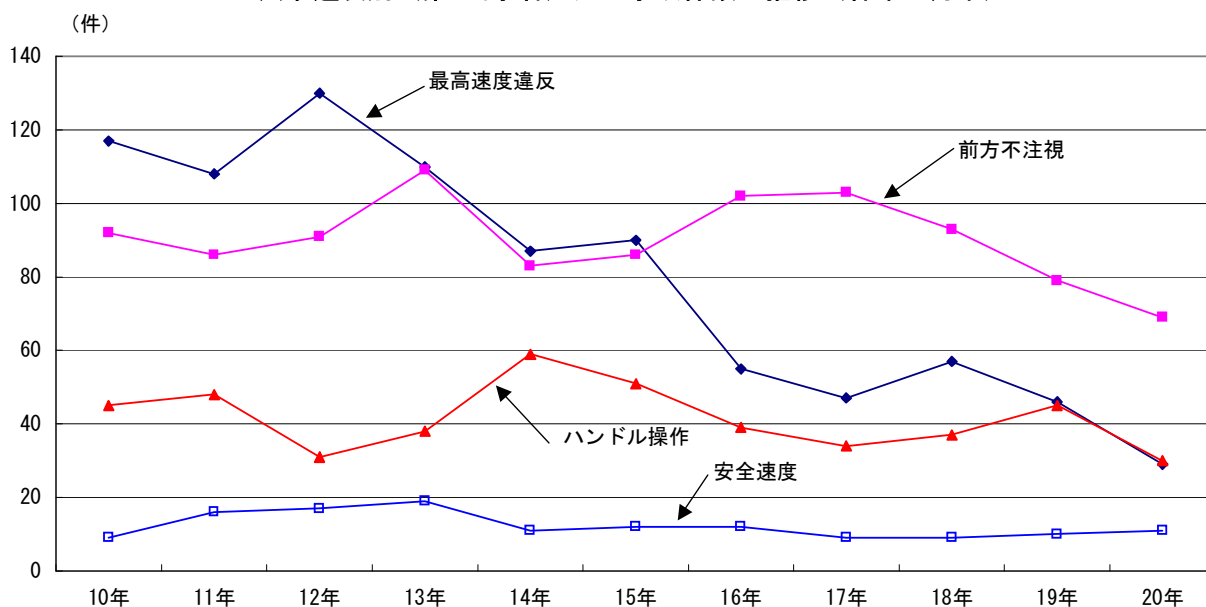
2 本表は死亡事故件数が3件以上の路線について計上した。

(4) 法令違反別（第1当事者）死亡事故発生状況

法令違反別死亡事故件数は、前方不注視が69件（構成率39.7%）と最も多く、次いでハンドル操作不適30件（同17.2%）、最高速度違反29件（同16.7%）の順となっている。

増減数を前年と比較すると、最高速度違反（前年比-17件、-37.0%）及びハンドル操作不適（同-15件、-33.3%）の減少が顕著である。

法令違反別（第1当事者）死亡事故件数の推移（各年12月末）



○ 法令違反別（第1当事者）死亡事故件数の推移（各年12月末）

違反	年												増減数	増減率	構成率	指数	
	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年						
最高速度	117	108	130	110	87	90	55	47	57	46	29	29	-17	-37.0	16.7	25	
酒酔い	2	3	3	6	3	0	2	3	1	1	0	0	-1	-100.0	0.0	0	
進路変更	1	0	2	2	1	2	0	2	2	1	0	0	-1	-100.0	0.0	0	
過労運転等	12	2	4	4	13	5	4	6	2	3	3	3	0	0.0	1.7	25	
安全運転義務	運転操作不適	45	48	31	38	59	51	39	34	37	45	30	30	-15	-33.3	17.2	67
	ブレーキ操作	7	2	6	3	1	2	5	3	3	2	1	1	-1	-50.0	0.6	14
前方不注視	92	86	91	109	83	86	102	103	93	79	69	69	-10	-12.7	39.7	75	
動静不注視	7	3	4	10	4	4	2	5	1	2	3	3	1	50.0	1.7	43	
安全不確認	9	5	12	10	3	8	12	7	8	9	9	9	0	0.0	5.2	100	
安全速度	9	16	17	19	11	12	12	9	9	10	11	11	1	10.0	6.3	122	
その他	25	23	27	25	25	46	39	30	21	24	19	19	-5	-20.8	10.9	76	
合計	326	296	327	336	290	306	272	249	234	222	174	174	-48	-21.6	100.0	53	

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

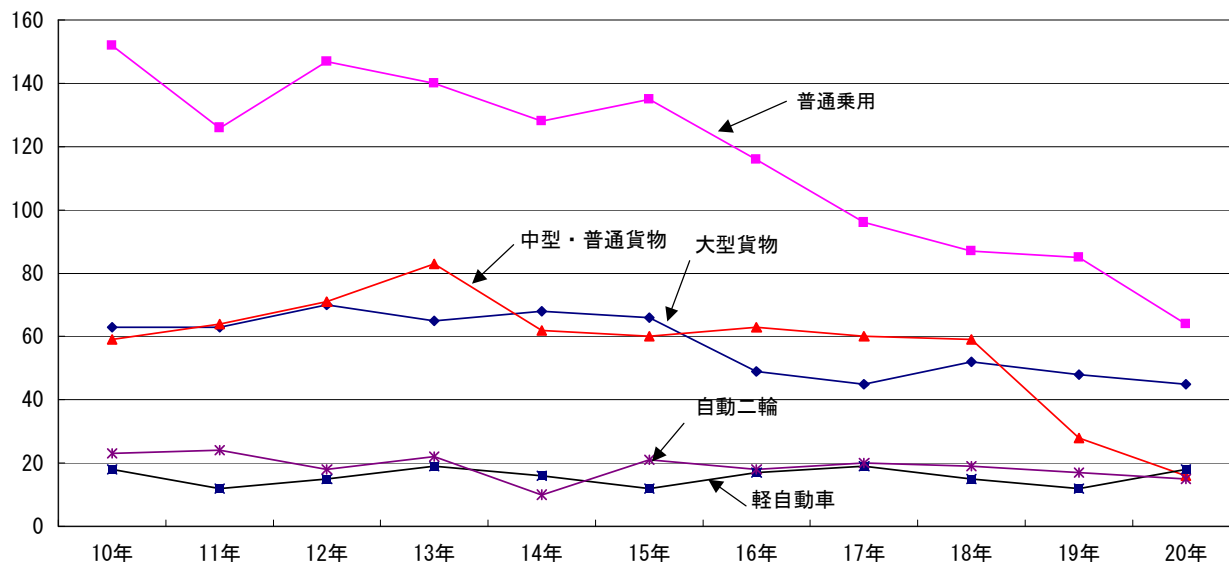
2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

(5) 当事者種別（第1当事者）別死亡事故発生状況

当事者種別（第1当事者）別死亡事故件数は、普通乗用車が64件（構成率36.8%）と最も多く、次いで大型貨物車45件（同25.9%）の順となっている。

増減数を前年と比較すると、普通乗用車（前年比-21件、-24.7%）及び普通貨物車（同-15件、-55.6%）の減少が顕著である。

当事車種別（第1当事者）別死亡事故件数の推移（各年12月末）



○ 当事者種別（第1当事者）別死亡事故件数の推移（各年12月末）

当事者	年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	増減数	増減率	構成率	指数
大型貨物		63	63	70	65	68	66	49	45	52	48	45	-3	-6.3	25.9	71
バス・マイクロ		4	1	0	1	1	0	2	4	0	3	1	-2	-66.7	0.6	25
普通乗用		152	126	147	140	128	135	116	96	87	85	64	-21	-24.7	36.8	42
中型貨物		59	64	71	83	62	60	63	60	59	28	16	-12	-42.9	9.2	47
普通貨物											27	12	-15	-55.6	6.9	
軽自動車		18	12	15	19	16	12	17	19	15	12	18	6	50.0	10.3	100
自動二輪		23	24	18	22	10	21	18	20	19	17	15	-2	-11.8	8.6	65
その他		7	6	6	6	5	12	7	5	2	2	3	1	50.0	1.7	43
合計		326	296	327	336	290	306	272	249	234	222	174	-48	-21.6	100.0	53

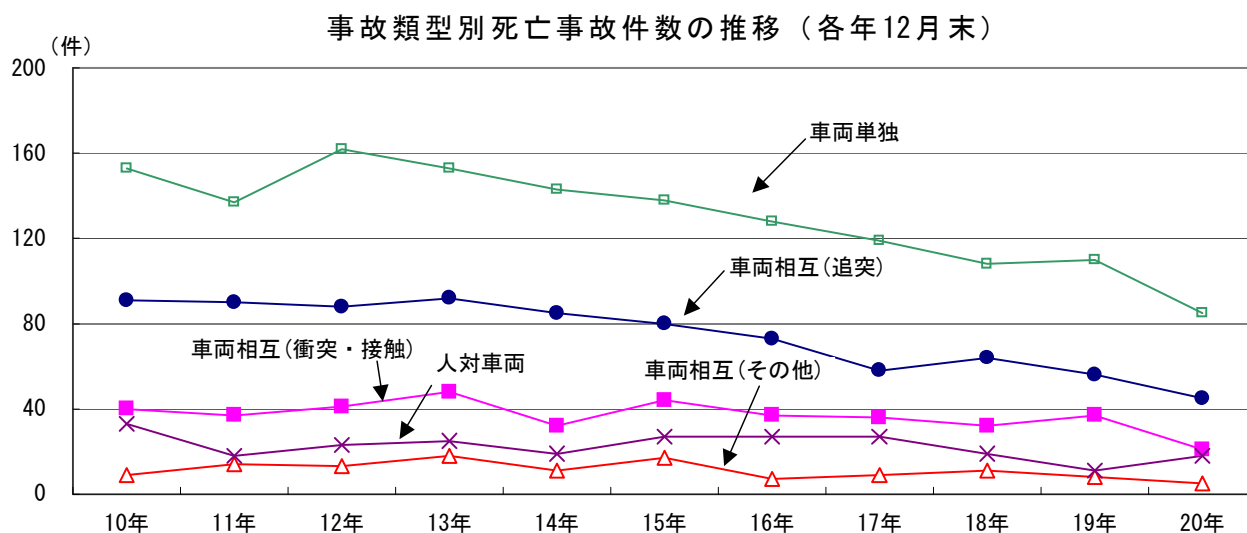
注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

(6) 事故類型別死亡事故発生状況

事故類型別死亡事故件数は、車両単独が85件（構成率48.9%）と最も多く、次いで車両相互71件（同40.8%）となっている。車両相互の中では追突が45件（同25.9%）と最も多い。

増減数を前年と比較すると、衝突接触（前年比-16件、-43.2%）の減少及び人対車両（同+7件、+63.6%）の増加が顕著である。



○ 事故類型別死亡事故件数の推移（各年12月末）

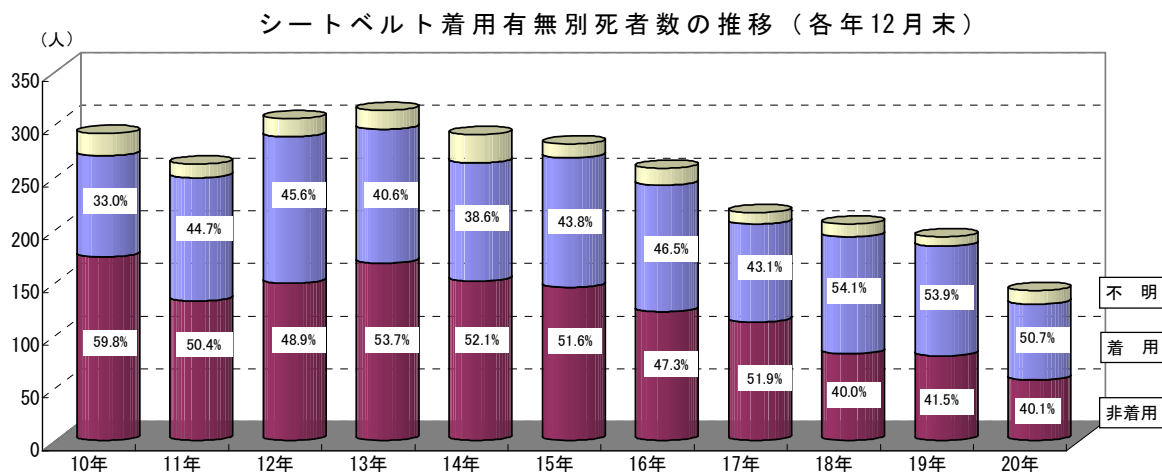
事故類型	区分	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	増減数	増減率	構成率	指数
		追 突	91	90	88	92	85	80	73	58	64	56				
車 両 相 互	衝 突 ・ 接 触	40	37	41	48	32	44	37	36	32	37	21	-16	-43.2	12.1	53
	そ の 他	9	14	13	18	11	17	7	9	11	8	5	-3	-37.5	2.9	56
	小 計	140	141	142	158	128	141	117	103	107	101	71	-30	-29.7	40.8	51
車 両 単 独		153	137	162	153	143	138	128	119	108	110	85	-25	-22.7	48.9	56
人 対 車 両		33	18	23	25	19	27	27	27	19	11	18	7	63.6	10.3	55
合 計		326	296	327	336	290	306	272	249	234	222	174	-48	-21.6	100.0	53

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

(7) シートベルト着用有無別死者数

シートベルト着用有無別の死者数は、運転者の着用死者が54人（運転者死者の59.3%）に対し、非着用死者は37人（同40.7%）であった。助手席同乗者については、着用死者が14人（助手席同乗者死者の73.7%）に対し、非着用者死者は5人（同26.3%）であった。また、後部席同乗者については、着用死者が4人（後部席同乗者死者の21.1%）に対し、非着用者死者は15人（同78.9%）であった。



○ シートベルト着用有無別死者数の推移（各年12月末）

着用有無・座席	年											増減数	増減率	構成率	指数
	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年				
シートベルト着用	75	98	118	108	93	99	81	77	89	85	54	-31	-36.5	38.0	72
運転席	19	13	18	18	19	22	25	13	19	17	14	-3	-17.6	9.9	74
助手席	2	6	3	1	0	2	14	3	3	2	4	2	100.0	2.8	200
後部座席等	2	6	3	1	0	2	14	3	3	2	4	2	100.0	2.8	200
計	96	117	139	127	112	123	120	93	111	104	72	-32	-30.8	50.7	75
シートベルト非着用	97	81	95	91	85	70	60	54	47	48	37	-11	-22.9	26.1	38
運転席	30	15	15	29	25	18	13	17	10	8	5	-3	-37.5	3.5	17
助手席	47	36	39	48	41	57	49	41	25	24	15	-9	-37.5	10.6	32
後部座席等	47	36	39	48	41	57	49	41	25	24	15	-9	-37.5	10.6	32
計	174	132	149	168	151	145	122	112	82	80	57	-23	-28.8	40.1	33
不明	21	13	17	18	27	13	16	11	12	9	13	4	44.4	9.2	62
合計	291	262	305	313	290	281	258	216	205	193	142	-51	-26.4	100.0	49
非着用死者の構成率	59.8	50.4	48.9	53.7	52.1	51.6	47.3	51.9	40.0	41.5	40.1	-	-	-	67
シートベルト着用者率	75.3	77.3	80.1	82.5	82.9	83.6	83.3	84.9	85.0	84.3	90.0	-	-	-	119
運転席	89.3	91.8	93.0	95.2	95.3	96.2	96.7	96.9	97.3	97.3	97.5	-	-	-	109
助手席	83.7	86.6	90.2	91.7	91.6	93.1	93.6	94.4	94.6	95.3	95.9	-	-	-	115
後部座席	16.8	18.5	23.0	29.9	32.7	30.8	26.3	31.9	32.5	32.6	59.2	-	-	-	351

注1 増減数（率）は、平成19年と比較した値である。

注2 指数は、平成10年を100とした場合の平成20年の値である。

注3 シートベルト着用者率＝シートベルト着用死傷者数（自動車乗車中）÷死傷者数（自動車乗車中）×100

注4 死者数の後部座席等には、バスの座席に着席又は、バスの車内に立っている場合を含む。

8 高速道路における道路交通法違反の取締り状況

違反種別	年 別	平成20年 12月末		総計に 対する 構成率	平成19年 12月末		総計に 対する 構成率	前年比	
		構成率	構成率		構成率	構成率		増減数	増減率
無免許・無資格		1,405	0.2	0.2	1,548	0.2	0.2	-143	-9.2
酒酔い・酒気帯び		1,324	0.2	0.2	1,780	0.3	0.2	-456	-25.6
過 労 運 転		2	0.0	0.0	2	0.0	0.0	0	0.0
最高 速度	40キロ以上	45,134	6.7	5.5	53,644	8.0	6.3	-8,510	-15.9
	40キロ未満	398,580	58.9	48.2	394,557	58.5	46.3	4,023	1.0
車間距離不保持		11,514	1.7	1.4	14,391	2.1	1.7	-2,877	-20.0
過 積 載		1,969	0.3	0.2	2,436	0.4	0.3	-467	-19.2
駐 停 車 違 反		195	0.0	0.0	230	0.0	0.0	-35	-15.2
通行区分違反		1,183	0.2	0.1	1,964	0.3	0.2	-781	-39.8
通行帯違反		88,353	13.1	10.7	78,322	11.6	9.2	10,031	12.8
携帯電話使用等		79,156	11.7	9.6	74,967	11.1	8.8	4,189	5.6
そ の 他		47,962	7.1	5.8	50,370	7.5	5.9	-2,408	-4.8
合 計		676,777	100.0	81.8	674,211	100.0	79.2	2,566	0.4
シートベルト装着義務		144,710		17.5	171,765		20.2	-27,055	-15.8
チャイルドシート装着		6,228		0.8	5,702		0.7	526	9.2
総 計		827,715		100.0	851,678		100.0	-23,963	-2.8

注 : 1 この統計は、警察庁情報処理センター資料による。
2 構成率は、違反種別欄ごとに小数点以下第2位を四捨五入したものである。

9 車両及び運転免許に関する状況

(1) 車両

ア 自動車走行キロ

(各年3月末)

○ 自動車走行キロの推移

(千km)

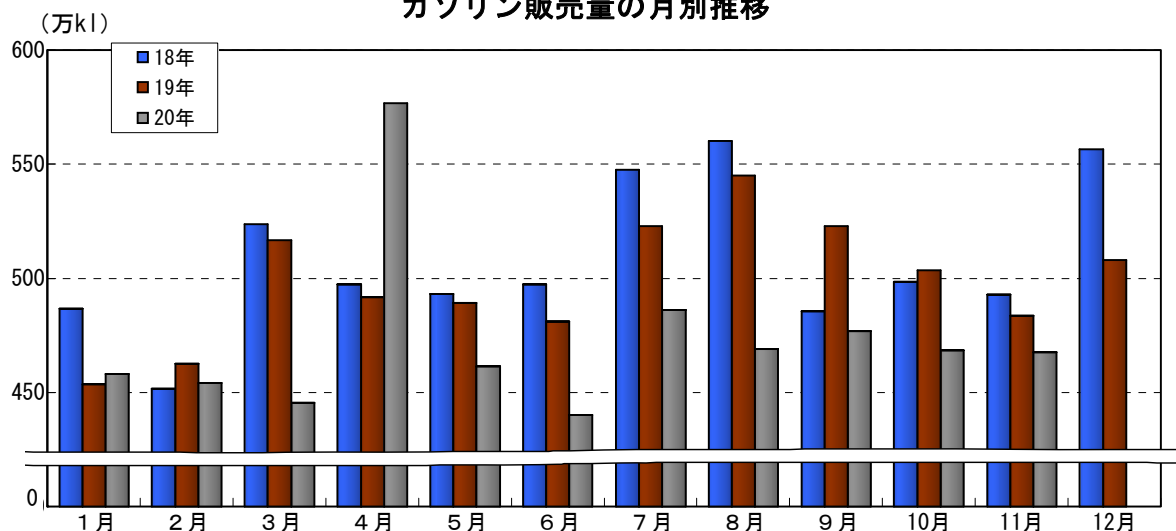
区分 年度	合計		バス		乗用車		貨物車		軽自動車			
	指数	指数	指数	指数	指数	指数	乗用車	指数	乗用車	指数	貨物車	指数
昭和 45 年度	226,016,858	30	5,394,083	81	120,582,367	28	100,040,408	55
46	243,478,952	33	5,378,047	81	137,399,672	32	100,701,233	55
47	259,593,276	35	5,666,980	85	146,272,038	34	107,654,258	59
48	276,194,188	37	5,473,747	82	164,010,339	39	106,710,102	58
49	266,484,708	36	5,318,404	80	161,009,634	38	100,156,670	55
50	286,345,148	38	5,450,669	82	176,035,354	41	104,859,125	57
51	309,698,312	42	5,469,302	82	186,082,581	44	118,146,429	65
52	342,325,568	46	5,722,647	86	205,366,844	48	131,236,077	72
53	361,261,270	49	5,896,439	89	220,362,502	52	135,002,329	74
54	381,951,189	51	5,959,711	90	235,007,020	55	140,984,458	77
55	389,051,711	52	6,045,821	91	241,459,291	57	141,546,599	78
56	394,657,738	53	6,091,312	92	247,156,485	58	141,409,941	77
57	403,100,946	54	6,076,693	92	255,967,631	60	141,056,622	77
58	408,928,139	55	6,163,876	93	259,744,111	61	143,020,152	78
59	415,742,593	56	6,313,337	95	265,095,892	62	144,333,364	79
60	428,441,720	58	6,351,738	96	275,556,532	65	146,533,450	80
61	441,612,821	59	6,454,743	97	285,293,934	67	149,864,144	82
62	548,834,533	74	6,626,287	100	295,083,745	69	156,147,759	86	12,978,087	26	77,998,655	98
63	575,585,221	77	6,736,993	101	308,629,245	72	162,922,548	89	12,866,965	26	84,429,470	106
平成 元 年度	600,216,914	81	6,961,804	105	328,375,855	77	165,849,122	91	12,997,772	26	86,032,361	108
2	628,581,034	84	7,111,973	107	350,316,534	82	170,535,985	93	15,280,783	31	85,335,759	107
3	657,305,386	88	7,185,231	108	366,288,675	86	177,635,617	97	20,726,145	42	85,469,718	107
4	678,211,408	91	7,068,182	106	380,102,242	89	179,104,668	98	25,627,236	52	86,309,080	108
5	683,753,202	92	6,933,858	104	383,356,180	90	178,210,267	98	29,673,538	60	85,579,359	107
6	694,336,083	93	6,806,980	102	391,598,967	92	177,725,843	97	33,946,379	68	84,257,914	106
7	720,283,281	97	6,767,953	102	407,001,030	96	182,594,034	100	39,386,280	79	84,533,984	106
8	737,763,166	99	6,706,027	101	418,980,169	98	184,496,400	101	45,143,031	91	82,437,539	103
9	744,379,458	100	6,641,053	100	425,987,921	100	182,470,151	100	49,610,868	100	79,669,465	100
10	746,054,332	100	6,520,152	98	427,689,092	100	179,741,538	99	54,861,720	111	77,241,830	97
11	765,056,264	103	6,600,779	99	438,550,491	103	181,134,933	99	62,981,556	127	75,788,505	95
12	775,723,401	104	6,619,057	100	438,203,900	103	185,932,105	102	70,054,549	141	74,913,790	94
13	790,820,473	106	6,762,378	102	448,844,505	105	184,211,444	101	77,577,185	156	73,424,961	92
14	790,828,748	106	6,652,731	100	445,133,997	104	182,608,651	100	84,073,623	169	72,359,746	91
15	793,378,171	107	6,661,535	100	438,730,041	103	183,377,193	100	90,986,479	183	73,622,923	92
16	781,711,422	105	6,665,325	100	429,260,043	101	174,410,681	96	97,058,459	196	74,316,914	93
17	768,878,611	103	6,650,213	100	417,536,546	98	168,302,258	92	102,600,945	207	73,788,649	93
18	762,613,241	102	6,655,014	100	405,388,369	95	168,439,999	92	108,720,688	219	73,409,171	92
19	763,628,848	103	6,726,651	101	398,579,070	94	168,499,873	92	116,441,649	235	73,381,605	92

- 注1 国土交通省統計資料「自動車輸送統計年報」による。
 2 6年度の数値については、平成7年1月～3月の兵庫県の数値を含まない。
 3 軽自動車については、乗用車及び貨物車の外数であり、62年度分から計上している。
 4 指数は、平成9年度を100とした値である。

イ 燃料消費量

◎ ガソリン、軽油いずれも販売量は前年比で約5%減少（11月末）

ガソリン販売量の月別推移



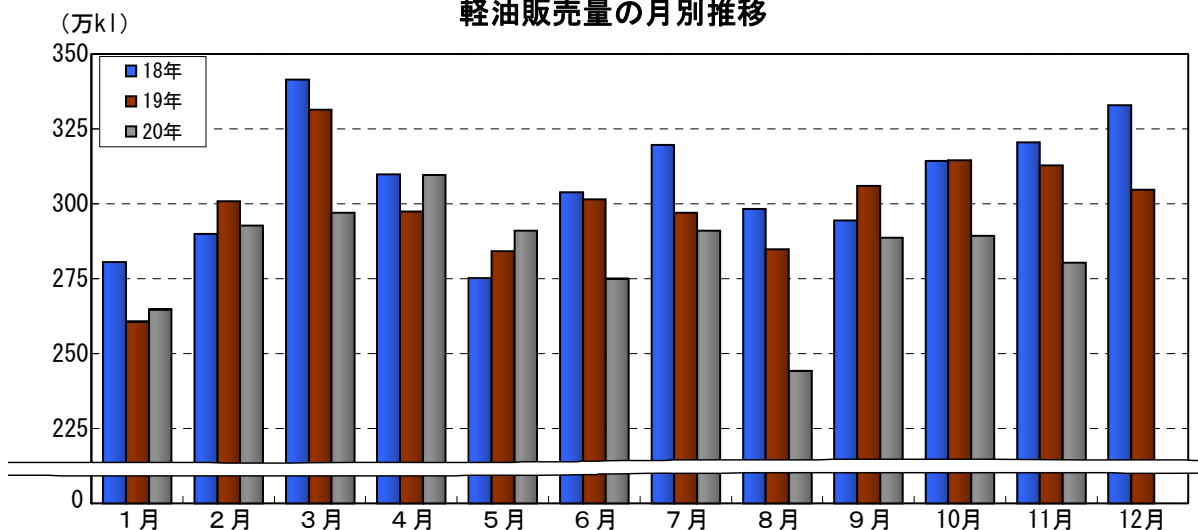
○ ガソリン販売量の月別推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	11月末計	年間
16年	475.2	456.0	524.5	483.4	512.6	473.9	564.7	584.7	502.4	510.8	481.5	552.1	5,569.7	6,121.8
17年	482.1	463.1	535.4	495.9	488.9	512.3	539.5	585.3	512.9	484.5	497.5	562.8	5,597.4	6,160.2
18年	486.6	451.6	523.8	497.3	493.2	497.4	547.5	560.1	485.5	498.5	492.8	556.6	5,534.3	6,090.9
19年	453.5	462.7	516.8	491.8	489.2	481.0	523.0	545.2	523.0	503.4	483.6	507.9	5,473.2	5,981.1
20年	458.1	454.2	445.6	576.7	461.5	440.1	486.0	468.9	477.0	468.3	467.7	-	5,204.1	-
同月比	101	98	86	117	94	91	93	86	91	93	97	-	95.1	-

注1 経済産業省統計資料「資源・エネルギー統計月報」による。

2 同月比は、平成19年を100とした場合の平成20年の値である。

軽油販売量の月別推移



○ 軽油販売量の月別推移

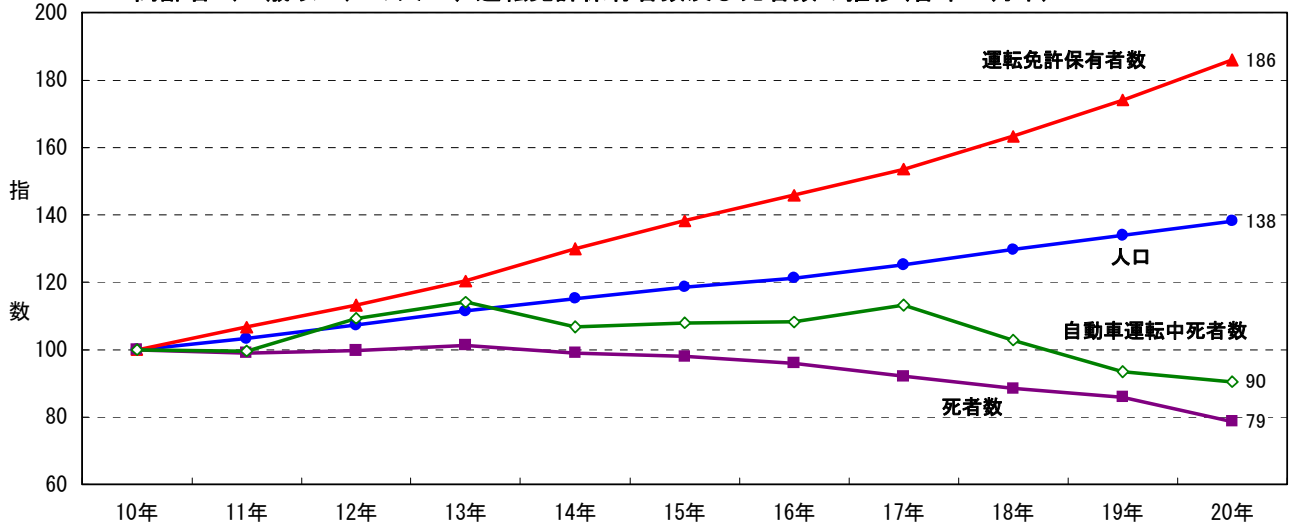
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	11月末計	年間
16年	290.5	299.2	341.1	306.0	308.0	304.7	332.2	326.9	309.9	329.0	315.6	344.8	3,463.1	3,807.9
17年	289.6	300.9	352.7	311.1	273.0	323.6	316.7	314.4	302.6	303.7	310.1	344.3	3,398.4	3,742.7
18年	280.6	289.9	341.4	309.8	275.1	303.8	319.7	298.3	294.5	314.3	320.5	332.9	3,347.9	3,680.8
19年	260.6	300.7	331.3	297.4	284.2	301.5	297.0	284.7	305.9	314.4	312.8	304.6	3,290.5	3,595.1
20年	264.7	292.7	297.0	309.6	291.1	274.9	291.0	244.1	288.6	289.2	280.3	-	3,123.2	-
同月比	102	97	90	104	102	91	98	86	94	92	90	-	94.9	-

注1 経済産業省統計資料「資源・エネルギー統計月報」による。

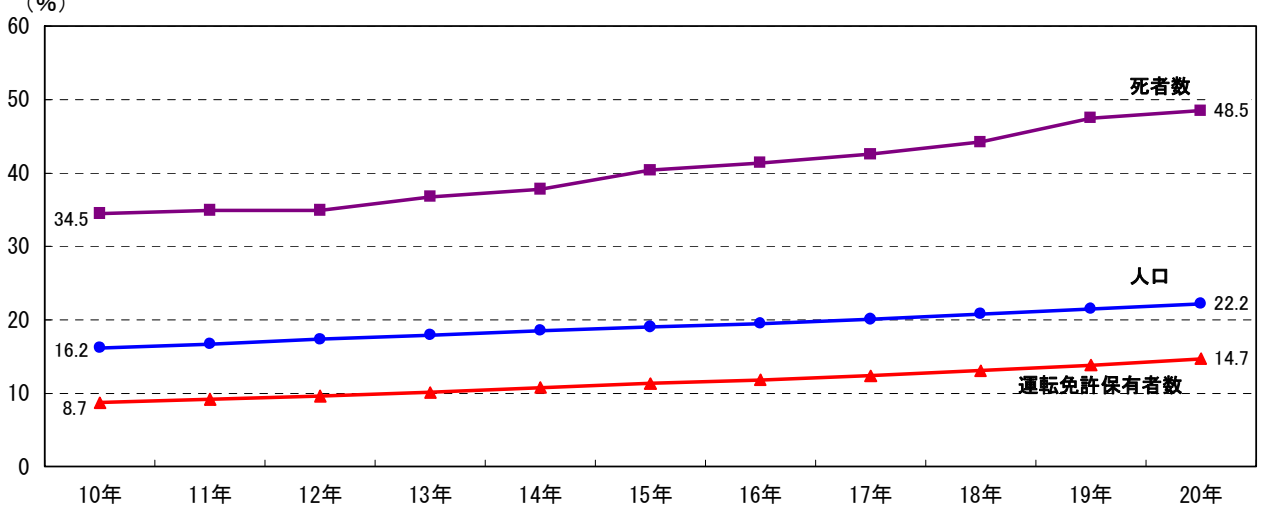
2 同月比は、平成19年を100とした場合の平成20年の値である。

(2) 運転免許

高齢者（65歳以上）の人口、運転免許保有者数及び死者数の推移（各年12月末）



人口、運転免許保有者数及び死者数の高齢者構成率の推移（各年12月末）



○ 高齢者の人口、運転免許保有者数及び死者数の推移

		10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
人口 (万人)	65歳以上 (構成率)	2,051 16.2	2,119 16.7	2,201 17.3	2,287 18.0	2,363 18.5	2,431 19.0	2,488 19.5	2,567 20.1	2,660 20.8	2,747 21.5	2,835 22.2
	(指数)	100	103	107	112	115	119	121	125	130	134	138
総数 (指数)	総数	12,649	12,669	12,693	12,729	12,744	12,762	12,769	12,777	12,777	12,777	12,770
	(指数)	100	100	100	101	101	101	101	101	101	101	101
運保 転有 免者 許数 (千人)	65歳以上 (構成率)	6,358 8.7	6,785 9.2	7,201 9.6	7,654 10.1	8,260 10.8	8,791 11.3	9,272 11.8	9,766 12.4	10,389 13.1	11,071 13.9	11,827 14.7
	(指数)	100	107	113	120	130	138	146	154	163	174	186
死 者 数 (人)	65歳以上 (構成率)	3,174 34.5	3,143 34.9	3,166 34.9	3,216 36.8	3,144 37.8	3,109 40.4	3,046 41.4	2,924 42.6	2,809 44.2	2,727 47.5	2,499 48.5
	(指数)	100	99	100	101	99	98	96	92	89	86	79
総数 (指数)	総数	9,211	9,006	9,066	8,747	8,326	7,702	7,358	6,871	6,352	5,744	5,155
(指数)	(指数)	100	98	98	95	90	84	80	75	69	62	56
高齢者自動車運転中死者数 (指数)		461 100	459 100	504 109	526 114	492 107	498 108	499 108	522 113	474 103	431 93	417 90

注1 人口は、総務省統計資料「10月1日現在推計人口」または「国勢調査結果」による。なお、平成20年は概数である。

注2 運転免許保有者数は、各年12月末現在である。

注3 構成率は、総数に占める65歳以上の割合である。

注4 指数は、平成10年を100とした場合の値である。

10 都道府県別交通事故発生状況

管区	都道府県	発生件数			死者数				負傷者数		
		20年	増減数	増減率	20年	増減数	増減率	順位	20年	増減数	増減率
北海道	札幌	14,286	-1,385	-8.8	117	-25	-17.6		17,381	-1,825	-9.5
	函館	1,762	-294	-14.3	18	-11	-37.9		2,145	-438	-17.0
	旭川	2,282	-276	-10.8	38	-4	-9.5		2,829	-374	-11.7
	釧路	1,914	-400	-17.3	42	-14	-25.0		2,411	-472	-16.4
	北見	847	-136	-13.8	13	-4	-23.5		1,035	-294	-22.1
	計	21,091	-2,491	-10.6	228	-58	-20.3	3	25,801	-3,403	-11.7
東北	青森	6,404	-452	-6.6	62	-30	-32.6	32	7,962	-681	-7.9
	岩手	4,458	-911	-17.0	69	-29	-29.6	29	5,553	-1,160	-17.3
	宮城	10,947	-1,856	-14.5	95	-13	-12.0	22	13,759	-2,588	-15.8
	秋田	3,928	-437	-10.0	61	-10	-14.1	33	4,824	-710	-12.8
	山形	7,832	-579	-6.9	48	-28	-36.8	40	9,915	-870	-8.1
	計	45,286	-5,262	-10.4	448	-118	-20.8	***	56,672	-7,595	-11.8
東京	61,525	-7,078	-10.3	218	-51	-19.0	4	69,666	-7,986	-10.3	
関東	茨城	18,225	-2,190	-10.7	210	32	18.0	6	23,508	-3,202	-12.0
	栃木	11,637	-2,056	-15.0	129	-20	-13.4	13	14,986	-2,632	-14.9
	群馬	20,315	-1,334	-6.2	95	-5	-5.0	22	25,614	-1,659	-6.1
	埼玉	40,890	-3,930	-8.8	232	4	1.8	2	49,774	-5,100	-9.3
	千葉	27,586	-3,575	-11.5	213	-41	-16.1	5	34,076	-5,041	-12.9
	神奈川	44,876	-5,574	-11.0	189	-48	-20.3	11	53,235	-6,849	-11.4
	新潟	11,749	-1,042	-8.1	124	-34	-21.5	15	14,629	-1,274	-8.0
	山梨	6,477	-515	-7.4	50	-2	-3.8	39	8,506	-769	-8.3
	長野	11,898	-573	-4.6	118	-3	-2.5	16	15,082	-1,046	-6.5
	静岡	36,748	-1,934	-5.0	210	22	11.7	6	47,161	-2,609	-5.2
	計	230,401	-22,723	-9.0	1,570	-95	-5.7	***	286,571	-30,181	-9.5
中部	富山	6,233	-763	-10.9	58	-5	-7.9	35	7,211	-1,072	-12.9
	石川	6,769	-669	-9.0	56	-3	-5.1	37	8,287	-943	-10.2
	福井	4,012	-646	-13.9	55	-5	-8.3	38	4,904	-838	-14.6
	岐阜	12,138	-942	-7.2	141	-23	-14.0	12	16,516	-1,361	-7.6
	愛知	52,719	-2,885	-5.2	276	-12	-4.2	1	64,657	-3,584	-5.3
	三重	11,886	-904	-7.1	110	-8	-6.8	19	15,608	-1,349	-8.0
	計	93,757	-6,809	-6.8	696	-56	-7.4	***	117,183	-9,147	-7.2
近畿	滋賀	9,027	-599	-6.2	79	-14	-15.1	27	11,666	-1,054	-8.3
	京都	15,517	-1,577	-9.2	102	11	12.1	20	18,565	-2,090	-10.1
	大阪	53,769	-5,291	-9.0	198	-50	-20.2	9	64,290	-6,624	-9.3
	兵庫	37,139	-1,412	-3.7	199	-32	-13.9	8	45,342	-2,098	-4.4
	奈良	6,836	-686	-9.1	48	-12	-20.0	40	8,801	-879	-9.1
	和歌山	7,270	-515	-6.6	63	7	12.5	31	8,843	-782	-8.1
	計	129,558	-10,080	-7.2	689	-90	-11.6	***	157,507	-13,527	-7.9
中国	鳥取	2,138	-401	-15.8	30	-4	-11.8	47	2,733	-503	-15.5
	島根	2,199	-477	-17.8	42	0	0.0	44	2,492	-597	-19.3
	岡山	17,833	-1,432	-7.4	114	-1	-0.9	17	22,412	-2,167	-8.8
	広島	17,705	-2,114	-10.7	128	-4	-3.0	14	22,194	-2,767	-11.1
	山口	8,118	-821	-9.2	91	-24	-20.9	24	9,956	-967	-8.9
	計	47,993	-5,245	-9.9	405	-33	-7.5	***	59,787	-7,001	-10.5
四国	徳島	5,760	-491	-7.9	42	-16	-27.6	44	7,041	-688	-8.9
	香川	11,794	-449	-3.7	61	-17	-21.8	33	14,666	-618	-4.0
	愛媛	9,179	-1,083	-10.6	82	-18	-18.0	26	11,095	-1,298	-10.5
	高知	4,005	-558	-12.2	57	-9	-13.6	36	4,579	-792	-14.7
	計	30,738	-2,581	-7.7	242	-60	-19.9	***	37,381	-3,396	-8.3
九州	福岡	44,353	-1,350	-3.0	197	-2	-1.0	10	57,363	-2,766	-4.6
	佐賀	8,740	-166	-1.9	68	18	36.0	30	11,706	-252	-2.1
	長崎	7,370	-568	-7.2	40	-17	-29.8	46	9,596	-708	-6.9
	熊本	11,522	-569	-4.7	98	-5	-4.9	21	14,663	-861	-5.5
	大分	6,977	-350	-4.8	77	18	30.5	28	9,153	-493	-5.1
	宮崎	9,384	-436	-4.4	48	-32	-40.0	40	11,607	-560	-4.6
	鹿児島	10,943	-583	-5.1	88	-8	-8.3	25	13,184	-877	-6.2
	沖縄	6,509	-16	-0.2	43	0	0.0	43	7,664	-188	-2.4
	計	105,798	-4,038	-3.7	659	-28	-4.1	***	134,936	-6,705	-4.7
合計	766,147	-66,307	-8.0	5,155	-589	-10.3	***	945,504	-88,941	-8.6	

注 増減数(率)は、前年と比較した値である。